

2021 年度厚生労働省委託事業
請負事業の適正化に関する調査・研究事業
アンケート調査報告書

2022 年 3 月
一般社団法人 日本BPO協会

目次

はじめに 調査実施概要	1
1. 調査の目的・背景	3
2. 調査の内容	3
(1) 調査対象	3
(2) 調査方法	4
(3) 調査期間	4
(4) 調査項目	5
(5) 有効回収数	7
3. 調査結果の概要について	8
I. 発注者（委託元）	11
1. 委託業務の概要	12
(1) 発注者の概要と委託業務	12
(2) 各委託業務の人数割合	14
(3) 委託業務の人数規模	15
(4) 委託業務の委託先のタイプ	16
(5) 委託業務の場所	17
(6) 業務委託（アウトソーシング）の目的	18
(7) 業務委託（アウトソーシング）の目的の達成度	19
(8) 委託先選定の重視ポイント	20
2. 委託業務の実態	21
(1) 委託業務への指示	21
(2) 委託業務の内容・範囲の明確化	22
(3) 委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更	23
(4) 委託業務を行っている現場の状況	24
(5) 委託業務での機械・設備等の使用状況	25
3. 委託業務の運営	26
(1) 委託料金の設定・支払い方法	26
(2) 生産性向上の委託料金の見直し状況	27
(3) 委託料金値上げ申入れへの対応	28
(4) 安全衛生管理の委託先との連携	29
(5) 国が定めた基準の認識	33
(6) 偽装請負への不安	34
4. 業務委託（アウトソーシング）の今後の見通し	35
(1) 業務委託（アウトソーシング）の今後の見通し	35
(2) 業務委託（アウトソーシング）の増加見通しの理由	36
(3) 業務委託（アウトソーシング）の減少見通しの理由	37

5.	自動化、デジタル化の状況.....	38
(1)	今後、IT化、自動化、デジタル化したい業務.....	38
II.	受託者（請負事業者）.....	39
1.	受託（請負）業務の概要.....	40
(1)	受託者の概要と受託（請負）業務.....	40
(2)	受託（請負）業務の人員規模.....	43
(3)	受託(請負)業務の有期契約雇用者の構成割合.....	44
2.	受託（請負）業務の実態.....	45
(1)	受託(請負)業務の場所.....	45
(2)	受託(請負)業務の外部への委託.....	46
(3)	発注者の受託(請負)業務への指示.....	47
(4)	受託（請負）業務の内容・範囲の明確化.....	48
(5)	受託（請負）業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更.....	49
(6)	受託（請負）業務を行っている現場の状況.....	50
(7)	受託(請負)業務での機械・設備等の使用状況.....	51
(8)	安全衛生管理の発注者との連携.....	52
(9)	国が定めた基準の認識.....	56
(10)	偽装請負への不安.....	57
3.	受託(請負)業務の運営.....	58
(1)	発注量変動への対応.....	58
(2)	受託(請負)業務の料金設定・請求方法.....	59
(3)	生産性向上の受託（請負）料金の見直し状況.....	60
(4)	受託(請負)料金値上げ申し入れに対する発注者の対応.....	61
(5)	受注のためのアピールポイント.....	62
4.	受託(請負)労働者の雇用、育成.....	63
(1)	受託（請負）業務の従業員の離職状況.....	63
(2)	受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取り組み.....	64
(3)	受託(請負)業務の従業員に実施したい研修.....	72
(4)	受託(請負)職場での人事・労務管理上の課題.....	73
5.	受託（請負）業務の問題・課題.....	74
(1)	受託（請負）業務の問題・課題－取引、料金、受託（請負）契約.....	74
(2)	受託（請負）業務の問題・課題－業務運営、職場.....	75
(3)	受託（請負）業務の問題・課題－人事、労務、組織.....	76
6.	受託（請負）業務の受注量の今後の見通し.....	77
(1)	受託（請負）業務の受注量の今後の見通し.....	77
7.	今後、IT化、自動化、デジタル化したい業務.....	78
(1)	今後、IT化、自動化、デジタル化したい業務.....	78
III.	（請負）労働者.....	79

1. 労働者の概要	80
(1) 労働者の概要と現在の労働環境	80
2. 業務の実態	87
(1) 従事している業務	87
(2) 業務の場所	88
(3) 業務の内容・範囲の明確化	89
(4) 業務の内容・範囲外の実施状況	90
(5) 業務の現場の状況	91
(6) 発注者からの業務についての指示	92
(7) IT 化、自動化、デジタル化の状況	93
(8) IT 化、自動化、デジタル化の影響	94
3. 教育・研修	101
(1) 教育・研修を受けた経験	101
(2) 今後受けたい教育・研修	102
4. 能力評価、キャリア形成支援	103
(1) キャリア面談を受けた経験	103
(2) キャリアパスの提示	104
(3) 評価の仕組みの整備・説明状況	105
(4) 評価の処遇への反映	106
(5) 今後（1～2 年）の仕事や働き方に関する希望	107
5. 働き方について	108
(1) 仕事や働き方に関して重視していること	108
IV. テーマ別集計結果	109
1. コンプライアンス	110
(1) 発注者	110
(2) 受託者	113
2. 価格交渉の成否	115
(1) 発注者	115
(2) 受託者	116
3. 労働者の定着	118
(1) 受託者	118
(2) 労働者	120
(参考) 調査票	123
1. スクリーニング票	124
2. 本調査_発注者票	129
3. 本調査_受託者票	137
4. 本調査_労働者票	146

はじめに 調査実施概要

1. 調査の目的・背景

物流分野の請負事業においては、発注者と請負事業者の労働者が混在している現場が多く、発注者の社員による指揮命令などが行われている恐れがある。また、フォークリフトや転倒などによる労働災害をはじめ労働環境に問題を抱える現場も見受けられる。

派遣と請負の区分については、「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準を定める告示」(昭和 61 年 4 月 17 日労働省告示第 37 号)や「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する Q & A」が示されており、製造請負においては、これらに基づいて、各種取組みが進められ、製造請負事業の適正化、健全化が推進されてきたが、物流分野の請負事業においては、これまで告示第 37 号の順守状況等については、詳細には把握されておらず、上記のとおり、偽装請負や労働環境の悪化等の問題が生じている可能性がある。

さらに、近年、Eコマース(電子商取引)の拡大や物流のデジタル化の進展等により、物流分野の請負現場では、仕事の手法や設備・機器などにおいて、質・両ともに大きな変化が生じている。

このため、このような物流請負現場の変化を視野に入れて、物流分野における請負事業の実態等を把握するために、上記告示第 37 号や Q&A の趣旨を踏まえて物流分野の事業者、発注者、及び労働者を対象にアンケート調査を実施・分析し、物流分野の請負事業の適正化促進に向けた今後の施策検討に役立てるものである。

2. 調査の内容

(1) 調査対象

<スクリーニング>

(株)インテージが保有するインターネットモニターの法人パネル(2021 年 5 月実施)のうち、次の条件に該当するモニター

- ・年齢：20-79 歳
- ・職業：会社員(一般、係長、課長、部長、役員、経営者)、会社員(派遣、契約・嘱託)、パート・アルバイト

<本調査>

① 発注(委託)者

スクリーニング結果より、次の条件にあてはまる業務の発注(委託)をしている会社員、パート・アルバイト

- ・職業・役職：主任クラス以上
 - ・業務内容：業務発注(委託)をしていて、「輸送・配送」以外の物流業務に関与しており、発注(委託)している物流業務が自社や委託先の建物・センター等で常駐して行われている
- ※ただし、専門性が高い(請負側に専門性があり)、特殊な知識・技能を要する業務は除く

② 受託(請負)者

スクリーニング結果より、次の条件にあてはまる業務を受託(請負)している会社員、パート・アルバイト

- ・職業・役職：主任クラス以上
- ・業務内容：業務受託(請負)をしていて、「輸送・配送」以外の物流業務に関与しており、受託(請負)している物流業務が発注(委託)元の建物・センター等で常駐して行われている
- ・発注期間：該当業務の受託(請負)期間が3カ月以上

※ただし、専門性が高い(請負側に専門性があり)、特殊な知識・技能を要する業務は除く

③ （請負）労働者

スクリーニング結果より、次の条件にあてはまる業務に従事している会社員、パート・アルバイト

・職業・役職 : 一般社員と非正規社員

・業務内容 : 業務受託（請負）をしていて、「輸送・配送」以外の物流業務に関与している

※ただし、専門性が高い（請負側に専門性があり）、特殊な知識・技能を要する業務は除く

(2) 調査方法

- ① 発注（委託）者および②受託（請負）者および③（請負）労働者ともに、インターネット調査（スクリーニング、本調査）

(3) 調査期間

スクリーニング調査:2021 年 11 月 22 日（月）－11 月 25 日（木）

本調査 :2021 年 12 月 2 日（木）－12 月 7 日（火）

(4) 調査項目

スクリーニング

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	職業
Q4	役職
Q5	従業員規模
Q6	業種
Q7	物流業務への関与の有無
Q8	具体的な物流業務の内容
Q9	物流業務の運営方法
Q10	発注（委託）業務の内容
Q11	発注（委託）業務の場所
Q13	受託（請負）業務の内容
Q14	受託（請負）業務の場所
Q15	受託（請負）業務の期間

発注（委託）者 本調査

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	売上高
Q4	正社員の人数
Q5 (1)	関わっている委託業務
Q5 (2)	人数が最も多い委託業務
Q6	直接雇用の人数
Q7	委託先の従業員の人数
Q8	委託業務の委託先のタイプ
Q9	委託業務の場所
Q10	業務委託（アウトソーシング）の目的
Q11	業務委託（アウトソーシング）の目的の達成度
Q12	委託先選定の重視ポイント
Q13	委託業務への指示
Q14	委託業務の内容・範囲の明確化
Q15	委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更
Q16	委託業務を行っている現場の状況
Q17	委託業務での機械・設備等の使用状況
Q18	委託料金の設定・支払い方法
Q19	生産性向上の委託料金の見直し状況
Q20	委託料金値上げ申入れへの対応
Q21	安全衛生管理の委託先との連携
Q22	国が定めた基準の認識
Q23	偽装請負への不安
Q24	委託業務（アウトソーシング）の今後の見通し
Q25	委託業務（アウトソーシング）の増加見通しの理由
Q26	委託業務（アウトソーシング）の減少見通しの理由
Q27	今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務

受託（請負）者 本調査

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	売上高
Q4	従業員数
Q5	会社のタイプ
Q6 (1)	関わっている受託（請負）業務
Q6 (2)	人数が最も多い受託（請負）業務
Q7	受託（請負）業務の人数規模
Q8	受託（請負）業務の有期雇用者の割合
Q9	受託（請負）業務の場所
Q10	受託（請負）業務の外部への委託
Q11	発注者の受託（請負）業務への指示
Q12	受託（請負）業務の内容・範囲の明確化
Q13	受託（請負）業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更
Q14	受託（請負）業務を行っている現場の状況
Q15	受託（請負）業務での機械・設備等の使用状況
Q16	安全衛生管理の発注者との連携
Q17	国が定めた基準の認識
Q18	偽装請負への不安
Q19	受注量変動への対応
Q20	受託（請負）業務の料金設定・請求方法
Q21	生産性向上の受託（請負）料金の見直し状況
Q22	受託（請負）料金値上げ申し入れに対する発注者の対応
Q23	受注のためのアピールポイント
Q24	受託（請負）業務の従業員の離職状況
Q25	受託（請負）業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取り組み
Q26	受託（請負）業務の従業員に実施したい研修
Q27	受託（請負）職場での人事・労務管理上の課題
Q28	受託（請負）業務の課題－取引、料金、受託（請負）契約
Q29	受託（請負）業務の課題－業務運営、職場
Q30	受託（請負）業務の課題－人事、労務、組織
Q31	受託（請負）業務の受注量の今後の見通し
Q32	今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務

(請負) 労働者 本調査

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	現在の雇用形態
Q4	近い将来の働き方（雇用契約）の希望
Q5	現在の雇用契約の期間
Q6	現在の会社での勤続年数
Q7	役職
Q8	1 週間の所定労働時間
Q9	昇給の仕組みの有無
Q10	従事している業務
Q11	業務の場所
Q12	業務の内容・範囲の明確化
Q13	業務の内容・範囲外の実施状況
Q14	業務の現場の状況
Q15	発注者からの業務についての指示
Q16	IT 化、自動化、デジタル化の状況
Q17	IT 化、自動化、デジタル化の影響
Q18	教育・研修を受けた経験
Q19	今後受けた教育・研修
Q20	キャリア面談を受けた経験
Q21	キャリアパスの提示
Q22	評価の仕組みの整備・説明状況
Q23	評価の処遇への反映
Q24	今後（1 ～ 2 年）の仕事や働き方に関する希望
Q25	仕事や働き方に関して重視していること

(5) 有効回収数

スクリーニング有効回収数 : 14,490s

本調査有効回収数 : 発注（委託）者 109s 受託（請負）者 103s
（請負）労働者 214 s

3. 調査結果の概要について ※[]内は参照ページ及び図表番号です。

1. 発注者及び受託者の調査結果から

- (1) 発注者、受託者のいずれも、発注者が請負業務に直接指示を行っていると思う割合が2割以上ある。
[P21：図表Ⅰ-2-1, P47：図表Ⅱ-2-3]
- (2) 請負業務の内容・範囲を契約書等に記載しない、あるいは詳細を定めず柔軟に対応する割合が少くない。発注者約4割、受託者約3割。
[P22：図表Ⅰ-2-2, P48：図表Ⅱ-2-4]
- (3) 発注者と受託者が一緒に請負業務を行っていると思う割合が、発注者、受託者とも2割超。一緒に請負業務を行っている現場があるでは、発注者、受託者とも3割超。混在で請負業務を行っている可能性がある。
[P24：図表Ⅰ-2-4, P50：図表Ⅱ-2-6]
- (4) 委託（請負）料金は、時間単価ベースに、掛った工数（人×時間）を乗じた額の場合が少くない。発注者で約3割、受託者で4割超。
[P26：図表Ⅰ-3-1, P59：図表Ⅱ-3-2]
- (5) 偽装請負にならないために国が定めた基準の具体的内容を知らない割合が高い。発注者で5割を超え、受託者で約4割。
[P33：図表Ⅰ-3-5, P56：図表Ⅱ-2-9]
- (6) 偽装請負への不安について、不安がある割合は高い。発注者で2割超、受託者で3割超。
[P34：図表Ⅰ-3-6, P57：図表Ⅱ-2-10]
- (7) 委託（請負）料金の値上げに応じない、値上げしない発注者が多い。発注者で、協議には応じるが値上げの可能性が低い、協議に応じるかどうか分からない、協議には応じない可能性がある」と答えた割合の合計は約3割、受託者で、協議に応じてもらえたが値上げに至らなかった、協議に応じてもらえなかった、値上げを申し入れたことがない割合の合計は4割超。
[P28：図表Ⅰ-3-3, P61：図表Ⅱ-3-4]
- (8) 業務委託（アウトソーシング）の今後について、発注者、受託者とも、増加の見通しが減少の見通しを大きく上回る。発注者2割超、受託者5割超。
[P35：図表Ⅰ-4-1, P77：図表Ⅱ-6-1]

2. 労働者の調査結果から

- (1) 従事している業務で、発注者から直接指示をうけたことがあると思う割合が高く約6割。
[P92：図表Ⅲ-2-6]
- (2) 会社で受けた研修状況では、何も受けたことがない割合が3割を大きく超える。個人のスキル・能力をアップする研修を受けた割合は2割に満たない。
[P101：図表Ⅲ-3-1]
- (3) キャリア面談を受けたことがない、キャリアパスを示されていない割合はいずれも7割を大きく超える。
[P103：図表Ⅲ-4-1, P104：図表Ⅲ-4-2]
- (4) 昇給の仕組みがない割合が3割超、仕事上の貢献を評価する仕組みがない割合が4割を大きく超える。
[P86：図表Ⅲ-1-1⑨, P105：図表Ⅲ-4-3]
- (5) 仕事上の貢献を評価されていないと思う割合が約6割。
[P106：図表Ⅲ-4-4]

3. テーマ別調査結果から

■テーマ1：コンプライアンス

- (1) 「偽装請負」への不安について、「請負業務の内容・範囲の明確化」別にみると、発注者、受託者ともに、業務内容・範囲が明確であるほど、またこれらが契約書等に記載されているほど、「不安」が「ある／多少ある」とする割合は低く、「不安」が「ない」割合は高い。すなわち、「不安」が「ある／多少ある」とする割合は、詳細

を定めず柔軟に対応している場合は、発注者で 3 割近く、受託者で 4.5 割を占めるのに対し、「請負業務の内容・範囲」が明確であるが契約書等に記載していない場合は、発注者で 2 割超、受託者で約 3.5 割、さらに「請負業務の内容・範囲」が明確かつ契約書等に具体的に記載の場合は、発注者で 2 割、受託者で 3 割超というように低くなっている。

これから、請負業務の内容や範囲を明確にすることが、発注者にとっても受託者にとっても「偽装請負」への不安を小さくする効果があることが分かる。 [P110：図表Ⅳ-1-1②, P113：図表Ⅳ-1-2②]

- (2) 「偽装請負」への不安について、「国が定めた基準の認識」別にみると、発注者、受託者とも、基準があり、その内容を知っているほど、「不安」が「ない」とする割合が高くなっている。すなわち、「不安」が「ない」とする割合は、まったく知らない場合には発注者で 3 割超、受託者で約 2 割を占めるのに対し、基準があることは知っているが内容は知らない場合は、発注者で約 4 割、受託者で 3 割超、さらに基準も内容も知っている場合は発注者で約 7 割、受託者では 5 割超というように高くなっている。

これから、発注者および受託者への「偽装請負」に関する基準（告示 37 号）の周知が「偽装請負」への不安を小さくする効果をもつことが読み取れる。 [P111：図表Ⅳ-1-1③, P114：図表Ⅳ-1-2③]

- (3) 「偽装請負への不安」別に、委託（請負）業務の現場の状況についてみると、「不安」が「ある／多少ある」とする発注者では、「不安」が「ない」とする発注者よりも、「従業員が委託先の従業員と一緒に業務を行っている現場がある」とする割合が高い（前者が 6 割に対し後者では 2 割強）。他方で、「不安」が「ない」とする発注者では、「不安」が「ある／多少ある」とする発注者よりも、「委託先の従業員だけ業務を行っている」とする割合が高い（前者が 6 割に対し後者は 4 割強）。

これから、発注者と委託先の従業員の混在する職場で、「偽装請負」への不安が大きくなることが分かる。

[P112：図表Ⅳ-1-1④]

■テーマ 2：価格交渉の成否

- (1) 発注者票の集計から、委託先からの「委託料金値上げ申し入れへの対応」別に、発注者の委託先選定の重視ポイントのちがいをみると、「業務処理能力・品質」を挙げる発注者の割合は、「協議に応じ、値上げを行うことがある」とする発注者で最も高く、「協議には応じるが、値上げの可能性は低い」、「協議には応じない可能性がある」がこれに続く（順に、7 割超、6.5 割、5 割）。

また受託者票の集計から、「受託（請負）料金値上げ申し入れに対する発注者の対応」別に、受託者の受注のためのアピールポイントのちがいをみると、「業務処理能力・品質」および「業務遂行のための必要要員の確保」を挙げる受託者の割合は、「協議に応じ」「値上げを認めてもらった」とする受託者で最も高く、「協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった」、「協議に応じてもらっていない」がこれに続く（順に、8 割超、7 割、5 割（「業務遂行能力・品質」）、4 割、3 割、2 割（業務遂行のための必要要員の確保））。

これから、とくに発注者が、請負事業者の業務処理力や品質を重視して発注を行い、また請負事業者もこれを強みとして受注を行う場合に、発注者が請負料金の値上げについての協議に応じ、実際に値上げを受け入れる場合が多い傾向にあることが分かる。 [P115：図表Ⅳ-2-1②, P117：図表Ⅳ-2-2③]

- (2) 受託者票より、「受託（請負）業務の内容・範囲の明確化」別に、受託（請負）者からの請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応をみると、「業務内容・範囲」が「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」、「詳細には定めず、柔軟に対応している」という順に、前者ほど、「協議に応じ」てもらう割合およびこれにより「値上げを認めてもらった」割合が高い。

これから、業務内容・範囲を明確にし、その内容を契約に具体的に記載するほど、請負料金の値上げ協議に発注者が応じ、実際に値上げが認められることが多いことが分かる。 [P117：図表Ⅳ-2-2②]

■テーマ3：労働者の定着

- (1) 受託者票より、請負事業者による人事管理諸施策と、請負業務の従業員の採用後1年以内の離職状況との関係を見ると、人材育成（教育訓練）の実施、必要な職務知識、資格の明示、リーダー・管理職へのキャリアパスの仕組みの明示、定期的な面談による本人の希望の聴取については、いずれも「行っている」事業者において、離職率が「1割程度以内」と低い割合が高い。 [P119：図表IV-3-1②]
- (2) 労働者票より、仕事への貢献の評価の処遇への反映についての労働者の認識についてみると、
- ・「昇給の仕組み」が「ある」とする労働者ほど、仕事上の貢献が「評価されている／まあまあ評価されている」とする割合が高い。 [P120：図表IV-3-2①]
 - ・「キャリア面談」を「定期的に受けている」「たまに受けている」労働者は、「受けたことがない」労働者よりも、仕事上の貢献が「評価されている」とする割合が高い。 [P121：図表IV-3-2③]
 - ・「キャリアパス」が「示されたことのある」労働者ほど、仕事上の貢献が「評価されている」とする割合が高い。 [P121：図表IV-3-2④]
 - ・「評価の仕組みの整備・説明状況」別にみると、「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」場合に、仕事上の貢献が「評価されている／まあまあ評価されている」とする割合が高い（7割弱）。「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」労働者ではこの割合は3割程であり、評価制度の整備だけでなく、その労働者への説明が、労働者の制度への評価を高めるうえで重要であることが分かる。さらに「仕組みがない」とする労働者では、同割合は1割程度にとどまる。 [P122：図表IV-3-2⑤]
- (3) 労働者の仕事への貢献の評価の処遇への反映について、「今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望」別に、仕事への貢献の評価の処遇への反映についての労働者の認識についてみると、「勤続志向」の労働者で、仕事上の貢献が「評価されている／まあまあ評価されている」とする割合がとくに高い。他方で「転職志向」の労働者では、「評価されてない」とする割合がとくに高くなっている。
- これから、上記（1）（2）で見たような人事制度の整備やその労働者への説明をつうじて、自らの仕事の貢献が処遇に反映されていると労働者が実感できるようにすることが、労働者の離職を避け、定着を促す効果をもつことが読み取れる。 [P122：図表IV-3-2⑥]

*調査結果(数値)の見方

- 報告書中の問番号および設問は、調査票の問番号および設問をそのまま示している。また、本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある（詳細は、調査票参照）。
- 調査結果の数値は回答率（％）で示している。％の母数は、その質問の回答数または属性別のTOTAL数で、「n＝」で表している。
- 割合は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示している。よって、「○は1つだけ」などの質問であっても、端数が影響し、回答率の合計値が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（「○は3つまで」を含む）の設問では、回答率（％）は回答数「n＝」に占める割合となっている。したがって、回答割合を全て合計しても100.0%にならない場合がある。
- 属性の回答者数では、傾向を分析する上で十分とは言えない30人未満の結果も含まれるが、参考値として掲載している。

I. 発注者(委託元)

1. 委託業務の概要

(1) 発注者の概要と委託業務

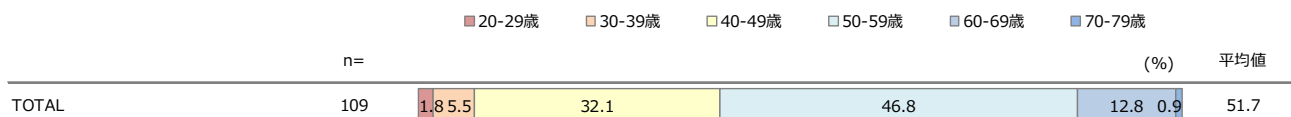
【設問文】 Q1 あなたの性別をお答えください。 / Q2 あなたの年齢をお答えください。 / Q3 あなたの会社の年間のおよその売上高について、該当するものを 1 つ選んでください。 / Q4 あなたの会社の正社員（契約社員・パート社員等有期契約者を除く）のおよその人数について、該当するものを 1 つ選んでください。

- 回答者の属性、勤務先の会社は次のとおり。

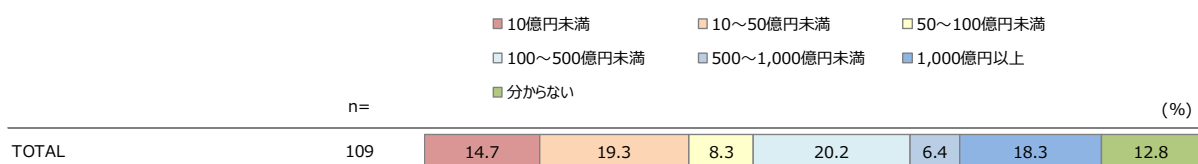
図表 I-1-1①. 回答者の性別（Q1）



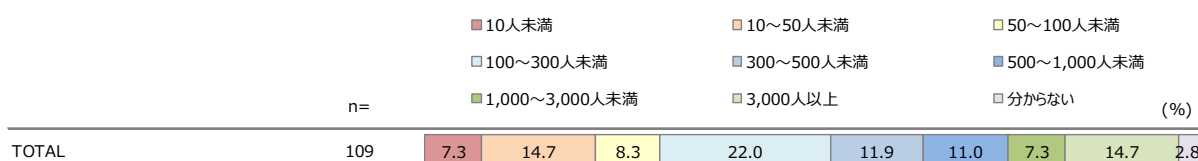
図表 I-1-1②. 回答者の年齢（Q2）



図表 I-1-1③. 回答者の会社の売上規模（Q3）



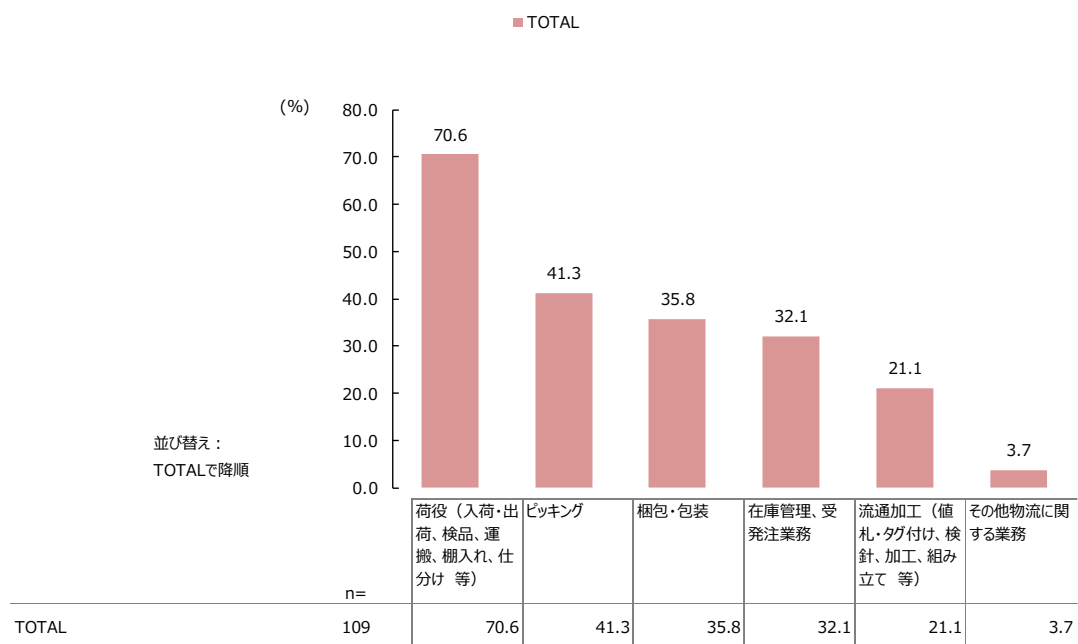
図表 I-1-1④. 回答者の会社の人員規模（Q4）



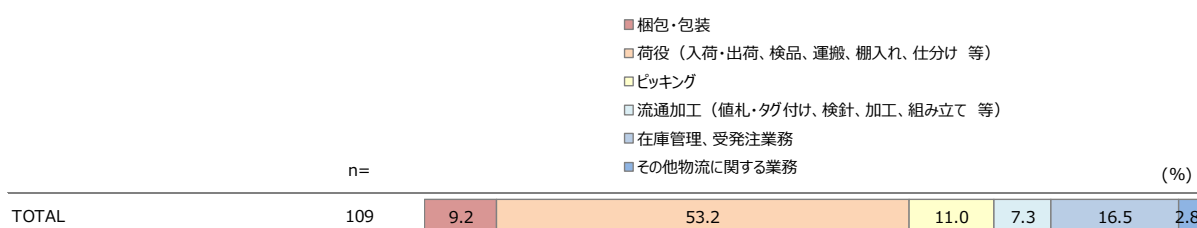
【設問文】 Q5 あなたが関わっている委託業務についてうかがいます。

- 回答者の委託業務の内容は次のとおり。

図表 I-1-1⑤. 委託業務の内容（Q5 項目 1）



図表 I-1-1⑥. 委託業務の内容（Q5 項目 2）

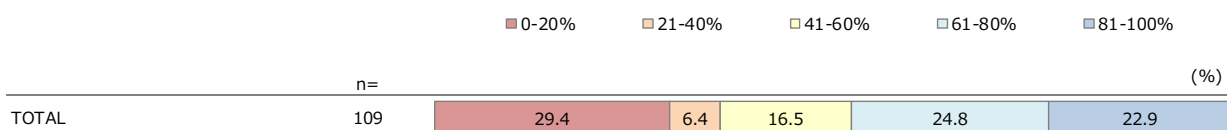


(2) 各委託業務の人数割合

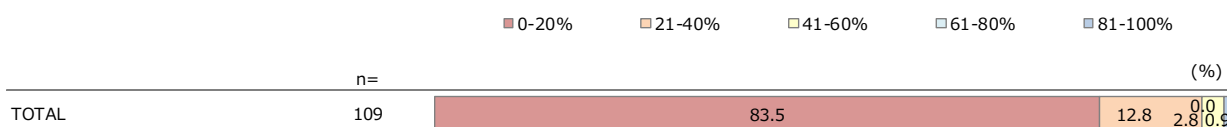
【設問文】 Q6 前問で回答いただいた、あなたが関わっている委託業務全体で、自社の直接雇用の社員（パート・アルバイト等含む）の人数、自社で受け入れている派遣労働者の人数、他社に委託している業務の人数について、それぞれの割合を教えてください。

- 回答者が関わっている各委託業務の人数割合は次のとおり。

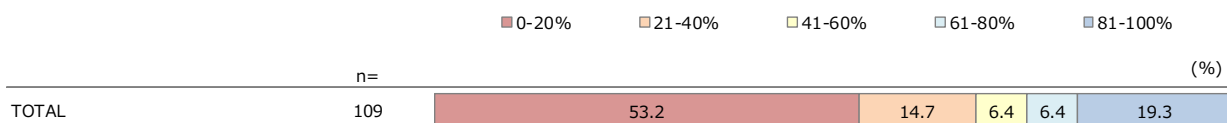
図表 I-1-2①. 自社の直接雇用の社員の人数割合（Q6 項目 1）



図表 I-1-2②. 自社で受け入れている派遣労働者の人数割合（Q6 項目 2）



図表 I-1-2③. 他社に委託している業務の人数割合（Q6 項目 3）

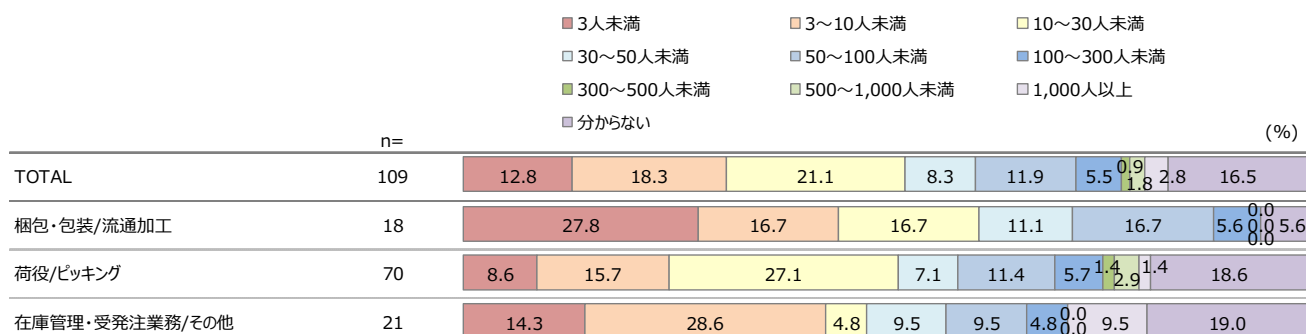


(3) 委託業務の人数規模

【設問文】 Q7 委託業務には、委託先の従業員がおよそ何人くらい従事していますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務に携わるおよその人数は、「10～30 人未満」の割合が最も高く、21.1%。「3～10 人未満」18.3%、「分からない」16.5%が続く。
- 委託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』『在庫管理・受発注業務/その他』は 10 人未満との回答が多く、『荷役/ピッキング』では「10～30 人未満」との回答が多い。

図表 I-1-3. 委託業務の人数規模 【委託業務区分別】



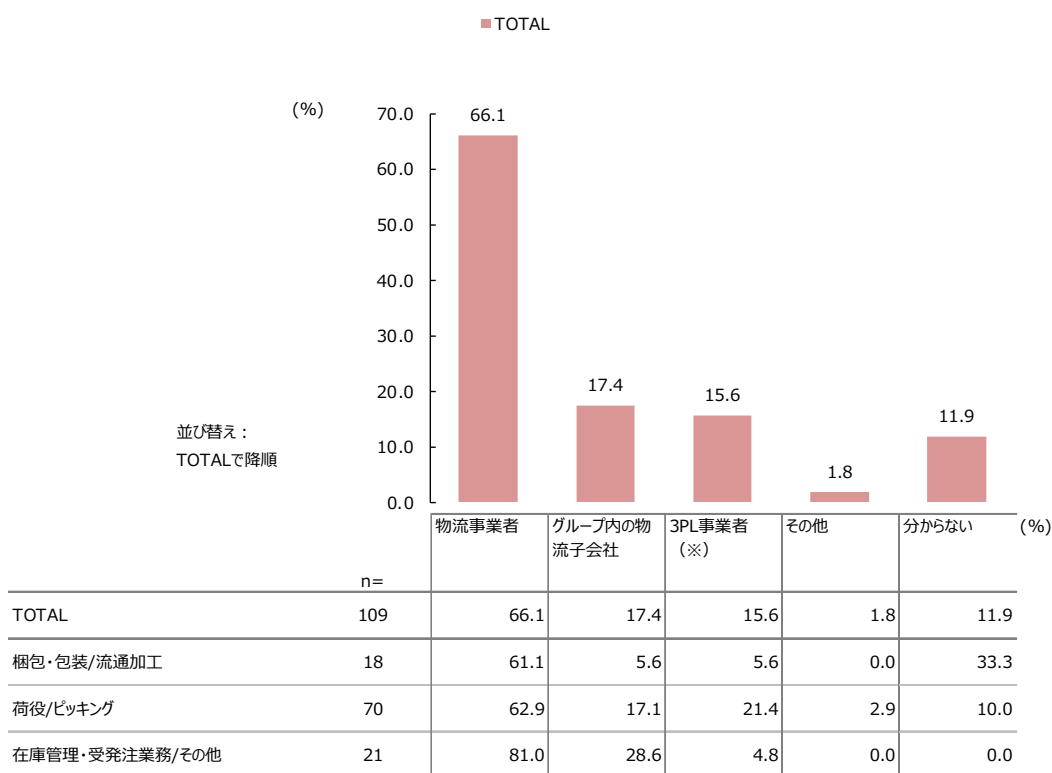
		(%)									
	n=	3人未満	3～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上	分からない
TOTAL	109	12.8	18.3	21.1	8.3	11.9	5.5	0.9	1.8	2.8	16.5
梱包・包装/流通加工	18	27.8	16.7	16.7	11.1	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6
荷役/ピッキング	70	8.6	15.7	27.1	7.1	11.4	5.7	1.4	2.9	1.4	18.6
在庫管理・受発注業務/その他	21	14.3	28.6	4.8	9.5	9.5	4.8	0.0	0.0	9.5	19.0

(4) 委託業務の委託先のタイプ

【設問文】 Q8 委託業務の委託先のタイプを教えてください。該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 委託業務の委託先のタイプは、「物流事業者」の割合が最も高く、66.1%。「グループ内の物流子会社」17.4%、「3PL 事業者（※）」15.6%が続く。
- 委託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』では、「物流事業者」や「3PL 事業者（※）」との回答が多く、『在庫管理・受発注業務/その他』は「物流事業者」や「グループ内の物流子会社」との回答が多い。

図表 I-1-4. 委託業務の委託先のタイプ【委託業務区分別】



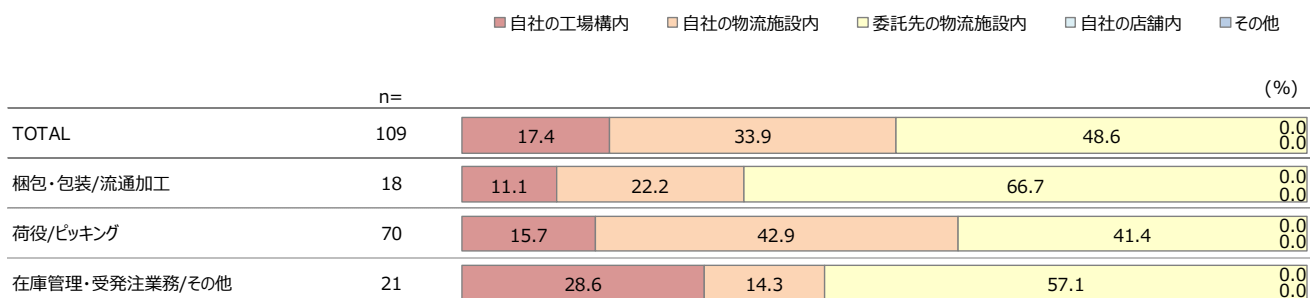
(※) 3PL(third party logistics)事業者とは、保管や輸配送、荷役、輸出入、物流コンサルといった個別の物流サービスだけではなく 物流全体を一括して請負うことで、調達から生産、販売といった物流全体の最適化・効率化の実現サービスを提供する事業者。

(5) 委託業務の場所

【設問文】 Q9 委託業務は、主にどこで行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務の場所は、「委託先の物流施設内」の割合が最も高く、48.6%。「自社の物流施設内」33.9%、「自社の工場構内」17.4%が続く。
- 委託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「委託先の物流施設内」との回答が多く、『荷役/ピッキング』では「自社の物流施設内」、『在庫管理・受発注業務/その他』では「委託先の物流施設内」や「自社の工場構内」との回答が多くなっている。

図表 I-1-5. 委託業務の場所 【委託業務区分別】



		(%)				
	n=	自社の工場構内	自社の物流施設内	委託先の物流施設内	自社の店舗内	その他
TOTAL	109	17.4	33.9	48.6	0.0	0.0
梱包・包装/流通加工	18	11.1	22.2	66.7	0.0	0.0
荷役/ピッキング	70	15.7	42.9	41.4	0.0	0.0
在庫管理・受発注業務/その他	21	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0

(6) 業務委託(アウトソーシング)の目的

【設問文】 Q10 業務を他社に委託する目的として、特に重要視しているものを次の中から、最大 3 つまで選んでください。

- 業務委託（アウトソーシング）の目的では、「人件費・管理コストの軽減」の割合が最も高く、59.6%。「業務量変動への対応」49.5%、「人材不足への対応」41.3%が続く。
- 委託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「人材不足への対応」や「品質・作業効率の向上」との回答が多い。『荷役/ピッキング』では「人件費・管理コストの軽減」や「業務量変動への対応」、『在庫管理・受発注業務/その他』では「人件費・管理コストの軽減」や「経営資源・人材の有効活用」が多くなっている。

図表 I-1-6. 業務委託（アウトソーシング）の目的 【委託業務区分別】

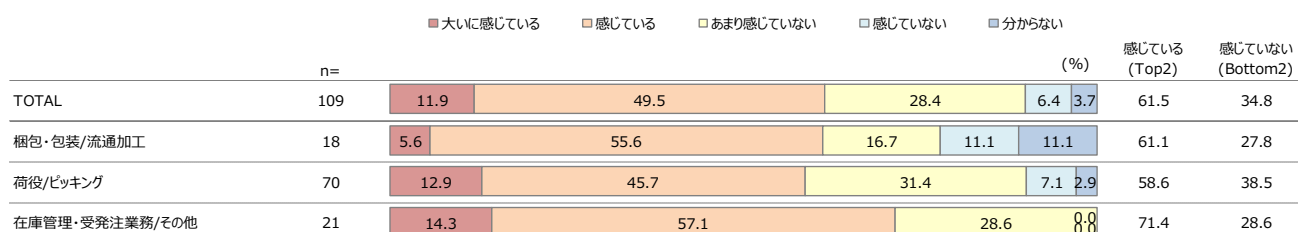


(7) 業務委託(アウトソーシング)の目的の達成度

【設問文】 Q11 前問で選んだ目的「Q10 回答引用」は、達成されていると感じていますか。複数の目的を重要視している場合は総合的な評価をお答えください。

- 業務委託（アウトソーシング）の目的の達成度では、「感じている」の割合が最も高く、49.5%。「大いに感じている」（11.9%）と合わせた「感じている（Top2）」割合は、61.5%。「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせた「感じていない（Bottom2）」の割合は 34.8%。
- 委託業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「感じている（Top2）」との回答が特に多い。

図表 I-1-7. 業務委託（アウトソーシング）の目的の達成度 【委託業務区分別】



		(%)						
	n=	大いに感じている	感じている	あまり感じていない	感じていない	分からない	感じている (Top2)	感じていない (Bottom2)
TOTAL	109	11.9	49.5	28.4	6.4	3.7	61.5	34.8
梱包・包装/流通加工	18	5.6	55.6	16.7	11.1	11.1	61.1	27.8
荷役/ピッキング	70	12.9	45.7	31.4	7.1	2.9	58.6	38.5
在庫管理・受発注業務/その他	21	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	71.4	28.6

(8) 委託先選定の重視ポイント

【設問文】 Q12 業務の委託先を選定する際に、重視するポイントを次の中から、最大 3 つまで選んでください。

- 委託先選定の重視ポイントでは、「業務処理能力・品質」の割合が最も高く、66.1%。「委託料金」53.2%、「会社の信頼性（法令遵守）」34.9%が続く。
- 委託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「業務処理能力・品質」や「会社の信頼性（法令遵守）」との回答が多い。『荷役/ピッキング』では「業務処理能力・品質」や「委託料金」、『在庫管理・受発注業務/その他』では「業務処理能力・品質」や「専門知識・技術」が多くなっている。

図表 I-1-8. 委託先選定の重視ポイント【委託業務区分別】



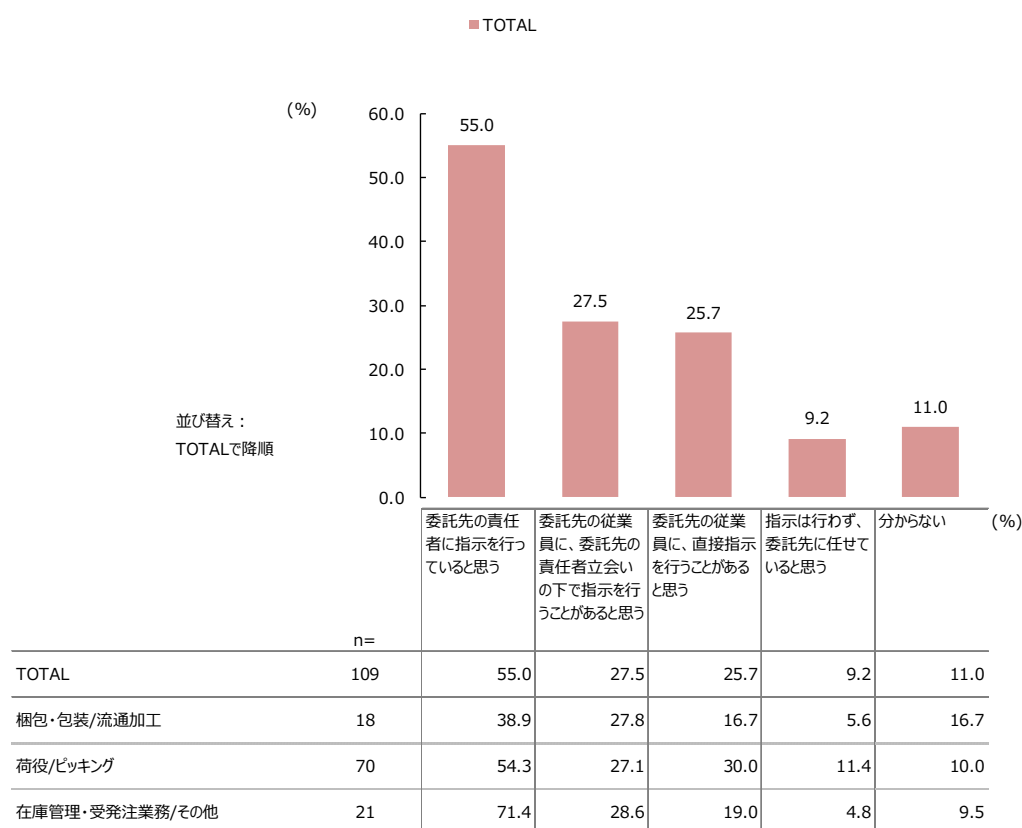
2. 委託業務の実態

(1) 委託業務への指示

【設問文】 Q13 委託業務に関し、自社の従業員は、委託先にどのように指示を行っていると思いますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 委託業務への指示では、「委託先の責任者に指示を行っていると思う」の割合が最も高く、55.0%。「委託先の従業員に、委託先の責任者立会いの下で指示を行うことがあると思う」27.5%、「委託先の従業員に、直接指示を行うことがあると思う」25.7%が続く。
- 委託業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』では「委託先の責任者に指示を行っていると思う」との回答が特に多い。『荷役/ピッキング』では「委託先の責任者に指示を行っていると思う」が多く、そのほか「委託先の従業員に、直接指示を行うことがあると思う」、「指示は行わず、委託先に任せていると思う」との回答が多くなっている。

図表 I-2-1. 委託業務への指示【委託業務区分別】

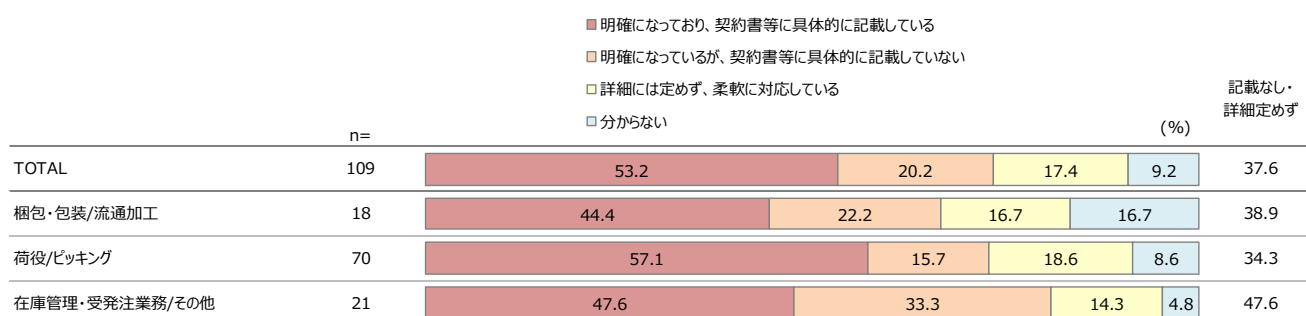


(2) 委託業務の内容・範囲の明確化

【設問文】 Q14 委託業務の内容、範囲は明確になっていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務の内容・範囲の明確化では、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」の割合が最も高く、53.2%。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」20.2%が続く。記載や詳細の定めがない割合（「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」「詳細には定めず、柔軟に対応している」の合計）は37.6%であった。
- 委託業務区別にみると、『荷役/ピッキング』では「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」との回答が多い。一方、記載や詳細の定めがない割合は、『在庫管理・受発注業務/その他』で多くなっている。

図表 I-2-2. 委託業務の内容・範囲の明確化 【委託業務区別別】



	n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している (%)	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない (%)	詳細には定めず、柔軟に対応している (%)	分からない (%)	記載なし・詳細定めず (%)
TOTAL	109	53.2	20.2	17.4	9.2	37.6
梱包・包装/流通加工	18	44.4	22.2	16.7	16.7	38.9
荷役/ピッキング	70	57.1	15.7	18.6	8.6	34.3
在庫管理・受発注業務/その他	21	47.6	33.3	14.3	4.8	47.6

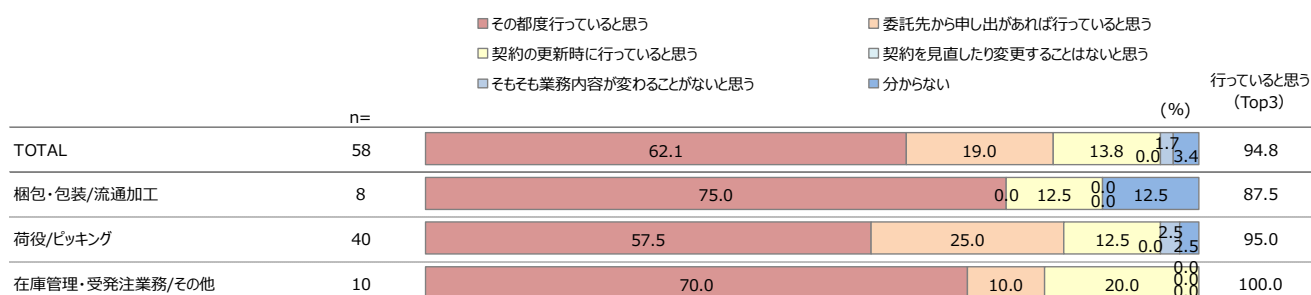
(3) 委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更

【設問文】 Q15 委託業務の内容・範囲が変わったとき、契約書等の見直し、変更を行っていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

(Q14の選択肢『1.明確になっており、契約書等に具体的に記載している』を選択した方のみ回答)

- 委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更では、「その都度行っていると思う」の割合が最も高く、62.1%。「委託先から申し出があれば行っていると思う」19.0%、「契約の更新時に行っていると思う」13.8%が続く。
- 「その都度行っていると思う」「委託先から申し出があれば行っていると思う」「契約の更新時に行っていると思う」を合わせた「行っていると思う (Top3)」の割合は、94.8%。

図表 I-2-3. 委託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更 【委託業務区分別】



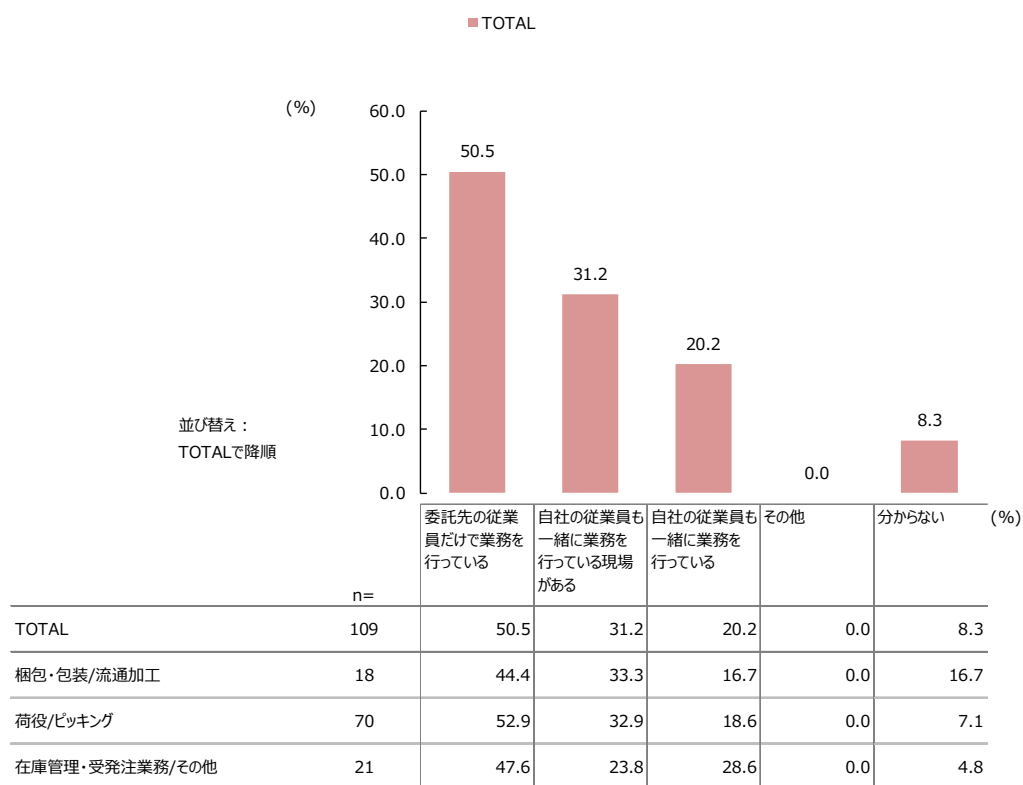
		(%)						
	n=	その都度行っていると思う	委託先から申し出があれば行っていると思う	契約の更新時に行っていると思う	契約を見直したり変更することはないと思う	そもそも業務内容が変わることがないと思う	分からない	行っていると思う (Top3)
TOTAL	58	62.1	19.0	13.8	0.0	1.7	3.4	94.8
梱包・包装/流通加工	8	75.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	87.5
荷役/ピッキング	40	57.5	25.0	12.5	0.0	2.5	2.5	95.0
在庫管理・受発注業務/その他	10	70.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(4) 委託業務を行っている現場の状況

【設問文】 Q16 委託業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 委託業務を行っている現場の状況では、「委託先の従業員だけで業務を行っている」の割合が最も高く、50.5%。「自社の従業員も一緒に業務を行っている現場がある」31.2%、「自社の従業員も一緒に業務を行っている」20.2%が続く。
- 委託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』では「委託先の従業員だけで業務を行っている」との回答が多い。『在庫管理・受発注業務/その他』では「自社の従業員も一緒に業務を行っている」で多くなっている。

図表 I-2-4. 委託業務を行っている現場の状況 【委託業務区分別】

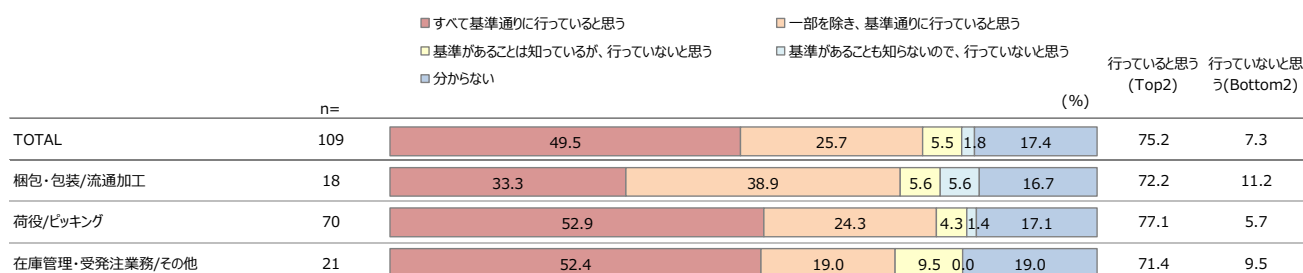


(5) 委託業務での機械・設備等の使用状況

【設問文】 Q17 業務の委託に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならない』とあります。あなたの関わる委託業務では、この通りに行われていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託業務での機械・設備等の使用状況では、「すべて基準通りに行っていると思う」の割合が最も高く、49.5%。「一部を除き、基準通りに行っていると思う」（25.7%）と合わせた「行っていると思う（TOP2）」割合は、75.2%。
- 委託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』では「行っていると思う（TOP2）」との回答が多い。『梱包・包装/流通加工』では「基準があることは知っているが、行っていないと思う」と「基準があることも知らないで、行っていないと思う」を合わせた「行っていないと思う（BOTTOM2）」との回答が多くなっている。

図表 I-2-5. 委託業務での機械・設備等の使用状況 【委託業務区分別】



								(%)
n=		すべて基準通りに行っていると思う	一部を除き、基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らないで、行っていないと思う	分からない	行っていると思う (Top2)	行っていないと思う (Bottom2)
TOTAL	109	49.5	25.7	5.5	1.8	17.4	75.2	7.3
梱包・包装/流通加工	18	33.3	38.9	5.6	5.6	16.7	72.2	11.2
荷役/ピッキング	70	52.9	24.3	4.3	1.4	17.1	77.1	5.7
在庫管理・受発注業務/その他	21	52.4	19.0	9.5	0.0	19.0	71.4	9.5

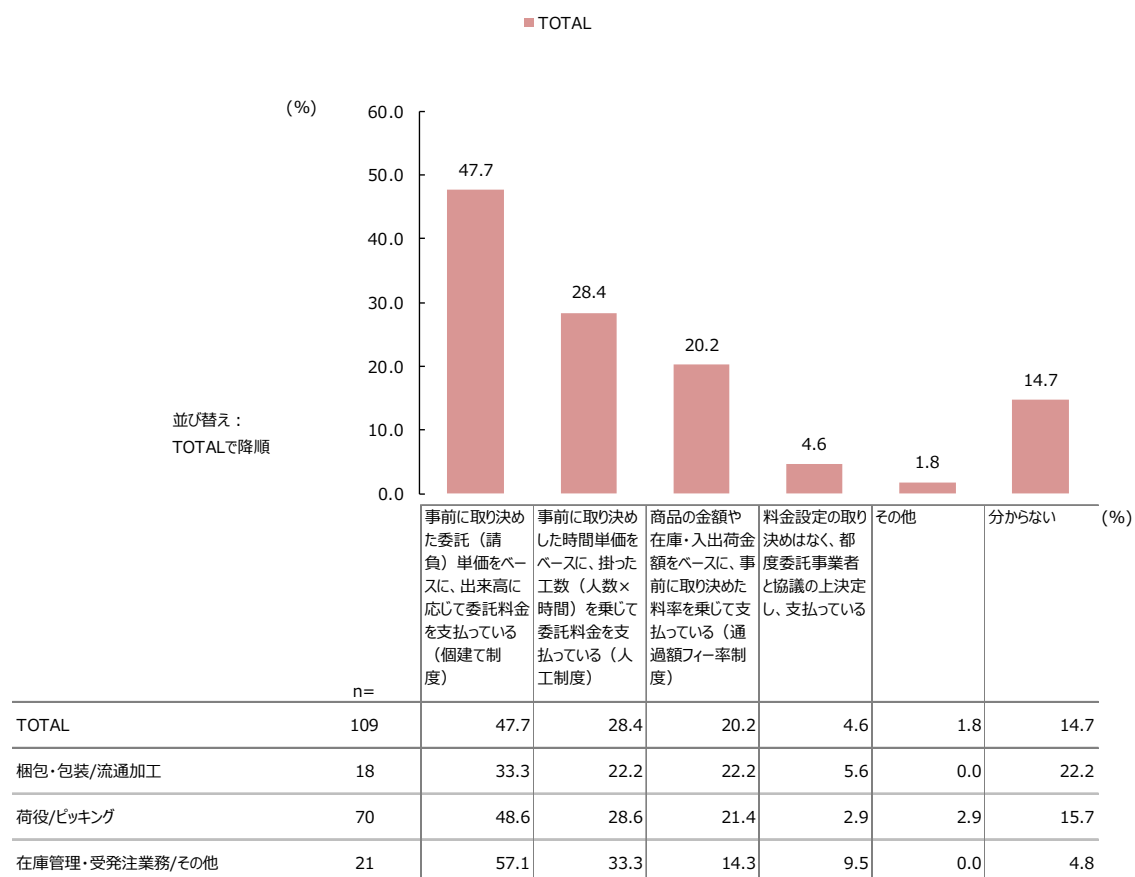
3. 委託業務の運営

(1) 委託料金の設定・支払い方法

【設問文】 Q18 委託業務の料金設定、支払い方法はどのようになっていますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

- 委託料金の設定・支払い方法では、「事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）」の割合が最も高く、47.7%。「事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）」28.4%、「商品の金額や在庫・入出荷金額をベースに、事前に取り決めた料率を乗じて支払っている（通過額フィー率制度）」20.2%が続く。
- 委託業務区別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）」との回答が多い。

図表 I-3-1.委託料金の設定・支払い方法 【委託業務区分別】



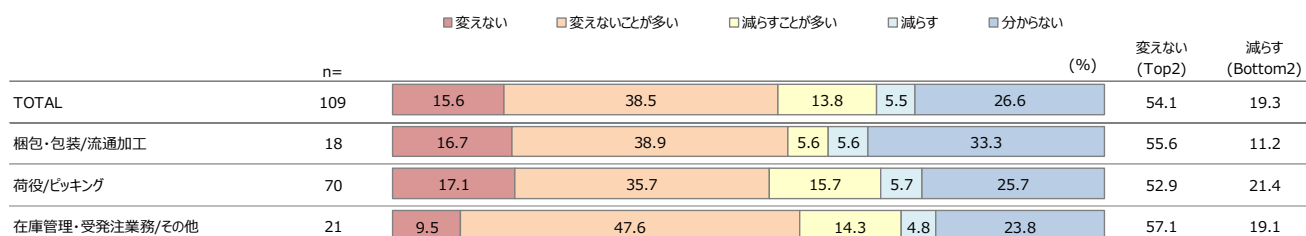
(2) 生産性向上の委託料金の見直し状況

【設問文】 Q19 委託業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、委託料金(単価) はどうしていますか。

その対応について、該当するものを1つ選んでください。

- 生産性向上の委託料金の見直し状況では、「変えない」と「変えないことが多い」を合わせた「変えない（Top2）」割合は 54.1%、「減らすことが多い」と「減らす」を合わせた「減らす（Bottom2）」割合は 19.3%であった。
- 委託業務区分別には特徴は見られなかった。

図表 I-3-2. 生産性向上の委託料金の見直し状況【委託業務区分別】



(%)

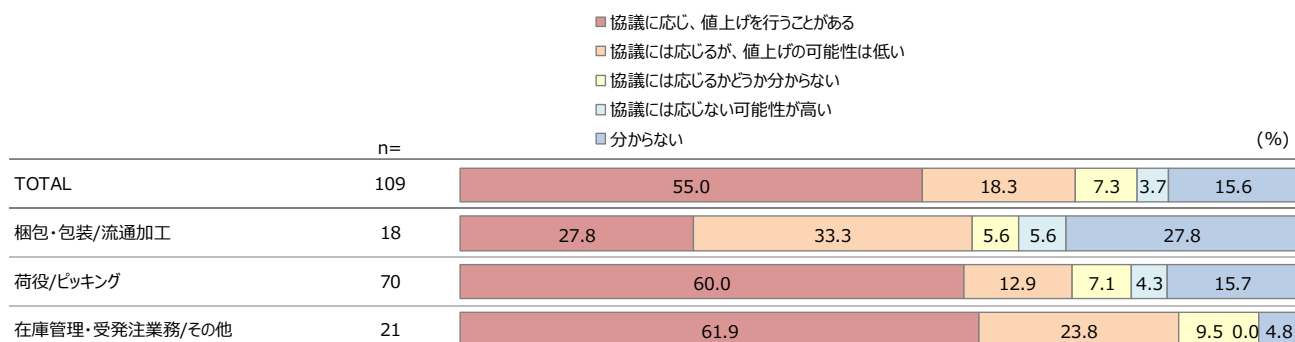
	n=	変えない	変えないことが多い	減らすことが多い	減らす	分からない	変えない (Top2)	減らす (Bottom2)
TOTAL	109	15.6	38.5	13.8	5.5	26.6	54.1	19.3
梱包・包装/流通加工	18	16.7	38.9	5.6	5.6	33.3	55.6	11.2
荷役/ピッキング	70	17.1	35.7	15.7	5.7	25.7	52.9	21.4
在庫管理・受発注業務/その他	21	9.5	47.6	14.3	4.8	23.8	57.1	19.1

(3) 委託料金値上げ申入れへの対応

【設問文】 Q20 委託先から委託料金の値上げの申し入れがあった場合、どのように対応しますか。該当するものを1つ選んでください。

- 委託料金値上げ申入れへの対応では、「協議に応じ、値上げを行うことがある」の割合が最も高く、55.0%。「協議には応じるが、値上げの可能性は低い」18.3%、「分からない」15.6%が続く。
- 委託業務区別にみると、『荷役/ピッキング』『在庫管理・受発注業務/その他』で「協議に応じ、値上げを行うことがある」との回答が特に多い。

図表 I-3-3. 委託料金値上げ申入れへの対応【委託業務区分別】



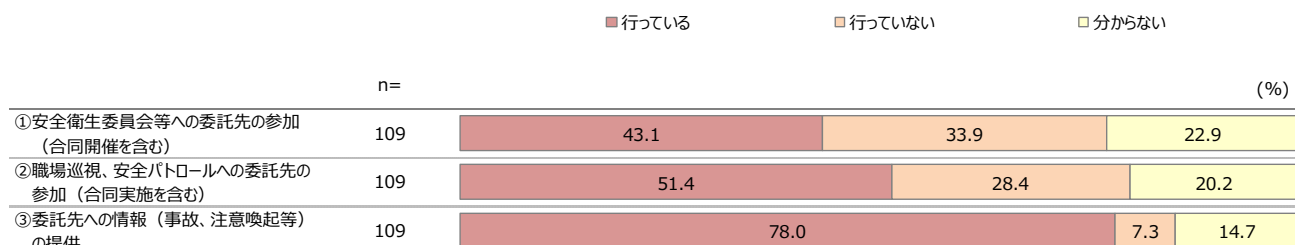
	n=	協議に応じ、値上げを行うことがある	協議には応じるが、値上げの可能性は低い	協議には応じるかどうか分からない	協議には応じない可能性が高い	分からない
TOTAL	109	55.0	18.3	7.3	3.7	15.6
梱包・包装/流通加工	18	27.8	33.3	5.6	5.6	27.8
荷役/ピッキング	70	60.0	12.9	7.1	4.3	15.7
在庫管理・受発注業務/その他	21	61.9	23.8	9.5	0.0	4.8

(4) 安全衛生管理の委託先との連携

【設問文】 Q21 安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

- 安全衛生管理の委託先との情報共有・連携状況について、「行っている」割合が高いのは『③情報（事故、注意喚起等）の提供』（78.0%）で7割を超え、『②職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加（合同実施を含む）』（51.4%）および『①安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催を含む）』（43.1%）は4割程度に留まる。

図表 I-3-4. 安全衛生管理の委託先との連携



	n=	行っている (%)	行っていない (%)	分からない (%)
安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催を含む）	109	43.1	33.9	22.9
職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加（合同実施を含む）	109	51.4	28.4	20.2
委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供	109	78.0	7.3	14.7

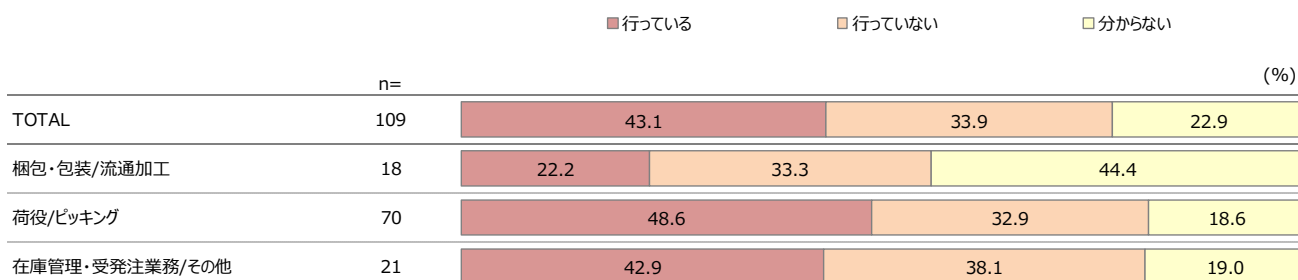
【設問文】 Q21 安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、教えてください。

①安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催を含む）

- 安全衛生委員会等への委託先の参加では、「行っている」の割合が最も高く、43.1%。「行っていない」33.9%、「分からない」22.9%が続く。
- 委託業務区分別では、『荷役/ピッキング』『在庫管理・受発注業務/その他』で「行っている」との回答が多く、どちらも半数弱となっている。

図表 I-3-4.安全衛生管理の委託先との連携

①安全衛生委員会等への委託先の参加【委託業務区分別】



		n=			(%)
		行っている	行っていない	分からない	
TOTAL	109	43.1	33.9	22.9	
梱包・包装/流通加工	18	22.2	33.3	44.4	
荷役/ピッキング	70	48.6	32.9	18.6	
在庫管理・受発注業務/その他	21	42.9	38.1	19.0	

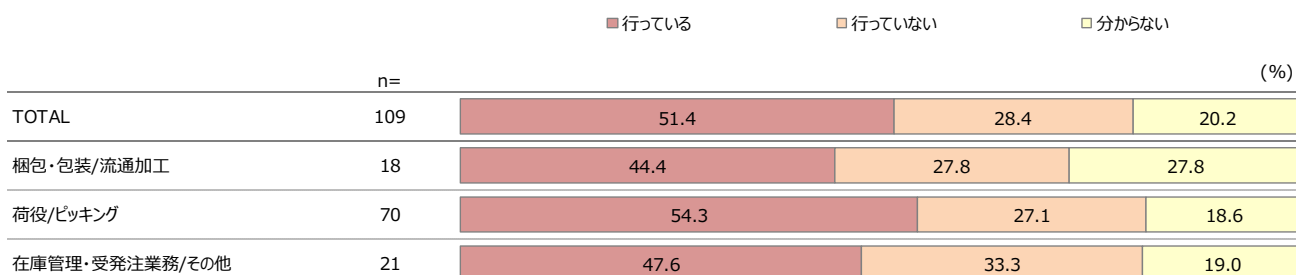
【設問文】 Q21 安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、教えてください。

②職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加（合同実施を含む）

- 職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加では、「行っている」の割合が最も高く、51.4%。「行っていない」28.4%、「分からない」20.2%が続く。
- 委託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』で「行っている」との回答が多い。

図表 I-3-4.安全衛生管理の委託先との連携

②職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加【委託業務区分別】



		n=			(%)
		行っている	行っていない	分からない	
TOTAL	109	51.4	28.4	20.2	
梱包・包装/流通加工	18	44.4	27.8	27.8	
荷役/ピッキング	70	54.3	27.1	18.6	
在庫管理・受発注業務/その他	21	47.6	33.3	19.0	

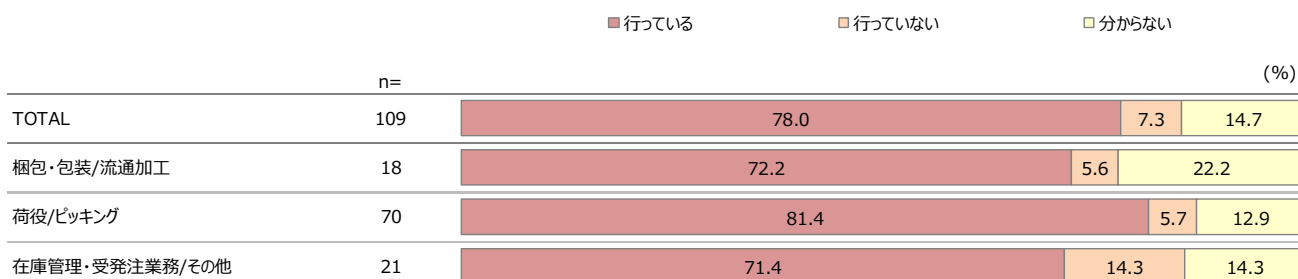
【設問文】 Q21 安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、教えてください。

③ 委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供

- 委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供では、「行っている」割合が最も高く、78.0%。「分からない」14.7%、「行っていない」7.3%が続く。
- 委託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』で「行っている」との回答が多い。

図表 I-3-4.安全衛生管理の委託先との連携

③委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供【委託業務区分別】



	n=	行っている (%)	行っていない (%)	分からない (%)
TOTAL	109	78.0	7.3	14.7
梱包・包装/流通加工	18	72.2	5.6	22.2
荷役/ピッキング	70	81.4	5.7	12.9
在庫管理・受発注業務/その他	21	71.4	14.3	14.3

(5) 国が定めた基準の認識

【設問文】 Q22 委託している業務が、偽装請負にならないための基準があることを知っていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 国が定めた基準の認識では、「基準があることも内容も知っている」の割合が最も高く、46.8%。「基準があることを聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない」（36.7%）を合わせた「認知率（Top2）」は、83.5%。
- 委託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』で「認知率（Top2）」との回答が多い。『在庫管理・受発注業務/その他』では「基準があることも内容も知っている」との回答が多くなっている。

図表 I-3-5.国が定めた基準の認識 【委託業務区分別】

	n=	■ 基準があることも内容も知っている ■ 基準があることを聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない ■ まったく知らない			認知率(Top2) 内容を知らない	
		(%)				
TOTAL	109	46.8	36.7	16.5	83.5	53.2
梱包・包装/流通加工	18	33.3	33.3	33.3	66.7	66.6
荷役/ピッキング	70	48.6	38.6	12.9	87.1	51.5
在庫管理・受発注業務/その他	21	52.4	33.3	14.3	85.7	47.6

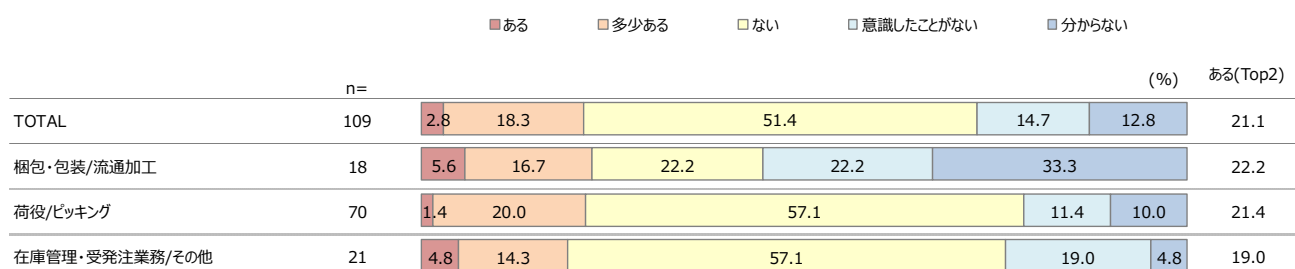
	n=	基準があることも内容も知っている	基準があることを聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない	まったく知らない	認知率(Top2)	内容を知らない
TOTAL	109	46.8	36.7	16.5	83.5	53.2
梱包・包装/流通加工	18	33.3	33.3	33.3	66.7	66.6
荷役/ピッキング	70	48.6	38.6	12.9	87.1	51.5
在庫管理・受発注業務/その他	21	52.4	33.3	14.3	85.7	47.6

(6) 偽装請負への不安

【設問文】 Q23 あなたの関わる委託業務に関し、偽装請負への不安はありますか。該当するものを1つ選んでください。

- 偽装請負への不安では、「ない」の割合が最も高く、51.4%。「ある」（2.8%）、「多少ある」（18.3%）を合わせた「ある（Top2）」割合は、21.1%。
- 委託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』で「意識したことがない」と「分からない」との合計が半数以上となっている。

図表 I-3-6. 偽装請負への不安【委託業務区分別】



		(%)					
	n=	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある(Top2)
TOTAL	109	2.8	18.3	51.4	14.7	12.8	21.1
梱包・包装/流通加工	18	5.6	16.7	22.2	22.2	33.3	22.2
荷役/ピッキング	70	1.4	20.0	57.1	11.4	10.0	21.4
在庫管理・受発注業務/その他	21	4.8	14.3	57.1	19.0	4.8	19.0

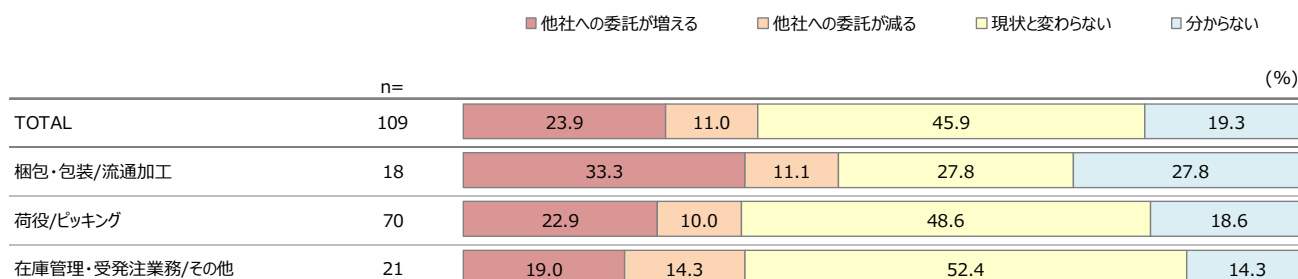
4. 業務委託(アウトソーシング)の今後の見通し

(1) 業務委託(アウトソーシング)の今後の見通し

【設問文】 Q24 貴事業所の物流業務全般に関し、他社への委託が今後どのようになるとお考えですか。該当するものを1つ選んでください。

- 業務委託（アウトソーシング）の今後の見通しでは、「現状と変わらない」の割合が最も高く、45.9%。「他社への委託が増える」23.9%、「分からない」19.3%が続く。
- 委託業務区分別では、『梱包・包装/流通加工』は「他社への委託が増える」との回答が多い。『荷役/ピッキング』『在庫管理・受発注業務/その他』では「現状と変わらない」が約半数と多くなっている。

図表 I-4-1. 業務委託（アウトソーシング）の今後の見通し【委託業務区分別】



		(%)			
	n=	他社への委託が増える	他社への委託が減る	現状と変わらない	分からない
TOTAL	109	23.9	11.0	45.9	19.3
梱包・包装/流通加工	18	33.3	11.1	27.8	27.8
荷役/ピッキング	70	22.9	10.0	48.6	18.6
在庫管理・受発注業務/その他	21	19.0	14.3	52.4	14.3

(2) 業務委託(アウトソーシング)の増加見通しの理由

【設問文】 Q25 前問で、「他社への委託が増える」と答えた方にお聞きます。その理由として考えられるものを最大 3 つまでお答えください。

- 業務委託（アウトソーシング）の増加見通しの理由では、「取扱量（物量）の増加」「人材不足への対応」の割合が最も高く、57.7%。「人件費・管理コストの軽減」46.2%が続く。

図表 I-4-2. 業務委託（アウトソーシング）の増加見通しの理由【委託業務区分別】

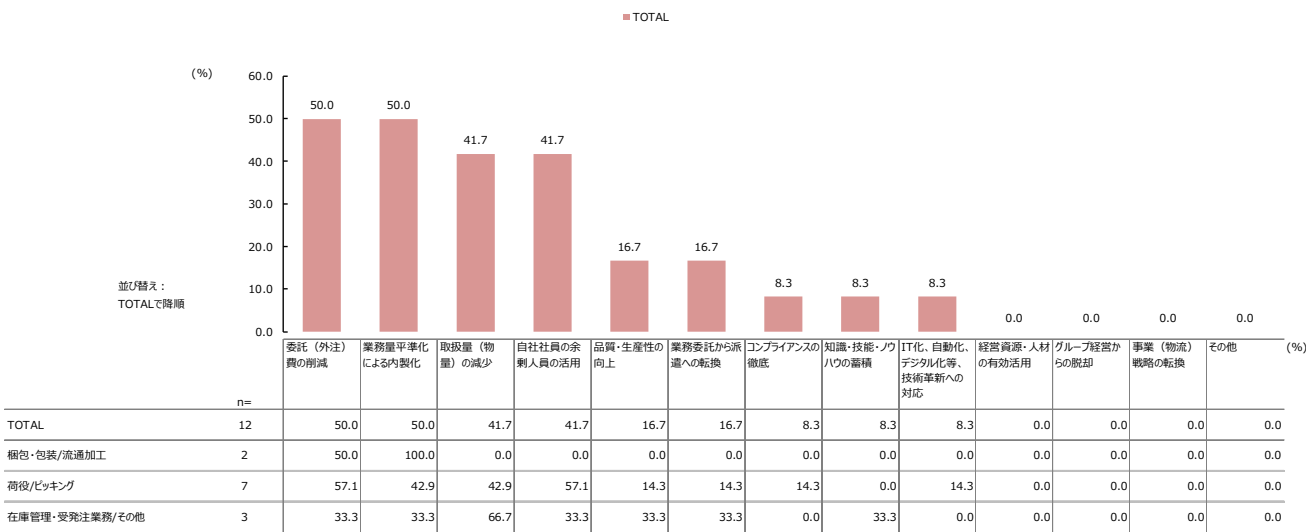


(3) 業務委託(アウトソーシング)の減少見通しの理由

【設問文】 Q26 前問で、「他社への委託が減る」と答えた方にお聞きします。その理由として考えられるものを最大 3 つまでお答えください。

- 業務委託（アウトソーシング）の減少見通しの理由では、「委託（外注）費の削減」「業務量平準化による内製化」の割合が最も高く、50.0%。「取扱量（物量）の減少」「自社社員の余剰人員の活用」41.7%が続く。

図表 I-4-3. 業務委託（アウトソーシング）の減少見通しの理由【委託業務区分別】



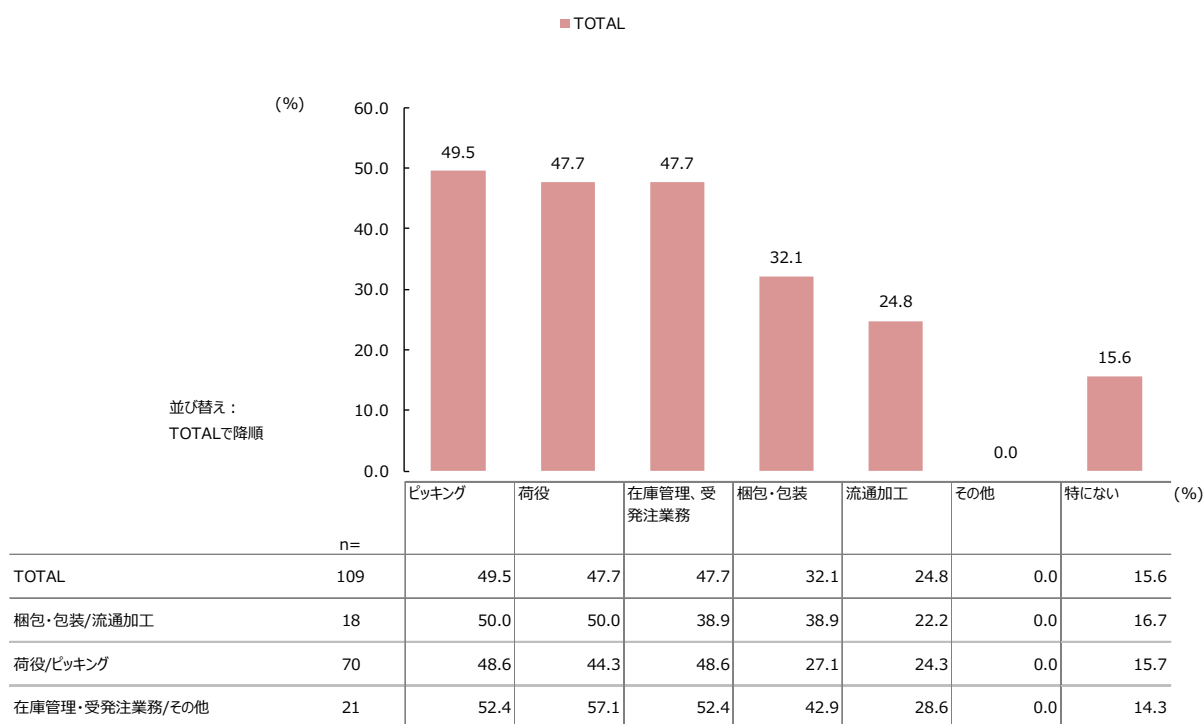
5. 自動化、デジタル化の状況

(1) 今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務

【設問文】 Q27 貴事業所の物流業務全般に関し、今後、IT 化、自動化、デジタル化の導入を進めて行きたいと考えている業務を教えてください。（複数回答可）

- 今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務では、「ピッキング」の割合が最も高く、49.5%。「荷役」「在庫管理、受発注業務」47.7%が続く。
- 委託業務区分別にみると、「ピッキング」のほか、『梱包・包装/流通加工』では「荷役」、『荷役/ピッキング』では「在庫管理、受発注業務」や「荷役」、『在庫管理・受発注業務/その他』では「荷役」や「在庫管理、受発注業務」が挙げられている。

図表 I-5-1. 今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務 【委託業務区分別】



II. 受託者(請負事業者)

1. 受託(請負)業務の概要

(1) 受託者の概要と受託(請負)業務

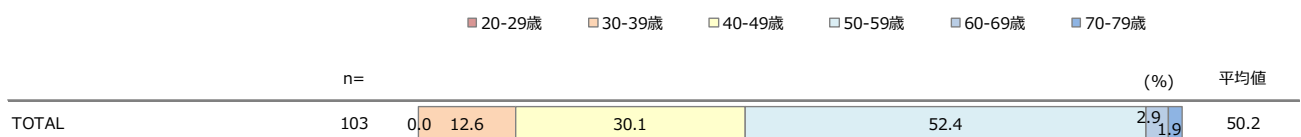
【設問文】 Q1 あなたの性別をお答えください。 / Q2 あなたの年齢をお答えください。 / Q3 あなたの会社の年間のおよその売上高について、該当するものを1つ選んでください。 / Q4 あなたの会社の従業員（契約社員・パート社員等有期契約者を除く）のおよその人数について、該当するものを1つ選んでください。

- 回答者の属性、勤務先の会社は次のとおり。

図表 II-1-1①. 回答者の性別 (Q1)



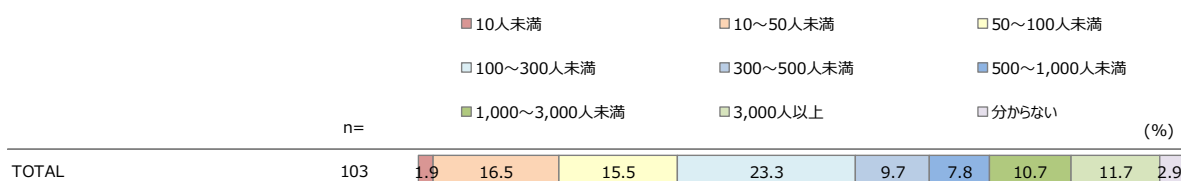
図表 II-1-1②. 回答者の年齢 (Q2)



図表 II-1-1③. 回答者の会社の売上規模 (Q3)



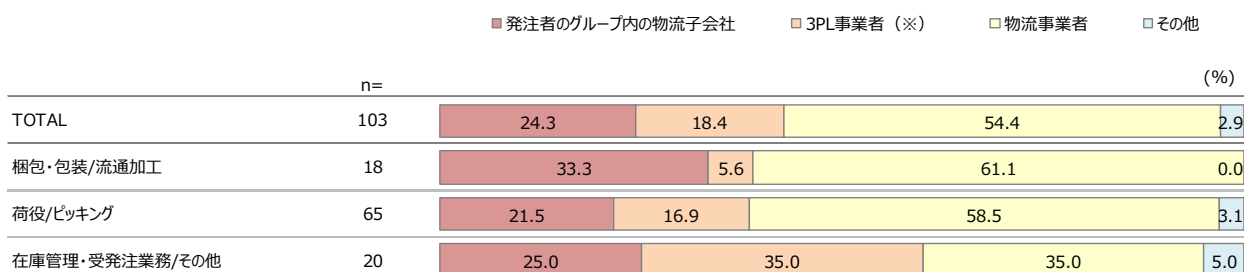
図表 II-1-1④. 回答者の会社の人員規模 (Q4)



【設問文】 Q5 あなたが所属している会社は、どこに該当するか教えてください。該当するものを1つ選んでください。

- 会社の事業タイプでは、「物流事業者」の割合が最も高く、54.4%。「発注者のグループ内の物流子会社」24.3%、「3PL事業者（※）」18.4%が続く。
- 受託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』は「3PL事業者（※）」との回答が少なく「発注者のグループ内の物流子会社」との回答が多くなっている。一方『在庫管理・受発注業務/その他』は「3PL事業者（※）」との回答が多くなっている。

図表 II-1-1⑤. 会社の事業タイプ（Q5）【受託業務区分別】



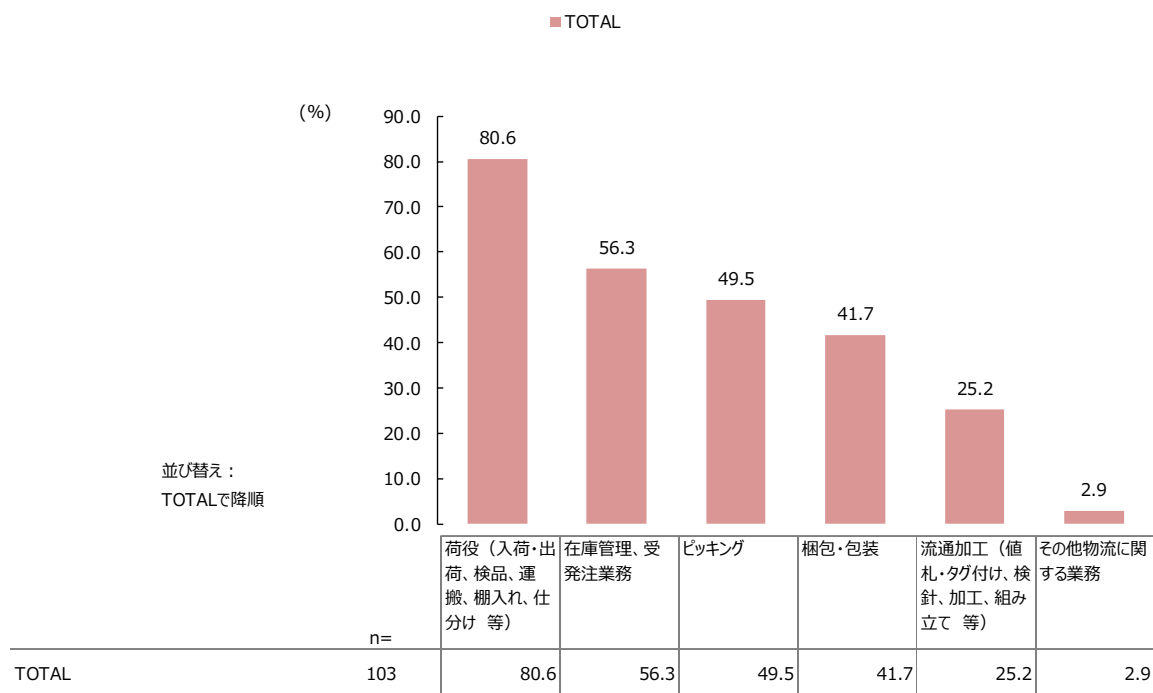
（※）3PL(third party logistics)事業者とは、保管や輸配送、荷役、輸出入、物流コンサルといった個別の物流サービスだけでなく物流全体を一括して請負うことで、調達から生産、販売といった物流全体の最適化・効率化の実現サービスを提供する事業者。

		(%)			
	n=	発注者のグループ内の物流子会社	3PL事業者（※）	物流事業者	その他
TOTAL	103	24.3	18.4	54.4	2.9
梱包・包装/流通加工	18	33.3	5.6	61.1	0.0
荷役/ピッキング	65	21.5	16.9	58.5	3.1
在庫管理・受発注業務/その他	20	25.0	35.0	35.0	5.0

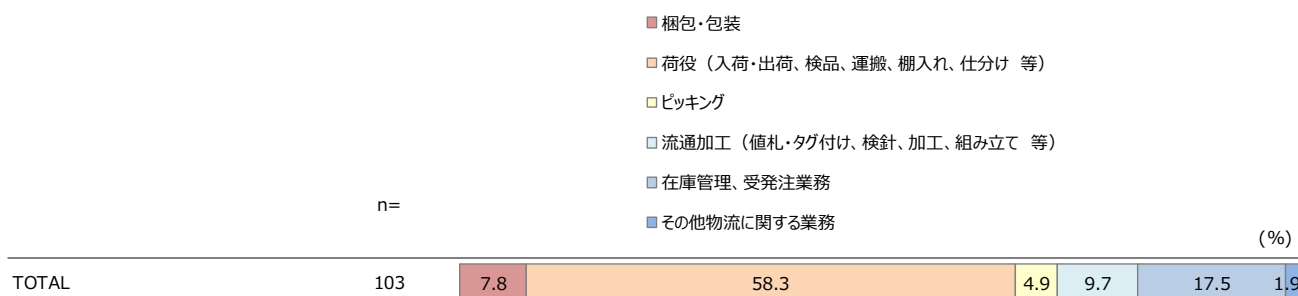
【設問文】 Q6 あなたが関わっている他社から請負っている業務についてうかがいます。

- 回答者の受託(請負)業務の内容は次のとおり。

図表 II-1-1⑥. 受託(請負)業務の内容 (Q6 項目 1)



図表 II-1-1⑦. 受託(請負)業務の内容 (Q6 項目 2)

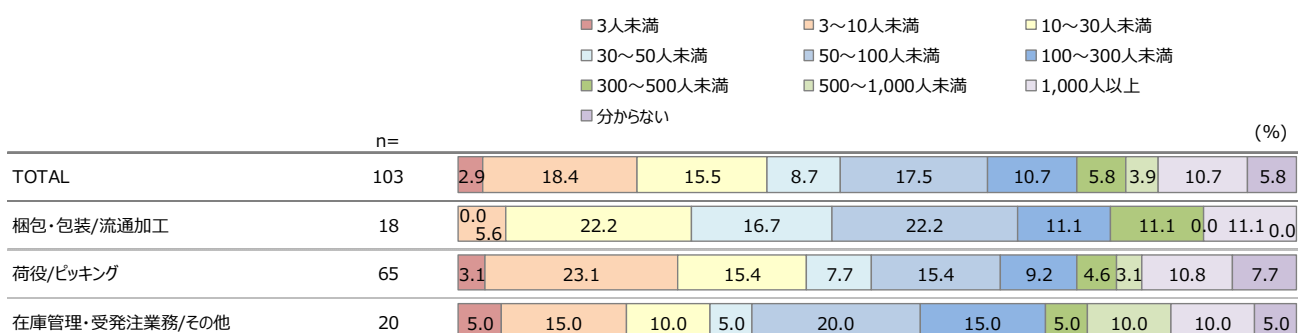


(2) 受託(請負)業務の人員規模

【設問文】 Q7 請負業務は、全体で何人くらいで行っていますか（自社で使用している派遣労働者を含む）。およその人数について、該当するものを 1 つ 選んでください。

- 受託（請負）業務の人員規模では、「3～10 人未満」の割合が最も高く、18.4%。「50～100 人未満」17.5%、「10～30 人未満」15.5%が続く。
- 受託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』が最も人数規模が小さく、『荷役/ピッキング』『在庫管理・受発注業務/その他』の順に大きくなる。

図表 II-1-2. 受託（請負）業務の人員規模【受託業務区分別】



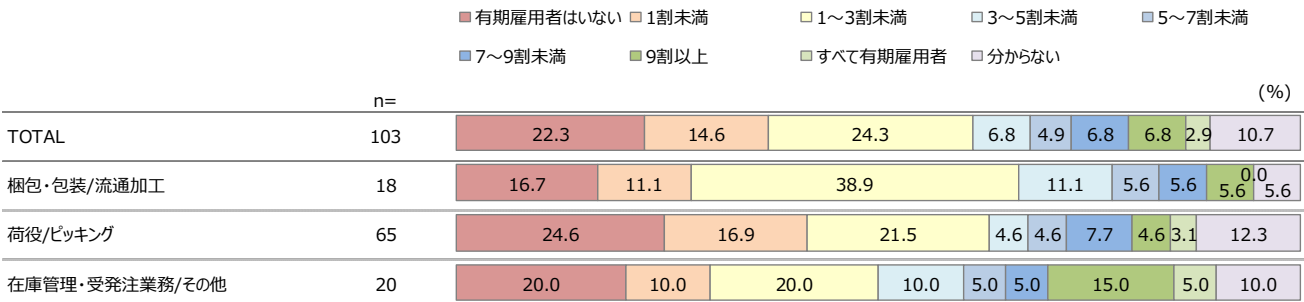
	n=	3人未満	3～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上	分からない
TOTAL	103	2.9	18.4	15.5	8.7	17.5	10.7	5.8	3.9	10.7	5.8
梱包・包装/流通加工	18	0.0	5.6	22.2	16.7	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
荷役/ピッキング	65	3.1	23.1	15.4	7.7	15.4	9.2	4.6	3.1	10.8	7.7
在庫管理・受発注業務/その他	20	5.0	15.0	10.0	5.0	20.0	15.0	5.0	10.0	10.0	5.0

(3) 受託(請負)業務の有期契約雇用者の構成割合

【設問文】 Q8 Q7 で回答いただいた人数の中で、有期雇用者（派遣労働者を除く）の占める割合は、およそどれくらいですか。該当するものを1つ選んでください。

- 受託（請負）業務の有期契約雇用者の構成割合は、「1～3 割未満」の割合が最も高く、24.3%であった。「有期雇用者はいない」は22.3%、「すべて有期雇用者」は2.9%であった。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』は有期雇用者が少ない傾向にあり、『在庫管理・受発注業務/その他』は比較的有期雇用者が多い。

図表 II-1-3. 受託(請負)業務の有期契約雇用者の構成割合 【受託業務区分別】



	n=	有期雇用者はいない	1割未満	1～3割未満	3～5割未満	5～7割未満	7～9割未満	9割以上	すべて有期雇用者	分からない
TOTAL	103	22.3	14.6	24.3	6.8	4.9	6.8	6.8	2.9	10.7
梱包・包装/流通加工	18	16.7	11.1	38.9	11.1	5.6	5.6	5.6	0.0	5.6
荷役/ピッキング	65	24.6	16.9	21.5	4.6	4.6	7.7	4.6	3.1	12.3
在庫管理・受発注業務/その他	20	20.0	10.0	20.0	10.0	5.0	5.0	15.0	5.0	10.0

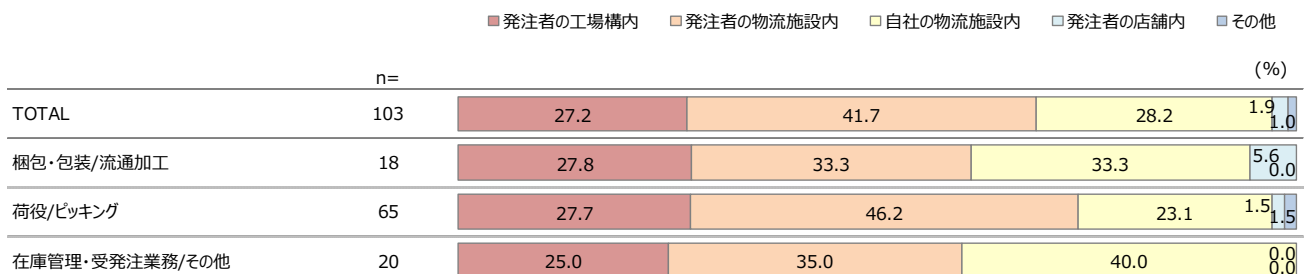
2. 受託(請負)業務の実態

(1) 受託(請負)業務の場所

【設問文】 Q9 請負業務は主にどこで行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 受託（請負）業務の場所では、「発注者の物流施設内」の割合が最も高く、41.7%。「自社の物流施設内」28.2%、「発注者の工場構内」27.2%が続く。
- 受託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』に比べて『梱包・包装/流通加工』『在庫管理・受発注業務/その他』では「発注者の物流施設内」が少なく、「自社の物流施設内」が多くなっている。

図表 II-2-1. 受託(請負)業務の場所 【受託業務区分別】



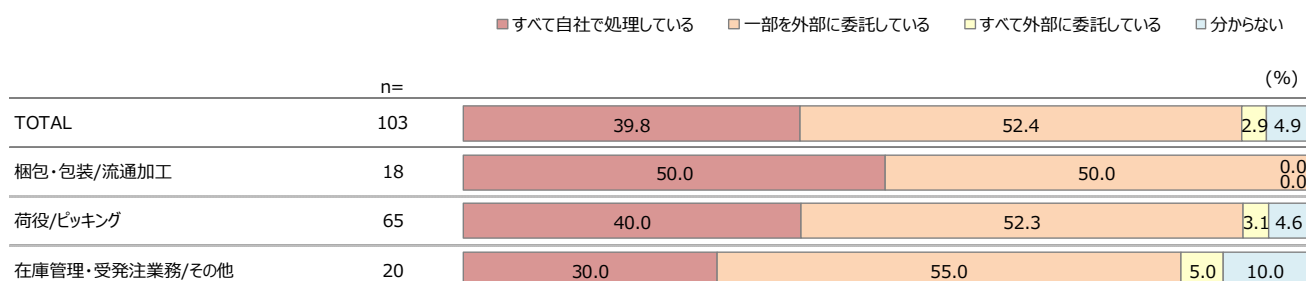
	n=	発注者の工場構内	発注者の物流施設内	自社の物流施設内	発注者の店舗内	その他
TOTAL	103	27.2	41.7	28.2	1.9	1.0
梱包・包装/流通加工	18	27.8	33.3	33.3	5.6	0.0
荷役/ピッキング	65	27.7	46.2	23.1	1.5	1.5
在庫管理・受発注業務/その他	20	25.0	35.0	40.0	0.0	0.0

(2) 受託(請負)業務の外部への委託

【設問文】 Q10 請負業務をどのように処理しているのか、該当するものを1つ選んでください。

- 受託（請負）業務の外部への委託では、「一部を外部に委託している」の割合が最も高く、52.4%。「すべて自社で処理している」39.8%、「分からない」4.9%が続く。
- 受託業務区別にみると、「すべて自社で処理している」割合は『梱包・包装/流通加工』で多く、『在庫管理・受発注業務/その他』で少ない傾向にある。

図表 II-2-2. 受託(請負)業務の外部への委託 【受託業務区分別】



(%)

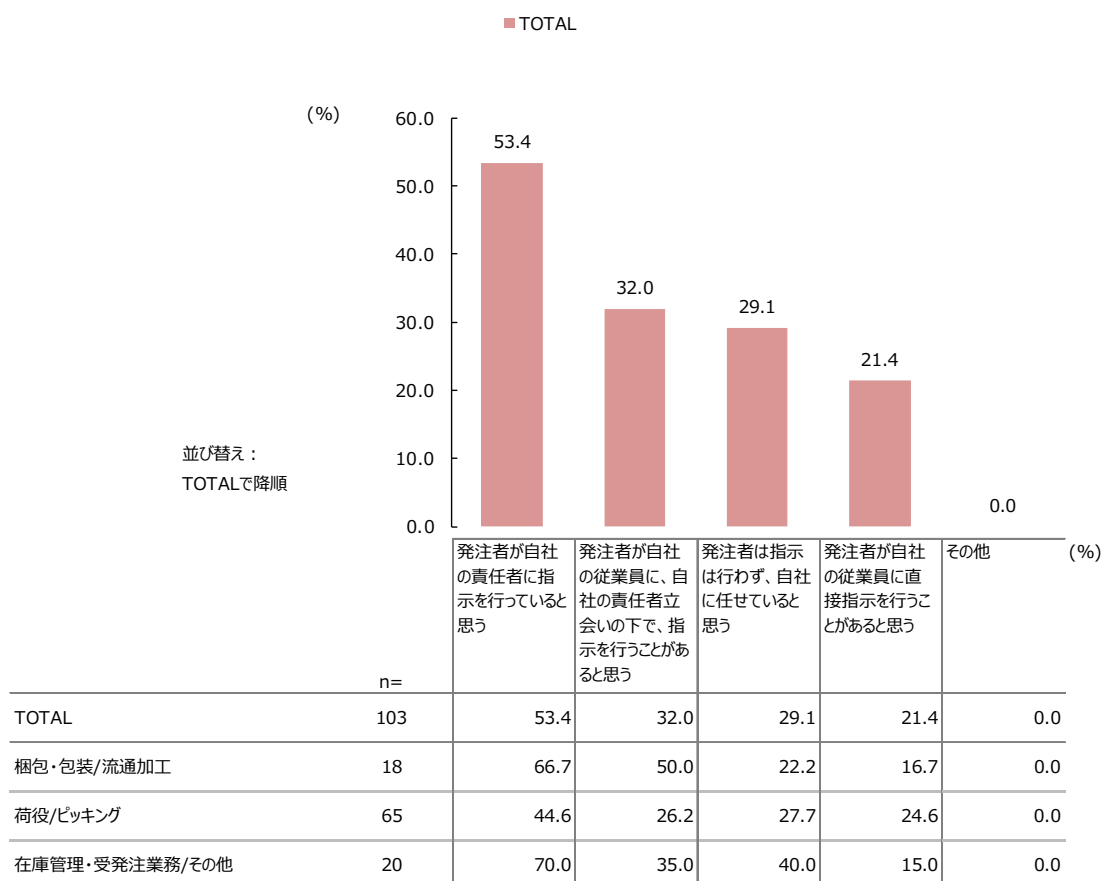
	n=	すべて自社で処理している	一部を外部に委託している	すべて外部に委託している	分からない
TOTAL	103	39.8	52.4	2.9	4.9
梱包・包装/流通加工	18	50.0	50.0	0.0	0.0
荷役/ピッキング	65	40.0	52.3	3.1	4.6
在庫管理・受発注業務/その他	20	30.0	55.0	5.0	10.0

(3) 発注者の受託(請負)業務への指示

【設問文】 Q11 現在、請負っている業務に関し、発注者(荷主)は自社の従業員に対してどのように指示を行っていると思いますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

- 発注者の受託(請負)業務への指示では、「発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う」が最も高く、53.4%。「発注者が自社の従業員に、自社の責任者立会いの下で、指示を行うことがあると思う」32.0%、「発注者は指示は行わず、自社に任せていると思う」29.1%が続く。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』と『在庫管理・受発注業務/その他』では「発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う」の回答が多い。一方で『荷役/ピッキング』では4分の1が「発注者が自社の従業員に直接指示を行うことがあると思う」と答えている。

図表 II-2-3. 発注者の受託(請負)業務への指示 【受託業務区分別】

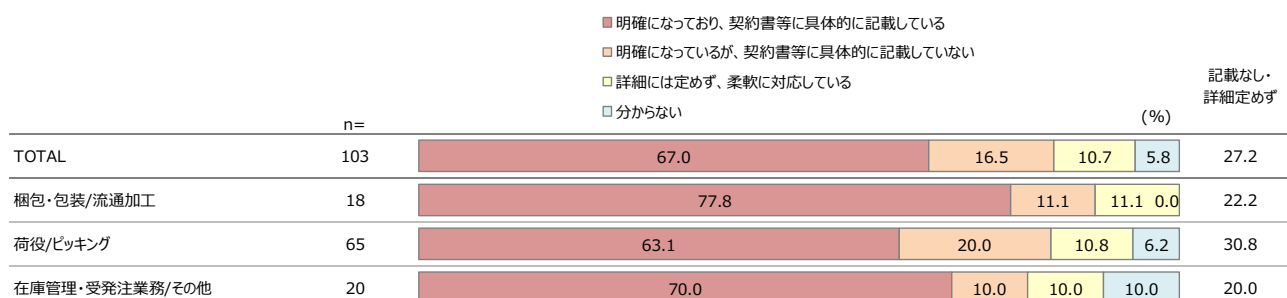


(4) 受託(請負)業務の内容・範囲の明確化

【設問文】 Q12 請負業務の内容、範囲は、明確になっていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 受託業務の内容・範囲が「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」の割合は全体の67.0%であった。一方、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」は16.5%、「詳細には定めず、柔軟に対応している」は10.7%であり、記載や詳細の定めがない割合（「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」「詳細には定めず、柔軟に対応している」の合計）は27.2%となっている。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』や『在庫管理・受発注業務/その他』では「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」との回答が多い一方、『荷役/ピッキング』で記載や詳細の定めがないとの回答が多い。

図表 II-2-4. 受託(請負)業務の内容・範囲の明確化 【受託業務区分別】



	n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	詳細には定めず、柔軟に対応している	分からない	記載なし・詳細定めず (%)
TOTAL	103	67.0	16.5	10.7	5.8	27.2
梱包・包装/流通加工	18	77.8	11.1	11.1	0.0	22.2
荷役/ピッキング	65	63.1	20.0	10.8	6.2	30.8
在庫管理・受発注業務/その他	20	70.0	10.0	10.0	10.0	20.0

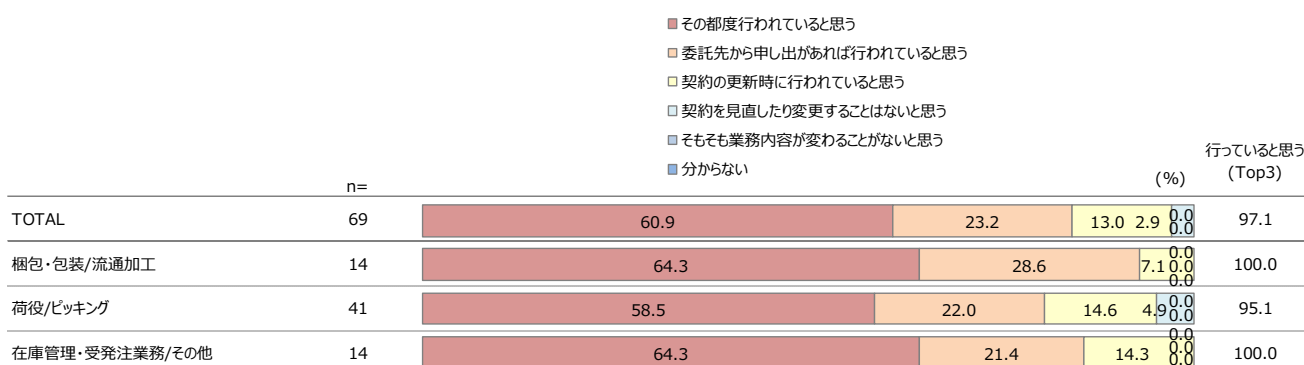
(5) 受託(請負)業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更

【設問文】 Q13 請負業務の内容・範囲が変わったとき、契約書等の見直し、変更が行われていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

(Q12の選択肢『1.明確になっており、契約書等に具体的に記載している』を選択した方のみ回答)

- 受託業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更では、「その都度行われていると思う」の割合が最も高く、60.9%。「委託先から申し出があれば行われていると思う」23.2%、「契約の更新時に行われていると思う」13.0%が続く。
- 受託業務区分別には特徴は見られなかった。

図表 II-2-5. 受託(請負)業務の内容・範囲変更時の契約書等の見直し・変更 【受託業務区分別】



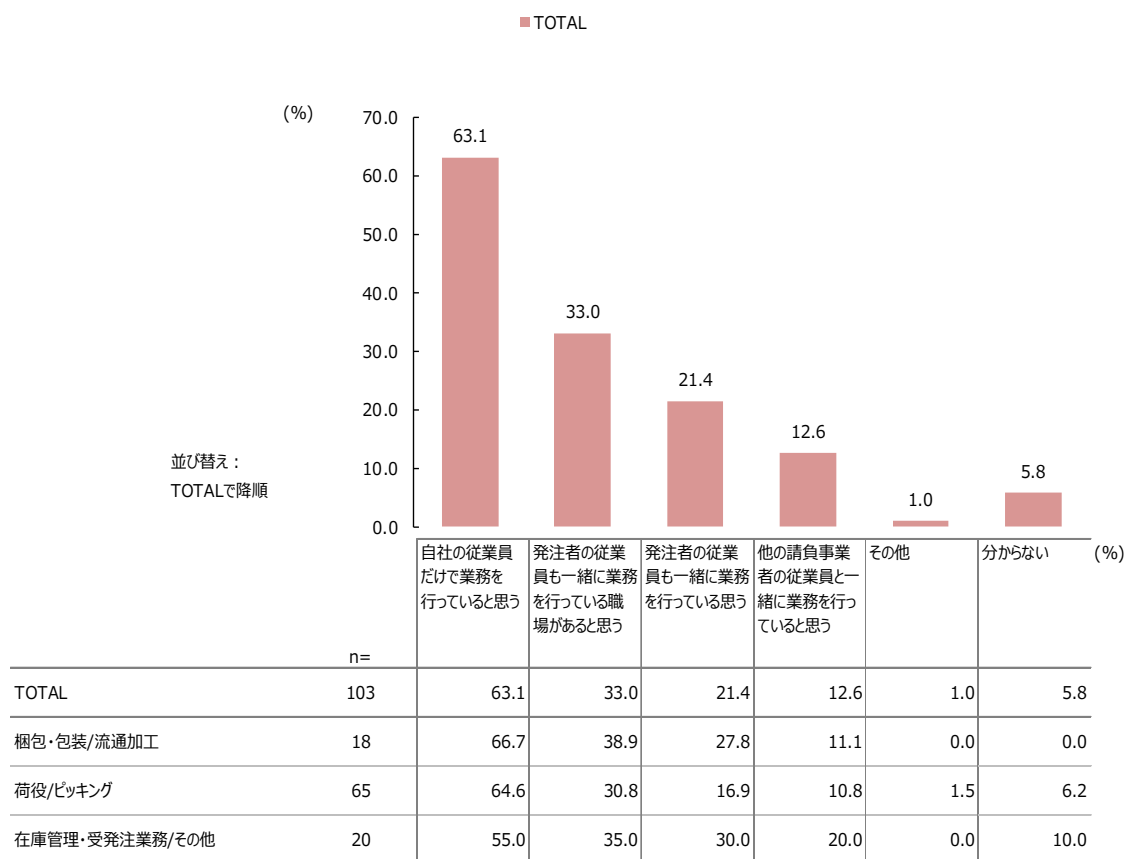
	n=	(%)						
		その都度行われていると思う	委託先から申し出があれば行われていると思う	契約の更新時に行われていると思う	契約を見直したり変更することはないと思う	そもそも業務内容が変わることがないと思う	分からない	行っていると思う (Top3)
TOTAL	69	60.9	23.2	13.0	2.9	0.0	0.0	97.1
梱包・包装/流通加工	14	64.3	28.6	7.1	0.0	0.0	0.0	100.0
荷役/ピッキング	41	58.5	22.0	14.6	4.9	0.0	0.0	95.1
在庫管理・受発注業務/その他	14	64.3	21.4	14.3	0.0	0.0	0.0	100.0

(6) 受託(請負)業務を行っている現場の状況

【設問文】 Q14 請負業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

- 受託(請負)業務を行っている現場の状況では、「自社の従業員だけで業務を行っていると思う」の割合が最も高く、63.1%。「発注者の従業員と一緒に業務を行っている職場があると思う」33.0%、「発注者の従業員と一緒に業務を行っていると思う」21.4%が続く。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』や『荷役/ピッキング』では「自社の従業員だけで業務を行っていると思う」との回答が多い一方、『在庫管理・受発注業務/その他』では「他の請負事業者の従業員と一緒に業務を行っていると思う」との回答が多い。

図表 II-2-6. 受託(請負)業務を行っている現場の状況【受託業務区分別】

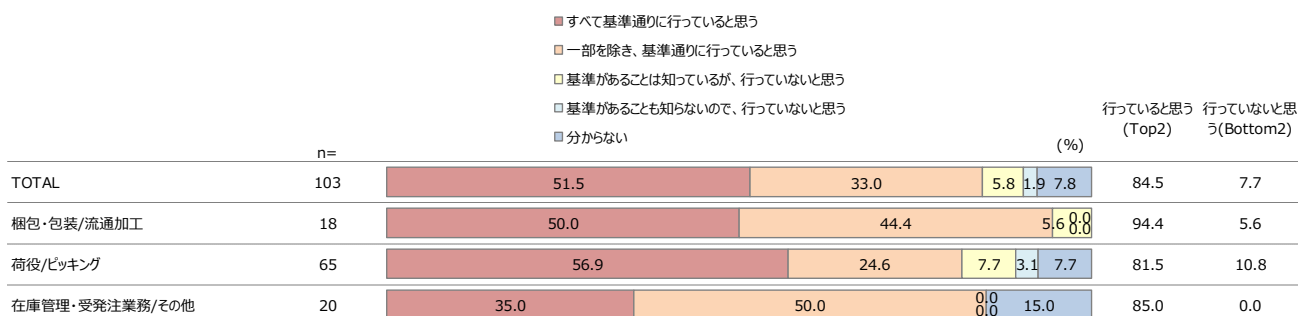


(7) 受託(請負)業務での機械・設備等の使用状況

【設問文】 Q15 業務の委託（請負）に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならない』とあります。あなたの関わる請負業務では、その通りに行われていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

- 受託（請負）業務での機械・設備等の使用状況では、「すべて基準通りに行っていると思う」の割合が最も高く、51.5%。「一部を除き、基準通りに行っていると思う」（33.0%）と合わせた「行っていると思う（Top2）」の割合は、84.5%。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』や『荷役/ピッキング』では『在庫管理・受発注業務/その他』に比べて、「すべて基準通りに行っていると思う」との回答が多くなっている。

図表 II-2-7. 受託(請負)業務での機械・設備等の使用状況 【受託業務区分別】



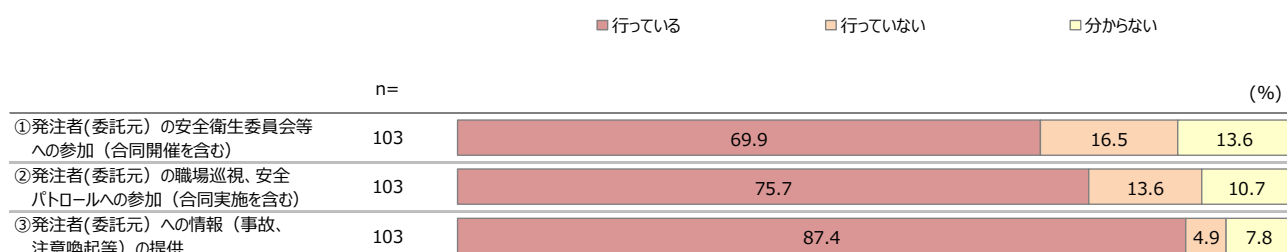
	n=	すべて基準通りに行っていると思う	一部を除き、基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らないで、行っていないと思う	分からない	行っていると思う (Top2)	行っていないと思う (Bottom2)
TOTAL	103	51.5	33.0	5.8	1.9	7.8	84.5	7.7
梱包・包装/流通加工	18	50.0	44.4	5.6	0.0	0.0	94.4	5.6
荷役/ピッキング	65	56.9	24.6	7.7	3.1	7.7	81.5	10.8
在庫管理・受発注業務/その他	20	35.0	50.0	0.0	0.0	15.0	85.0	0.0

(8) 安全衛生管理の発注者との連携

【設問文】 Q16 安全衛生管理に関し、発注者（委託元）との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを 1 つ選んでください。

- 安全衛生管理の発注者（委託元）との情報共有・連携状況について、「行っている」割合が高いのは『③情報（事故、注意喚起等）の提供』（87.4%）で 8 割を超え、『②職場巡視、安全パトロールへの参加』（75.7%）、『①安全衛生委員会等への参加』（69.9%）と続く。

図表 II-2-8. 安全衛生管理の発注者との連携



	n=	(%)		
		行っている	行っていない	分からない
発注者(委託元)の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）	103	69.9	16.5	13.6
発注者(委託元)の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）	103	75.7	13.6	10.7
発注者(委託元)への情報（事故、注意喚起等）の提供	103	87.4	4.9	7.8

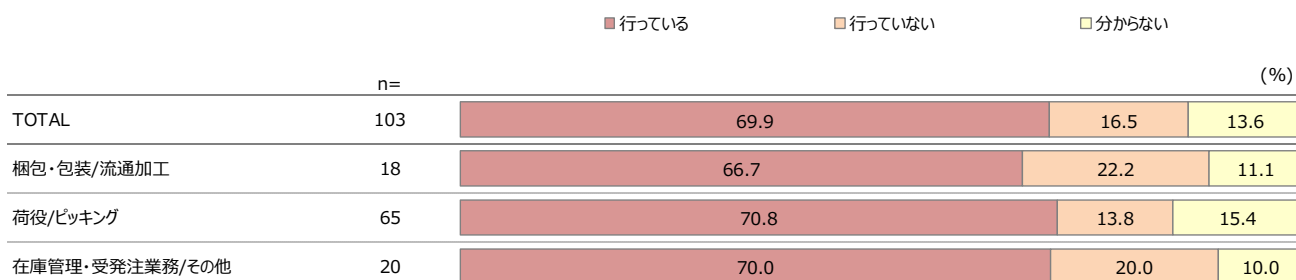
【設問文】 Q16 安全衛生管理に関し、発注者（委託元）との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを 1 つ選んでください。

①発注者(委託元)の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）

- 発注者（委託元）の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）では、「行っている」の割合が最も高く、69.9%。「行っていない」16.5%、「分からない」13.6%が続く。
- 受託業務区分別には特徴は見られなかった。

図表 II-2-8. 安全衛生管理の発注者との連携

①発注者(委託元)の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）【委託業務区分別】



	n=	(%)		
		行っている	行っていない	分からない
TOTAL	103	69.9	16.5	13.6
梱包・包装/流通加工	18	66.7	22.2	11.1
荷役/ピッキング	65	70.8	13.8	15.4
在庫管理・受発注業務/その他	20	70.0	20.0	10.0

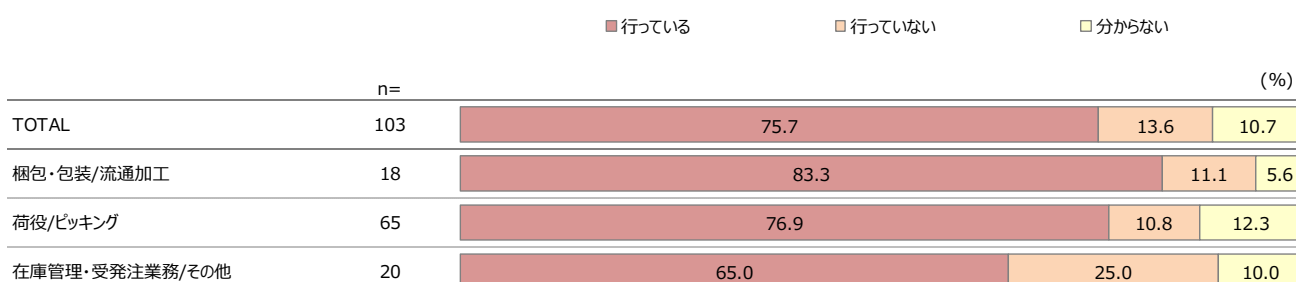
【設問文】 Q16 安全衛生管理に関し、発注者（委託元）との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを 1 つ選んでください。

②発注者(委託元)の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）

- 発注者（委託元）の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）では、「行っている」の割合が最も高く、75.7%。「行っていない」13.6%、「分からない」10.7%が続く。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』や『荷役/ピッキング』では「行っている」が多く、一方で『在庫管理・受発注業務/その他』では「行っていない」が多くなっている。

図表 II-2-8. 安全衛生管理の発注者との連携

②発注者(委託元)の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）【委託業務区分別】



	n=	(%)		
		行っている	行っていない	分からない
TOTAL	103	75.7	13.6	10.7
梱包・包装/流通加工	18	83.3	11.1	5.6
荷役/ピッキング	65	76.9	10.8	12.3
在庫管理・受発注業務/その他	20	65.0	25.0	10.0

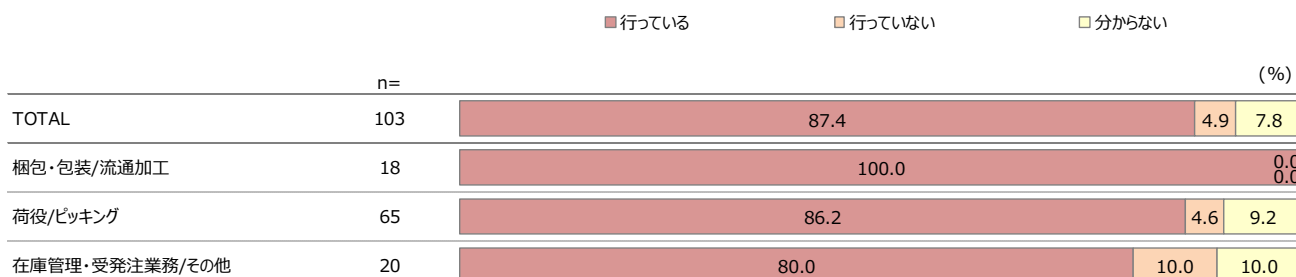
【設問文】 Q16 安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、教えてください。

③ 発注者(委託元) への情報（事故、注意喚起等）の提供

- 発注者（委託元）への情報（事故、注意喚起等）の提供では、「行っている」の割合が最も高く、87.4%。「分からない」7.8%、「行っていない」4.9%が続く。
- 受託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「行っている」との回答が多い。

図表 II-2-8. 安全衛生管理の発注者との連携

③発注者(委託元) への情報（事故、注意喚起等）の提供【委託業務区分別】



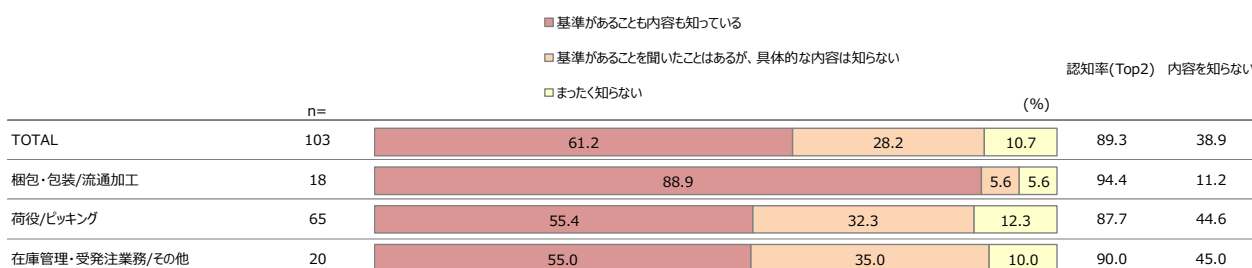
		(%)		
	n=	行っている	行っていない	分からない
TOTAL	103	87.4	4.9	7.8
梱包・包装/流通加工	18	100.0	0.0	0.0
荷役/ピッキング	65	86.2	4.6	9.2
在庫管理・受発注業務/その他	20	80.0	10.0	10.0

(9) 国が定めた基準の認識

【設問文】 Q17 偽装請負とならないために、国が定めた基準があることを知っていますか。該当するものを1つ選んでください。

- 国が定めた基準の認識では、「基準があることも内容も知っている」の割合が最も高く、61.2%。「基準があることを聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない」(28.2%)を合わせた「認知率(Top2)」は、89.3%であった。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』で「基準があることも内容も知っている」との回答が多い。

図表 II-2-9. 国が定めた基準の認識【受託業務区分別】



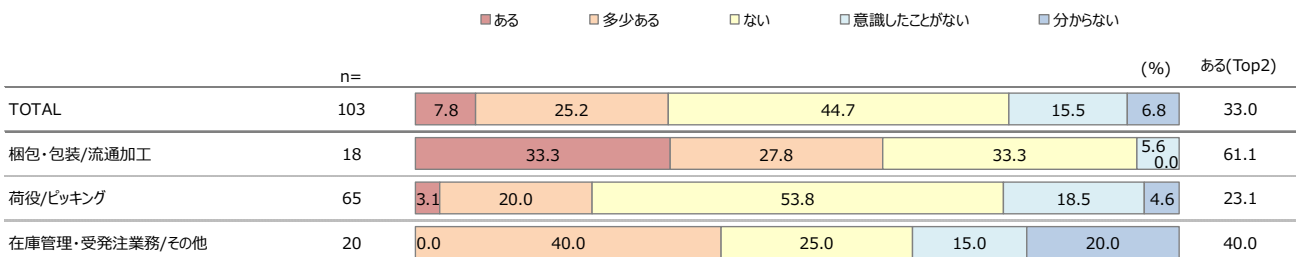
	n=	基準があることも内容も知っている	基準があることを聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない	まったく知らない	認知率(Top2)	内容を知らない
TOTAL	103	61.2	28.2	10.7	89.3	38.9
梱包・包装/流通加工	18	88.9	5.6	5.6	94.4	11.2
荷役/ピッキング	65	55.4	32.3	12.3	87.7	44.6
在庫管理・受発注業務/その他	20	55.0	35.0	10.0	90.0	45.0

(10) 偽装請負への不安

【設問文】 Q18 あなたの関わる請負業務に関し、偽装請負への不安はありますか。該当するものを1つ選んでください。

- 偽装請負への不安では、「ない」の割合が最も高く、44.7%。「ある」（7.8%）と「多少ある」（25.2%）を合わせた「不安のある（Top2）」の割合は、33.0%と全体の3分の1が不安を感じていることがわかる。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』で、不安があるとの回答が特に多い。

図表 II-2-10. 偽装請負への不安【受託業務区分別】



	n=	(%)					ある(Top2)
		ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	
TOTAL	103	7.8	25.2	44.7	15.5	6.8	33.0
梱包・包装/流通加工	18	33.3	27.8	33.3	5.6	0.0	61.1
荷役/ピッキング	65	3.1	20.0	53.8	18.5	4.6	23.1
在庫管理・受発注業務/その他	20	0.0	40.0	25.0	15.0	20.0	40.0

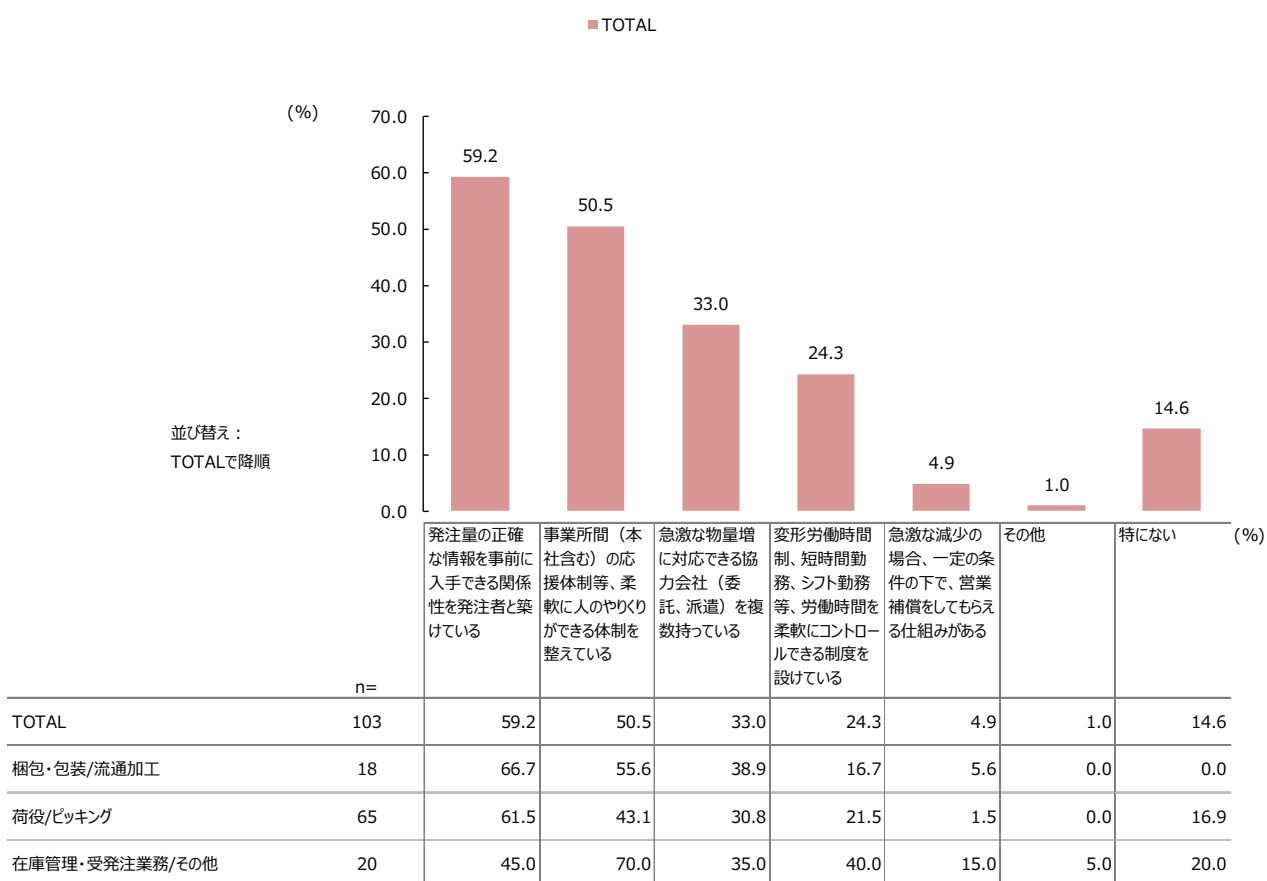
3. 受託(請負)業務の運営

(1) 発注量変動への対応

【設問文】 Q19 請負業務の急激な発注量の変動に対応するための仕組みの内容について、該当するものを選んでください。

- 発注量変動への対応では、「発注量の正確な情報を事前に入手できる関係性を発注者と築けている」の割合が最も高く、59.2%。「事業所間（本包含む）の応援体制等、柔軟に人のやりくりができる体制を整えている」50.5%、「急激な物量増に対応できる協力会社（委託、派遣）を複数持っている」33.0%が続く。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』や『荷役/ピッキング』では「発注量の正確な情報を事前に入手できる関係性を発注者と築けている」との回答が多く、『在庫管理・受発注業務/その他』では「事業所間（本包含む）の応援体制等、柔軟に人のやりくりができる体制を整えている」との回答が多い。

図表 II-3-1. 発注量変動への対応 【受託業務区分別】

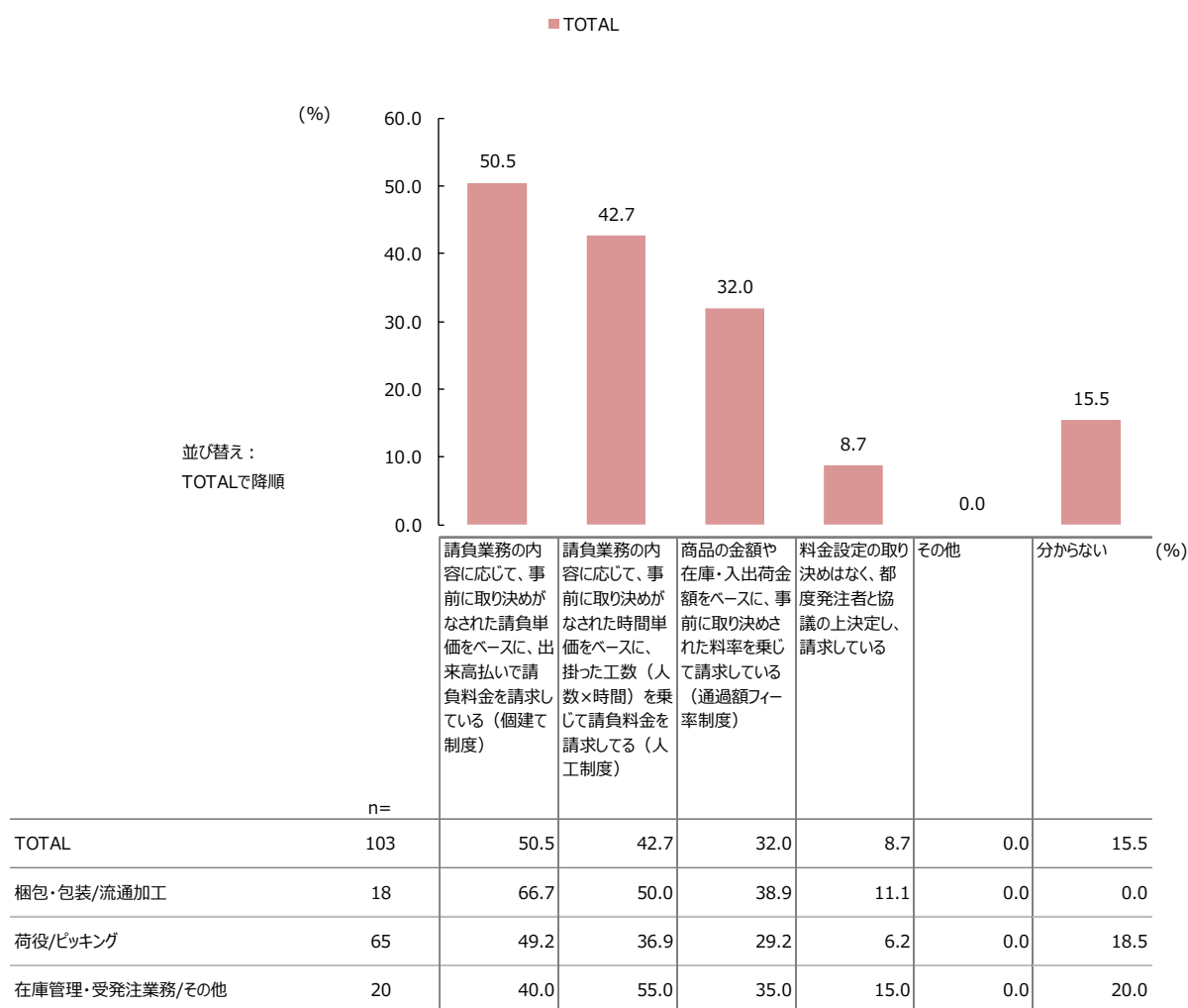


(2) 受託(請負)業務の料金設定・請求方法

【設問文】 Q20 請負業務の料金設定、請求方法がどのようになっていますか。該当するものを選んでください。

- 受託（請負）業務の料金設定・請求方法では、「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）」の割合が最も高く、50.5%。「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求してる（人工制度）」42.7%、「商品の金額や在庫・入出荷金額をベースに、事前に取り決めされた料率を乗じて請求している（通過額フィー率制度）」32.0%が続く。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』で「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）」との回答が多い。

図表 II-3-2. 受託(請負)業務の料金設定・請求方法 【受託業務区分別】

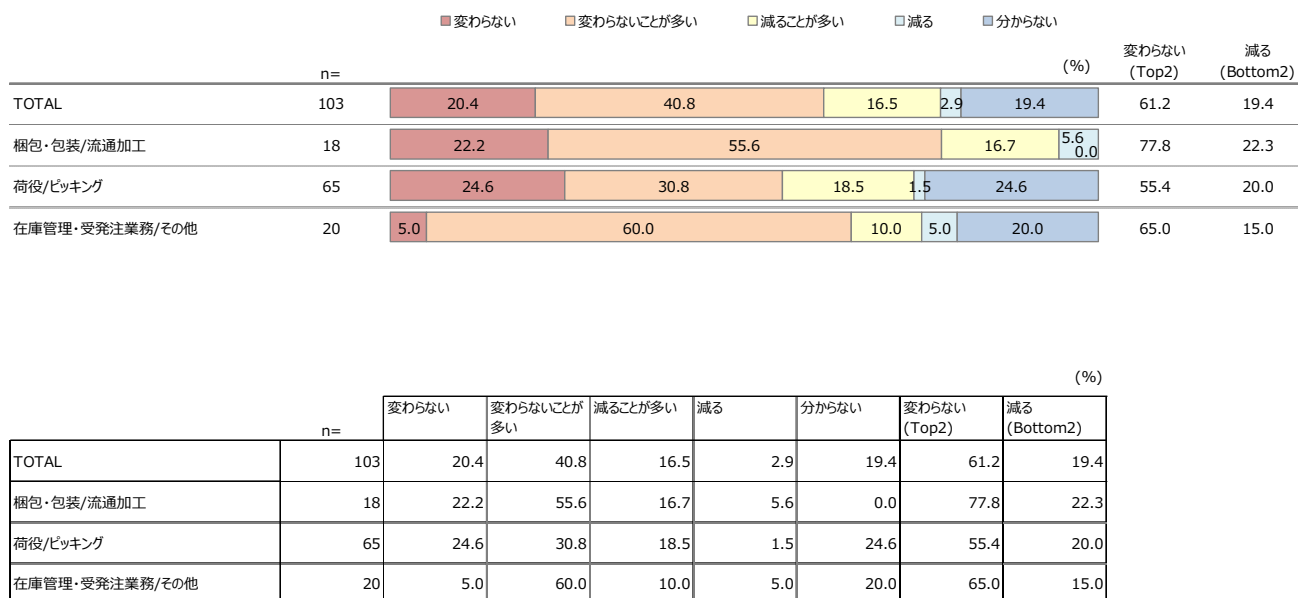


(3) 生産性向上の受託(請負)料金の見直し状況

【設問文】 Q21 請負業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、請負料金（単価）はどのようになることが多いですか。主に該当するものを1つ選んでください。

- 生産性向上の受託（請負）料金の見直し状況では、「変わらないことが多い」の割合が最も高く、40.8%。「変わらない」（20.4%）と合わせた「変わらない（Top2）」は 61.2%、「減ることが多い」と「減る」を合わせた「減る（Bottom2）」は 19.4%であった。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』や『在庫管理・受発注業務/その他』で「変わらないことが多い」との回答が多い

図表 II-3-3. 生産性向上の受託（請負）料金の見直し状況 【受託業務区分別】

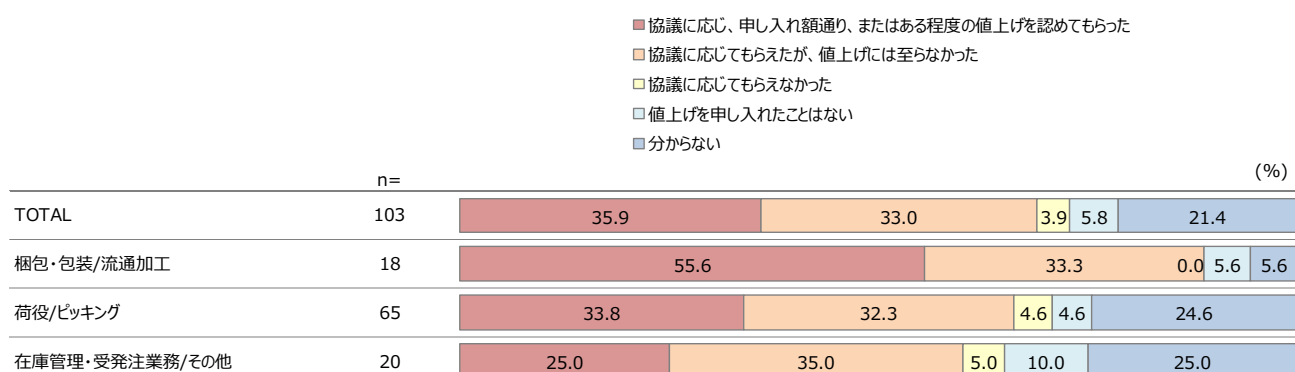


(4) 受託(請負)料金値上げ申し入れに対する発注者の対応

【設問文】 Q22 発注者に請負料金値上げの申し入れを行ったとき、発注者はどのような対応でしたか。直近の場合で教えてください。該当するものを 1 つ選んでください。

- 受託（請負）料金値上げ申し入れに対する発注者の対応では、「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」の割合が最も高く、35.9%。「協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった」33.0%、「分からない」21.4%が続く。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」との回答が特に多い。

図表 II-3-4. 受託(請負)料金値上げ申し入れに対する発注者の対応 【受託業務区分別】



		n=					(%)
		協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらえなかった	値上げを申し入れたことはない	分からない	
TOTAL	103	35.9	33.0	3.9	5.8	21.4	
梱包・包装/流通加工	18	55.6	33.3	0.0	5.6	5.6	
荷役/ピッキング	65	33.8	32.3	4.6	4.6	24.6	
在庫管理・受発注業務/その他	20	25.0	35.0	5.0	10.0	25.0	

(5) 受注のためのアピールポイント

【設問文】 Q23 請負業務を受注するために、発注者へアピールできるポイントを次の中から、最大 3 つまで選んでください。

- 受注のためのアピールポイントでは、「業務処理能力・品質」の割合が最も高く、70.9%。「業務量変動への対応」36.9%、「業務遂行のための必要人員の確保」35.0%が続く。
- 受託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』や『在庫管理・受発注業務/その他』で「業務処理能力・品質」との回答が多い。『梱包・包装/流通加工』では「業務遂行のための必要人員の確保」や「受託（請負）料金」が多くなっている。

図表 II-3-5. 受注のためのアピールポイント 【受託業務区分別】



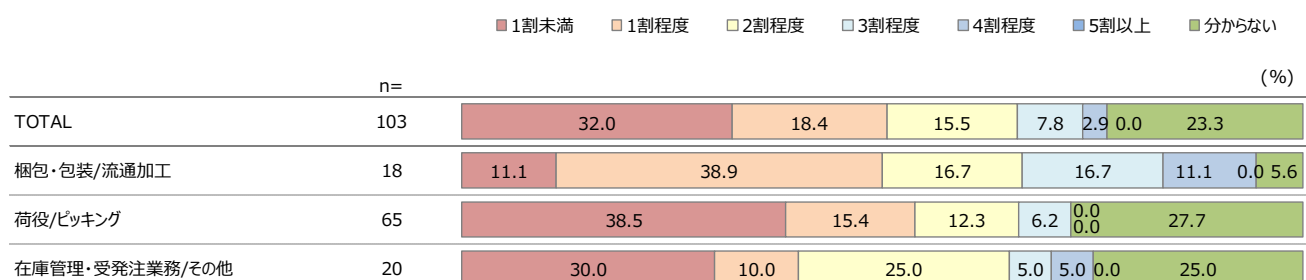
4. 受託(請負)労働者の雇用、育成

(1) 受託(請負)業務の従業員の離職状況

【設問文】 Q24 請負業務の従業員が採用後 1 年以内に離職するおおよその割合（有期の雇用契約の満了によるものも含む）を教えてください。該当するものを 1 つ選んでください。

- 受託（請負）業務の従業員の採用後、1 年以内の離職状況では、「1 割未満」の割合が最も高く、32.0%。「分からない」23.3%、「1 割程度」18.4%が続く。
- 受託業務区別にみると、『荷役/ピッキング』で「1 割未満」との回答が多い一方で、『梱包・包装/流通加工』では「3 割程度」との回答が多い。

図表 II-4-1. 受託（請負）業務の従業員の採用後 1 年以内の離職状況【受託業務区分別】



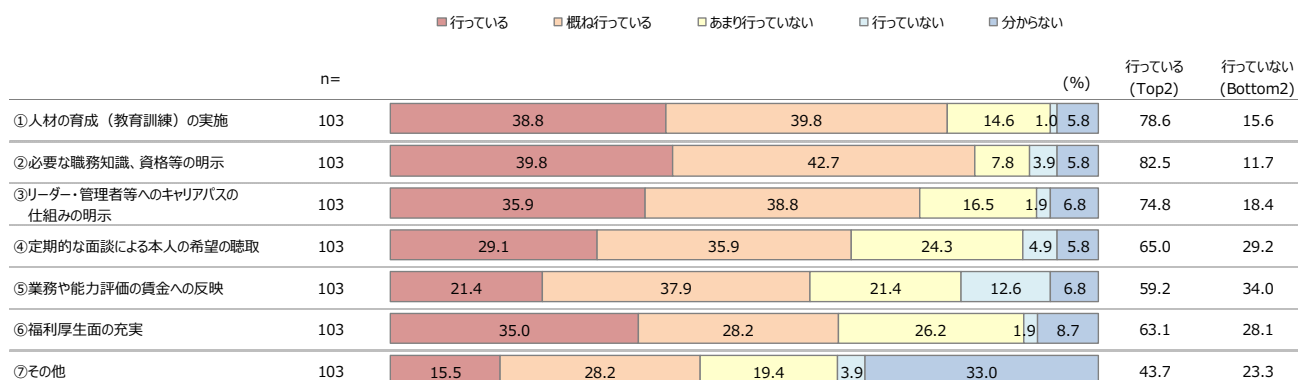
		(%)						
	n=	1割未満	1割程度	2割程度	3割程度	4割程度	5割以上	分からない
TOTAL	103	32.0	18.4	15.5	7.8	2.9	0.0	23.3
梱包・包装/流通加工	18	11.1	38.9	16.7	16.7	11.1	0.0	5.6
荷役/ピッキング	65	38.5	15.4	12.3	6.2	0.0	0.0	27.7
在庫管理・受発注業務/その他	20	30.0	10.0	25.0	5.0	5.0	0.0	25.0

(2) 受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み

【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

- 受託（請負）業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組みについて、「行っている」および「概ね行っている」を合わせた「行っている（Top2）」割合が高いのは『②必要な職務知識、資格等の明示』（82.5%）や『①人材の育成（教育訓練）の実施』（78.6%）となっている。「あまり行っていない」および「行っていない」を合わせた「行っていない（Bottom2）」割合が高いのは、『⑤業務や能力評価の賃金への反映』（34.0%）、『④定期的な面談による本人の希望の聴取』（29.2%）、『⑥福利厚生面の充実』（28.1%）。

図表 II-4-2. 受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み



		n=						
		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
人材の育成（教育訓練）の実施	103	38.8	39.8	14.6	1.0	5.8	78.6	15.6
必要な職務知識、資格等の明示	103	39.8	42.7	7.8	3.9	5.8	82.5	11.7
リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示	103	35.9	38.8	16.5	1.9	6.8	74.8	18.4
定期的な面談による本人の希望の聴取	103	29.1	35.9	24.3	4.9	5.8	65.0	29.2
業務や能力評価の賃金への反映	103	21.4	37.9	21.4	12.6	6.8	59.2	34.0
福利厚生面の充実	103	35.0	28.2	26.2	1.9	8.7	63.1	28.1
その他	103	15.5	28.2	19.4	3.9	33.0	43.7	23.3

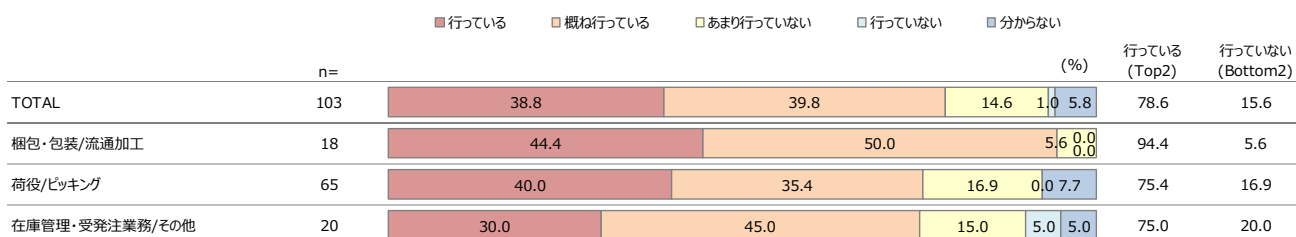
【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

① 人材の育成（教育訓練）の実施

- 人材の育成（教育訓練）の実施では、「概ね行っている」の割合が最も高く、39.8%。「行っている」（38.8%）と合わせた「行っている（Top2）」割合は、78.6%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない（Bottom2）」割合は、15.6%。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「行っている（Top2）」との回答が多い一方で、『在庫管理・受発注業務/その他』では「行っていない（Bottom2）」との回答が多い。

図表 II-4-2. 受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み

①人材の育成（教育訓練）の実施 【受託業務区分別】



							(%)	
	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL	103	38.8	39.8	14.6	1.0	5.8	78.6	15.6
梱包・包装/流通加工	18	44.4	50.0	5.6	0.0	0.0	94.4	5.6
荷役/ピッキング	65	40.0	35.4	16.9	0.0	7.7	75.4	16.9
在庫管理・受発注業務/その他	20	30.0	45.0	15.0	5.0	5.0	75.0	20.0

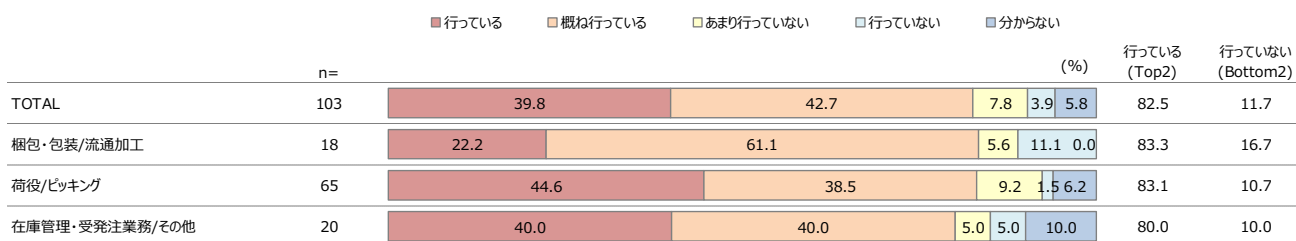
【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

②必要な職務知識、資格等の明示

- 必要な職務知識、資格等の明示では、「概ね行っている」の割合が最も高く、42.7%。「行っている」（39.8%）と合わせた「行っている（Top2）」割合は、82.5%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない（Bottom2）」割合は、11.7%。
- 受託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』では「行っている」との回答が多く、『梱包・包装/流通加工』では「概ね行っている」の回答が多い。

図表 II-4-2. 受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み

②必要な職務知識、資格等の明示 【受託業務区分別】



		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL	103	39.8	42.7	7.8	3.9	5.8	82.5	11.7
梱包・包装/流通加工	18	22.2	61.1	5.6	11.1	0.0	83.3	16.7
荷役/ピッキング	65	44.6	38.5	9.2	1.5	6.2	83.1	10.7
在庫管理・受発注業務/その他	20	40.0	40.0	5.0	5.0	10.0	80.0	10.0

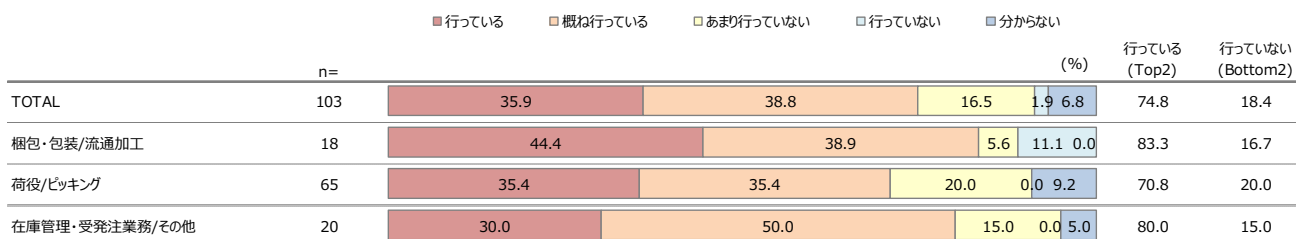
【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

③リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示

- リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示では、「概ね行っている」の割合が最も高く、38.8%。「行っている」(35.9%)と合わせた「行っている(Top2)」割合は、74.8%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない(Bottom2)」割合は、18.4%。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「行っている」との回答が多い一方で、『荷役/ピッキング』では「あまり行っていない」との回答が多い。

図表 II-4-2. 受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み

③リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示 【受託業務区分別】



							(%)	
	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL	103	35.9	38.8	16.5	1.9	6.8	74.8	18.4
梱包・包装/流通加工	18	44.4	38.9	5.6	11.1	0.0	83.3	16.7
荷役/ピッキング	65	35.4	35.4	20.0	0.0	9.2	70.8	20.0
在庫管理・受発注業務/その他	20	30.0	50.0	15.0	0.0	5.0	80.0	15.0

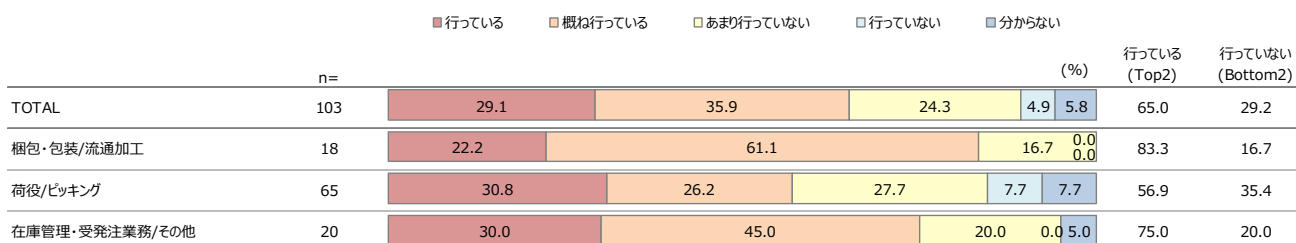
【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

④ 定期的な面談による本人の希望の聴取

- 定期的な面談による本人の希望の聴取では、「概ね行っている」の割合が最も高く、35.9%。「行っている」（29.1%）と合わせた「行っている（Top2）」割合は、65.0。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない（Bottom2）」割合は、29.2%。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「概ね行っている」との回答が多い一方で、『荷役/ピッキング』では「あまり行っていない」との回答が多い。

図表 II-4-2. 受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み

④ 定期的な面談による本人の希望の聴取 【受託業務区分別】



		(%)						
	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL	103	29.1	35.9	24.3	4.9	5.8	65.0	29.2
梱包・包装/流通加工	18	22.2	61.1	16.7	0.0	0.0	83.3	16.7
荷役/ピッキング	65	30.8	26.2	27.7	7.7	7.7	56.9	35.4
在庫管理・受発注業務/その他	20	30.0	45.0	20.0	0.0	5.0	75.0	20.0

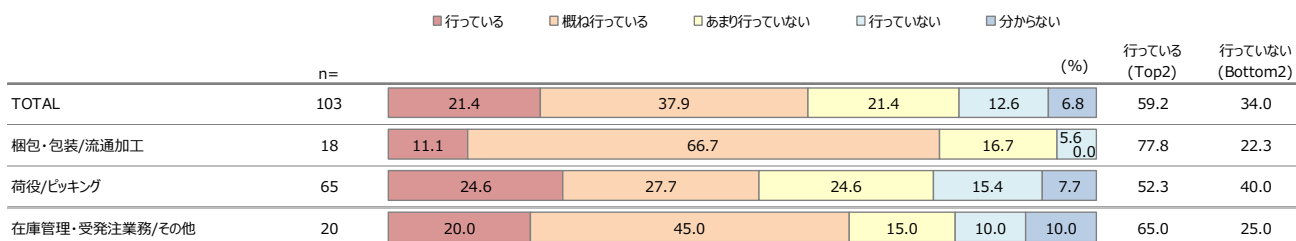
【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

⑤業務や能力評価の賃金への反映

- 業務や能力評価の賃金への反映では、「概ね行っている」の割合が最も高く、37.9%。「行っている」（21.4%）と合わせた「行っている（Top2）」割合は、59.2%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない（Bottom2）」割合は、34.0%。
- 受託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「概ね行っている」との回答が多い一方で、『荷役/ピッキング』では「あまり行っていない」との回答が多い。

図表 II-4-2. 受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み

⑤業務や能力評価の賃金への反映 【受託業務区分別】



							(%)	
	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL	103	21.4	37.9	21.4	12.6	6.8	59.2	34.0
梱包・包装/流通加工	18	11.1	66.7	16.7	5.6	0.0	77.8	22.3
荷役/ピッキング	65	24.6	27.7	24.6	15.4	7.7	52.3	40.0
在庫管理・受発注業務/その他	20	20.0	45.0	15.0	10.0	10.0	65.0	25.0

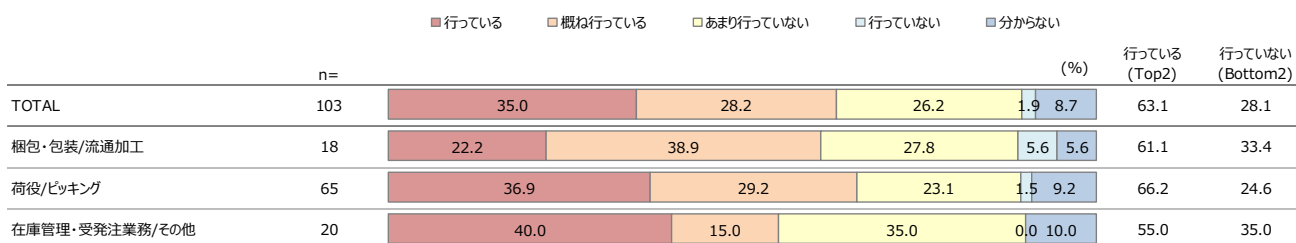
【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

⑥福利厚生面の充実

- 福利厚生面の充実では、「行っている」の割合が最も高く、35.0%。「概ね行っている」（28.2%）と合わせた「行っている（Top2）」割合は、63.1%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない（Bottom2）」割合は、28.1%。
- 受託業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』では「行っている」と「あまり行っていない」との回答が多い。

図表 II-4-2. 受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み

⑥福利厚生面の充実 【受託業務区分別】



		(%)						
	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL	103	35.0	28.2	26.2	1.9	8.7	63.1	28.1
梱包・包装/流通加工	18	22.2	38.9	27.8	5.6	5.6	61.1	33.4
荷役/ピッキング	65	36.9	29.2	23.1	1.5	9.2	66.2	24.6
在庫管理・受発注業務/その他	20	40.0	15.0	35.0	0.0	10.0	55.0	35.0

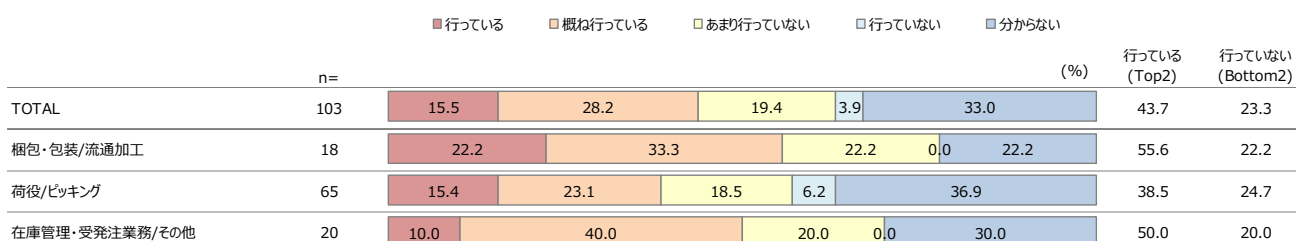
【設問文】 Q25 請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

⑦その他

- その他では、「分からない」の割合が最も高く、33.0%。「行っている」（15.5%）と「概ね行っている」（28.2%）を合わせた「行っている（Top2）」割合は、43.7%。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた「行っていない（Bottom2）」割合は、23.3%。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』では行っている（Top2）との回答が多い。

図表 II-4-2. 受託(請負)業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み

⑦その他【受託業務区分別】



		(%)						
	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (Top2)	行っていない (Bottom2)
TOTAL	103	15.5	28.2	19.4	3.9	33.0	43.7	23.3
梱包・包装/流通加工	18	22.2	33.3	22.2	0.0	22.2	55.6	22.2
荷役/ピッキング	65	15.4	23.1	18.5	6.2	36.9	38.5	24.7
在庫管理・受発注業務/その他	20	10.0	40.0	20.0	0.0	30.0	50.0	20.0

(3) 受託(請負)業務の従業員に実施したい研修

【設問文】 Q26 請負業務の従業員に今後、実施したい研修はどのようなものですか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

- 受託(請負)業務の従業員に実施したい研修では、「スキル、能力が高まる研修」の割合が最も高く、54.4%。「現場改善に役立つ研修」「現場管理者やリーダーを育てる研修」52.4%が続く。
- 受託業務区別にみると、『荷役/ピッキング』では「スキル、能力が高まる研修」や「現場改善に役立つ研修」との回答が多く、『梱包・包装/流通加工』では「現場管理者やリーダーを育てる研修」との回答が多い。

図表 II-4-3. 受託(請負)業務の従業員に実施したい研修 【受託業務区分別】

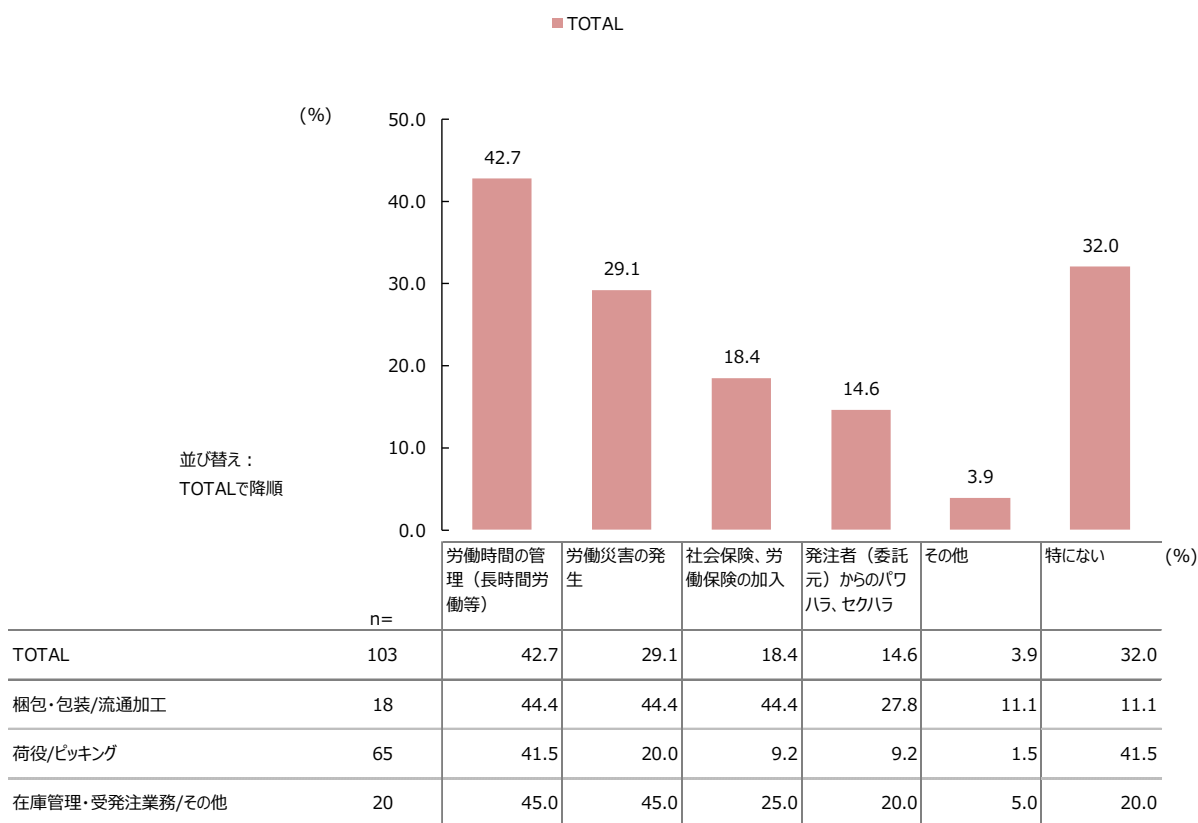


(4) 受託(請負)職場での人事・労務管理上の課題

【設問文】 Q27 請負の職場において、人事、労務管理で、特に困っていることがありますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

- 受託(請負)職場での人事・労務管理上の課題では、「労働時間の管理(長時間労働等)」の割合が最も高く、42.7%。「労働災害の発生」29.1%、「社会保険、労働保険の加入」18.4%が続く。なお、「特にない」は32.0%。
- 受託業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』では「労働時間の管理(長時間労働等)」「労働災害の発生」との回答が多い一方で、『荷役/ピッキング』では「特にない」との回答が特に多い。

図表 II-4-4. 受託(請負)職場での人事・労務管理上の課題【受託業務区分別】



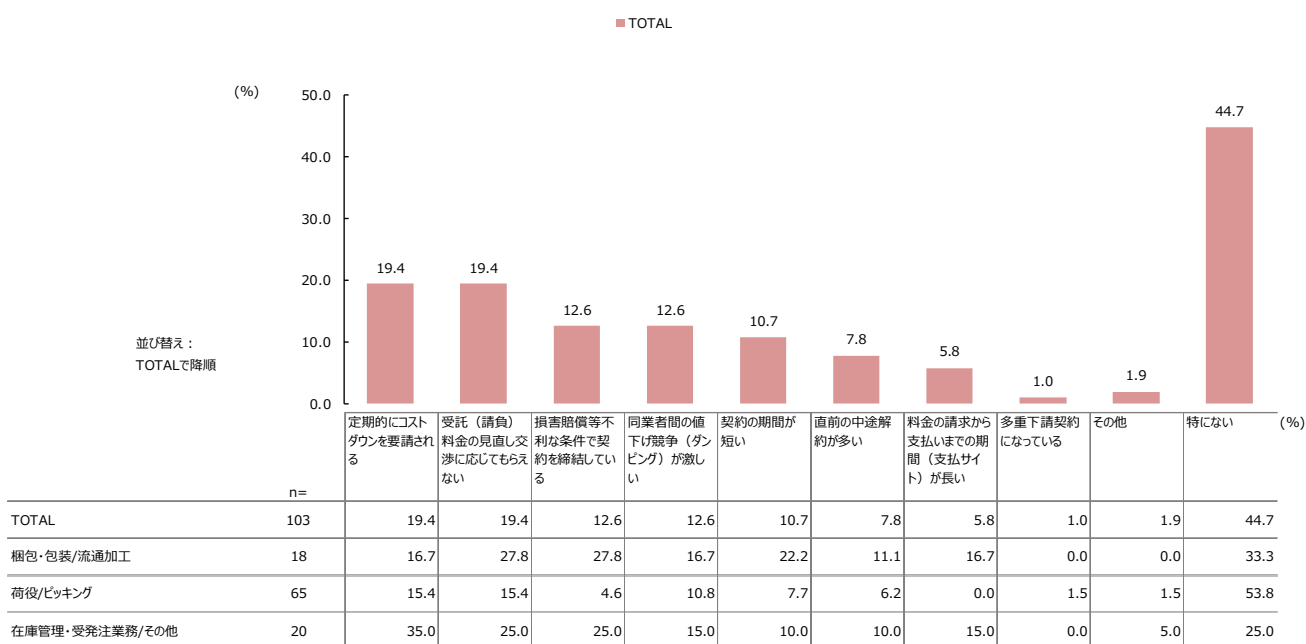
5. 受託(請負)業務の問題・課題

(1) 受託(請負)業務の問題・課題 — 取引、料金、受託(請負)契約

【設問文】 Q28 受託（請負）業務を進めていく上で、「取引、料金、受託（請負）契約」の視点で、問題、課題と思われるものを、それぞれ選んでください。（最大3つまで）

- 受託（請負）業務の問題・課題 — 取引、料金、受託（請負）契約では、「定期的コストダウンを要請される」「受託（請負）料金の見直し交渉に応じてもらえない」の割合が最も高く、19.4%。「損害賠償等不利な条件で契約を締結している」「同業者間の値下げ競争（ダンピング）が激しい」12.6%が続く。なお、「特になし」は44.7%。
- 受託業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』では「定期的コストダウンを要請される」、『梱包・包装/流通加工』では「受託（請負）料金の見直し交渉に応じてもらえない」「損害賠償等不利な条件で契約を締結している」との回答が多い一方で、『荷役/ピッキング』では「特になし」との回答が特に多い。

図表 II-5-1. 受託（請負）業務の問題・課題 — 取引、料金、受託（請負）契約 【受託業務区分別】



(2) 受託(請負)業務の問題・課題 — 業務運営、職場

【設問文】 Q29 受託（請負）業務を進めていく上で、「業務運営、職場」の視点で、問題、課題と思われるものを、それぞれ選んでください。（最大 3 つまで）

- 受託（請負）業務の問題・課題 — 業務運営、職場では、「業務量の極端な変動、頻繁な計画変更等に苦慮している」の割合が最も高く、34.0%。「作業環境（福利厚生施設含む）が良くない・改善しにくい」「生産性向上が思うように進まない」29.1%が続く。なお、「特にない」は 33.0%。
- 受託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「業務量の極端な変動、頻繁な計画変更等に苦慮している」、『在庫管理・受発注業務/その他』では「作業環境（福利厚生施設含む）が良くない・改善しにくい」との回答が多い一方で、『荷役/ピッキング』では「特にない」との回答が特に多い。

図表 II-5-2. 受託（請負）業務の問題・課題 — 業務運営、職場 【受託業務区分別】

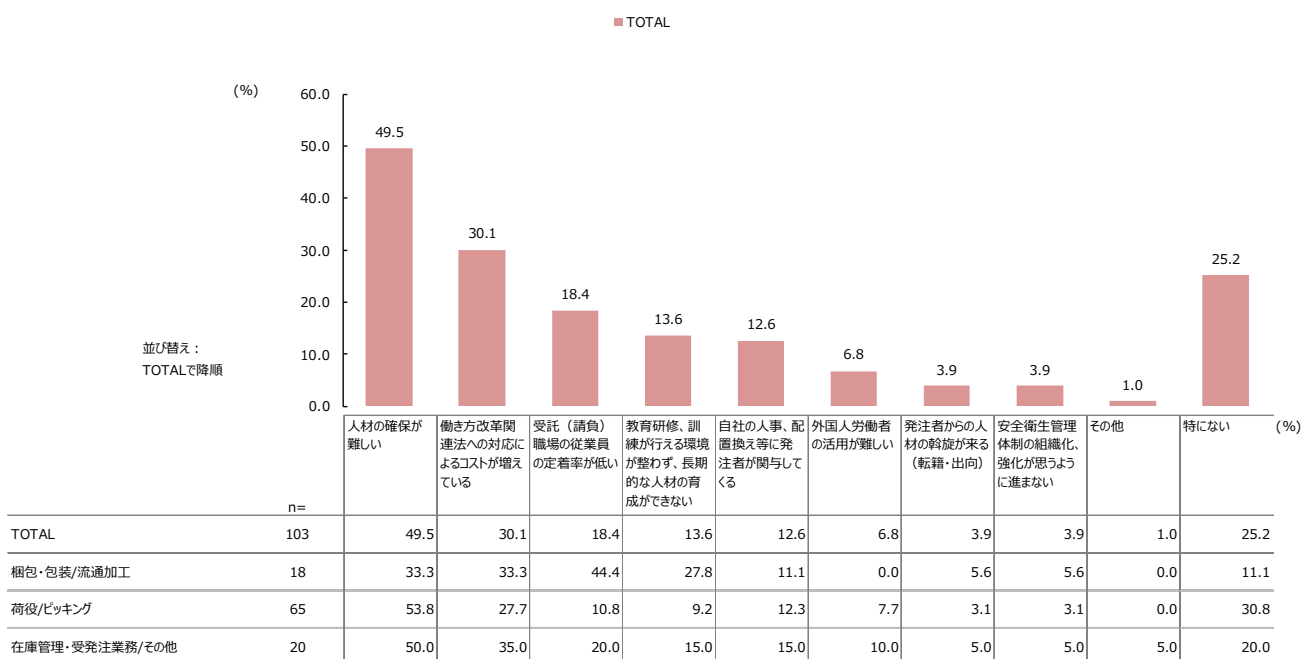


(3) 受託(請負)業務の問題・課題 — 人事、労務、組織

【設問文】 Q30 受託（請負）業務を進めていく上で、「人事、労務、組織」これら 3 つの視点で、問題、課題と思われるものを、それぞれ選んでください。
(最大 3 つまで)

- 受託（請負）業務の問題・課題 — 人事、労務、組織では、「人材の確保が難しい」の割合が最も高く、49.5%。「働き方改革関連法への対応によるコストが増えている」30.1%、「受託（請負）職場の従業員の定着率が低い」18.4%が続く。なお、「特にない」は 25.2%。
- 受託業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』では「人材の確保が難しい」、『梱包・包装/流通加工』では「受託（請負）職場の従業員の定着率が低い」との回答が多い。

図表 II-5-3. 受託（請負）業務の問題・課題 — 人事、労務、組織 【受託業務区分別】



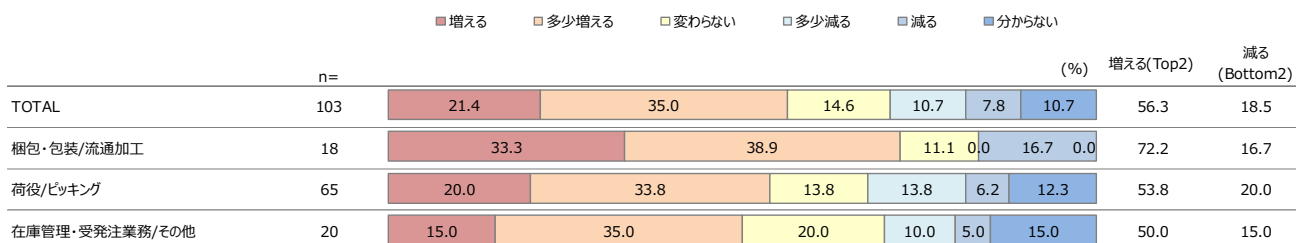
6. 受託(請負)業務の受注量の今後の見通し

(1) 受託(請負)業務の受注量の今後の見通し

【設問文】 Q31 今後、貴事業所が請負う物流関連業務の受注量は、どのようになるとお考えですか。該当するものを1つ選んでください。

- 受託（請負）業務の受注量の今後の見通しでは、「多少増える」の割合が最も高く、35.0%。「増える」（21.4%）と合わせた「増える（Top2）」の割合は 56.3%。「多少減る」と「減る」を合わせた「減る（Bottom2）」割合は 18.5%となっており、「増える（Top2）」割合は「減る（Bottom2）」割合の3倍を超える。
- 受託業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「増える（Top2）」との回答が多い一方、『荷役/ピッキング』では「減る（Bottom2）」との回答が多い。

図表 II-6-1. 受託（請負）業務の受注量の今後の見通し【受託業務区分別】



		(%)							(%)	
	n=	増える	多少増える	変わらない	多少減る	減る	分からない	増える(Top2)	減る(Bottom2)	
TOTAL	103	21.4	35.0	14.6	10.7	7.8	10.7	56.3	18.5	
梱包・包装/流通加工	18	33.3	38.9	11.1	0.0	16.7	0.0	72.2	16.7	
荷役/ピッキング	65	20.0	33.8	13.8	13.8	6.2	12.3	53.8	20.0	
在庫管理・受発注業務/その他	20	15.0	35.0	20.0	10.0	5.0	15.0	50.0	15.0	

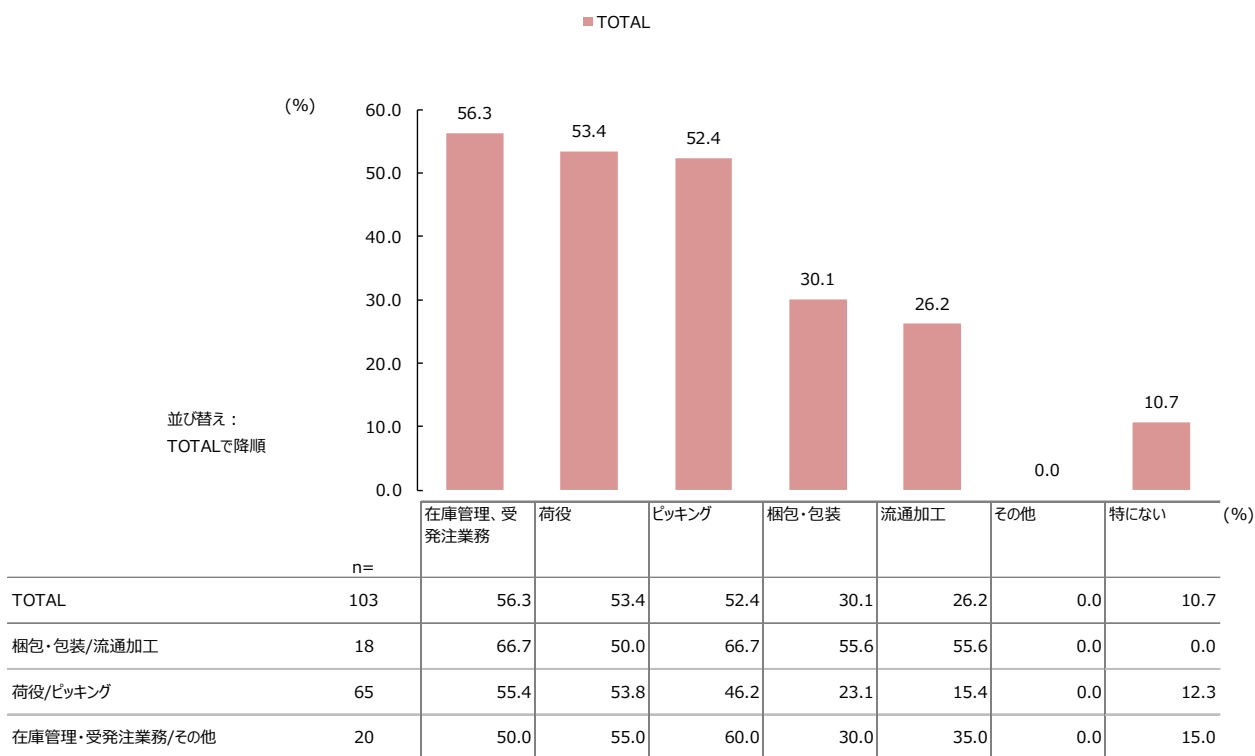
7. 今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務

(1) 今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務

【設問文】 Q32 今後、IT 化、自動化、デジタル化の導入を進めて行きたいと考えている物流関連の業務を教えてください。該当するものを選んでください。

- 今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務では、「在庫管理、受発注業務」の割合が最も高く、56.3%。「荷役（入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等）」53.4%、「ピッキング」52.4%が続く。
- 受託業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』では「梱包・包装」や「流通加工」、『荷役/ピッキング』では「荷役」、『在庫管理・受発注業務/その他』では「在庫管理、受発注業務」との回答が多くなっており、担当されている領域について、今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務と答えている。

図表 II-7-1. 今後、IT 化、今後、IT 化、自動化、デジタル化したい業務 【受託業務区分別】



III. (請負)労働者

1. 労働者の概要

(1) 労働者の概要と現在の労働環境

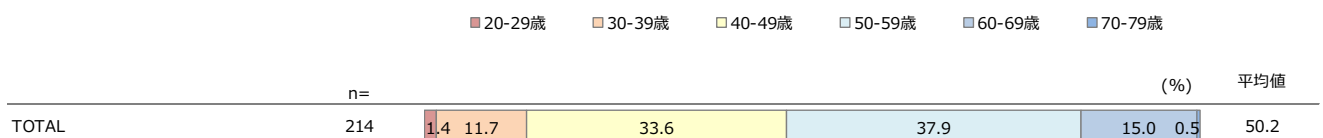
【設問文】 Q1 あなたの性別をお答えください。 / Q2 あなたの年齢をお答えください。 / Q3 あなたの現在の雇用形態について、当てはまるものを 1 つ 選んでください。

- 回答者の属性、現在の労働環境は次のとおり。

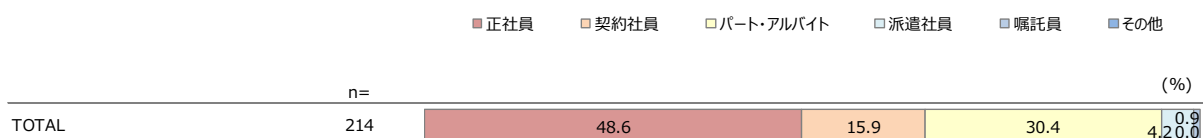
図表 III-1-1①. 回答者の性別 (Q1)



図表 III-1-1②. 回答者の年齢 (Q2)



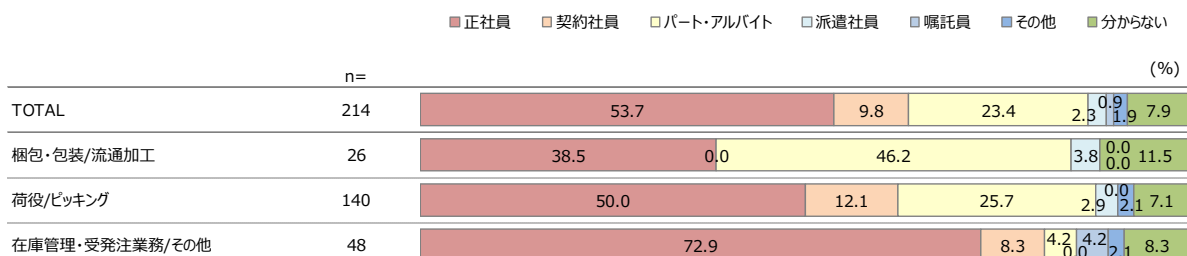
図表 III-1-1③. 回答者の現在の雇用形態 (Q3)



【設問文】 Q4 あなたは、近い将来（2～5年後）に、どのような働き方（雇用契約）をしたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 近い将来の働き方（雇用契約）の希望では、「正社員」の割合が最も高く、53.7%。「パート・アルバイト」23.4%、「契約社員」9.8%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「正社員」との回答が特に多い。『梱包・包装/流通加工』では「パート・アルバイト」との回答が多い。

図表 III-1-1④. 近い将来の働き方（雇用契約）の希望（Q4）【従事業務区分別】

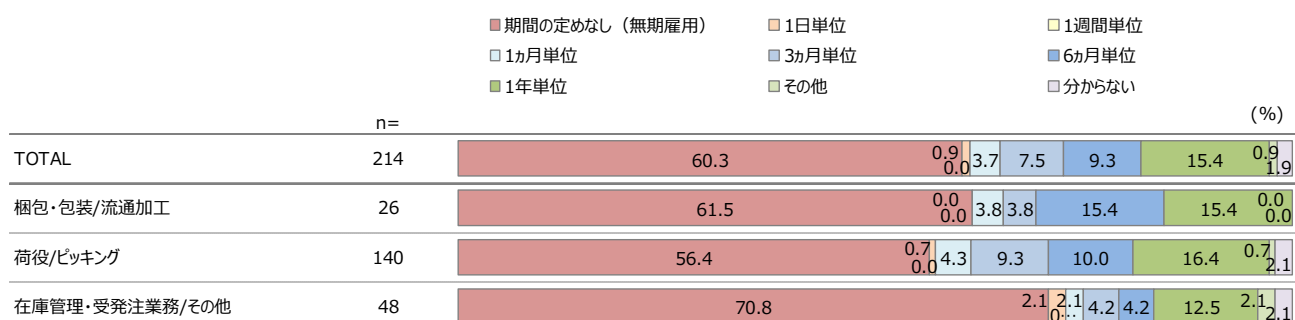


		(%)						
	n=	正社員	契約社員	パート・アルバイト	派遣社員	嘱託員	その他	分からない
TOTAL	214	53.7	9.8	23.4	2.3	0.9	1.9	7.9
梱包・包装/流通加工	26	38.5	0.0	46.2	3.8	0.0	0.0	11.5
荷役/ピッキング	140	50.0	12.1	25.7	2.9	0.0	2.1	7.1
在庫管理・受発注業務/その他	48	72.9	8.3	4.2	0.0	4.2	2.1	8.3

【設問文】 Q5 あなたの現在の雇用契約の期間を教えてください。最も近いものを1つ選んでください。

- 現在の雇用契約の期間では、「期間の定めなし（無期雇用）」の割合が最も高く、60.3%。「1 年単位」15.4%、「6 ヶ月単位」9.3%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「期間の定めなし（無期雇用）」との回答が多い。一方で『荷役/ピッキング』『梱包・包装/流通加工』の順に有期雇用との回答が多くなっている。

図表 III-1-1⑤. 現在の雇用契約の期間（Q5）【従事業務区分別】

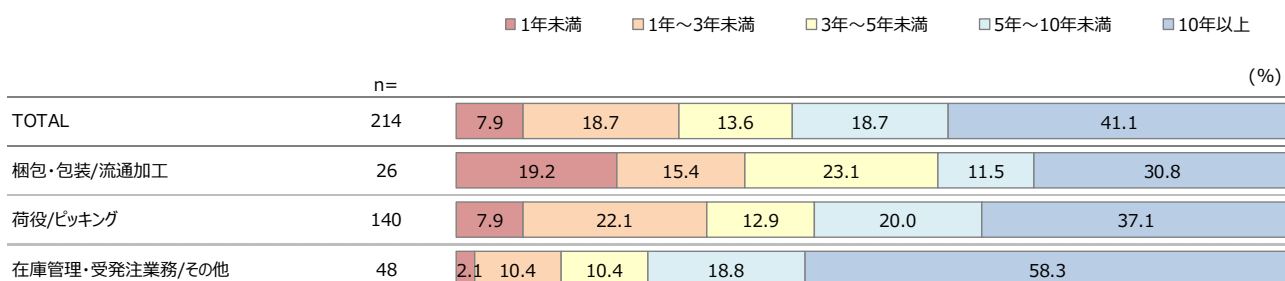


	n=	期間の定めなし（無期雇用）	1日単位	1週間単位	1ヵ月単位	3ヵ月単位	6ヵ月単位	1年単位	その他	分からない
TOTAL	214	60.3	0.9	0.0	3.7	7.5	9.3	15.4	0.9	1.9
梱包・包装/流通加工	26	61.5	0.0	0.0	3.8	3.8	15.4	15.4	0.0	0.0
荷役/ピッキング	140	56.4	0.7	0.0	4.3	9.3	10.0	16.4	0.7	2.1
在庫管理・受発注業務/その他	48	70.8	2.1	0.0	2.1	4.2	4.2	12.5	2.1	2.1

【設問文】 Q6 現在の会社での勤続はおよそ何年になるか、教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

- 現在の会社での勤続年数では、「10年以上」の割合が最も高く、41.1%。「1年～3年未満」「5年～10年未満」18.7%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「10年以上」との回答が特に多く、勤続年数は『在庫管理・受発注業務/その他』『荷役/ピッキング』『梱包・包装/流通加工』の順に短くなる。

図表 III-1-1⑥. 現在の会社での勤続年数（Q6）【従事業務区分別】

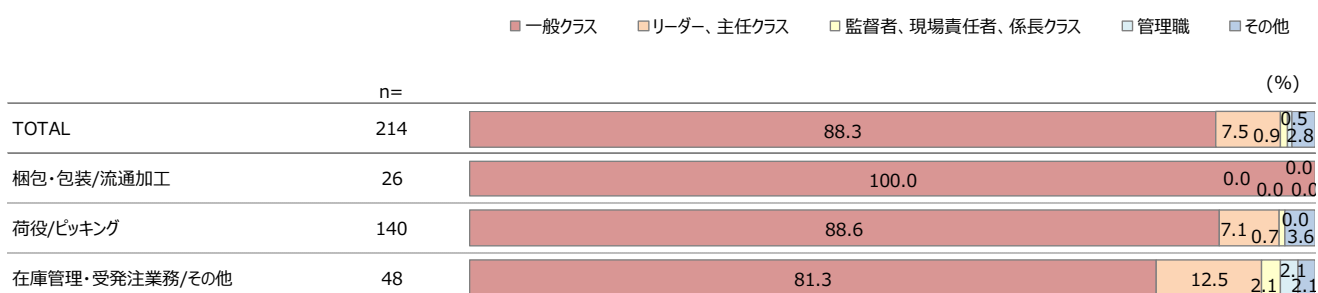


	n=	(%)				
		1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上
TOTAL	214	7.9	18.7	13.6	18.7	41.1
梱包・包装/流通加工	26	19.2	15.4	23.1	11.5	30.8
荷役/ピッキング	140	7.9	22.1	12.9	20.0	37.1
在庫管理・受発注業務/その他	48	2.1	10.4	10.4	18.8	58.3

【設問文】 Q7 あなたの役職を教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

- 現在の役職では、「一般クラス」の割合が最も高く、88.3%。「リーダー、主任クラス」7.5%、「監督者、現場責任者、係長クラス」0.9%が続く。
- 従事業務区別にみると、『梱包・包装/流通加工』で「一般クラス」との回答が特に多い。

図表 III-1-1⑦. 現在の役職（Q7）【従事業務区分別】

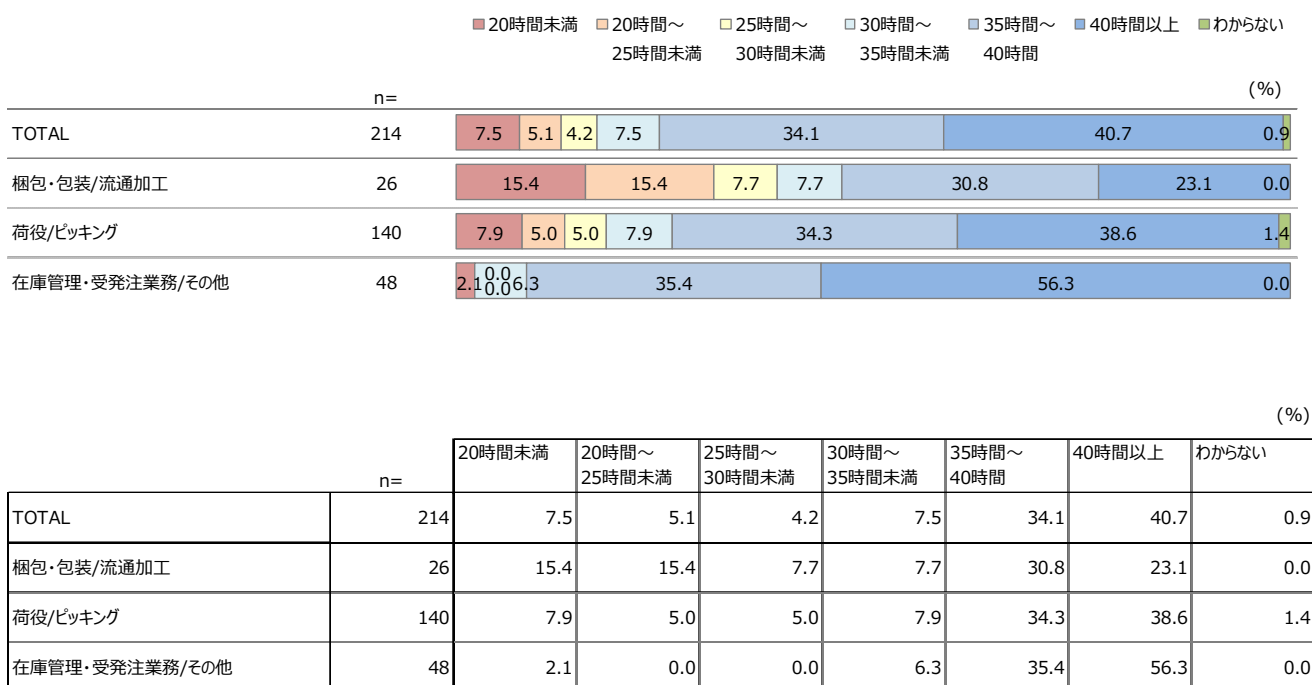


		(%)				
	n=	一般クラス	リーダー、主任クラス	監督者、現場責任者、係長クラス	管理職	その他
TOTAL	214	88.3	7.5	0.9	0.5	2.8
梱包・包装/流通加工	26	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
荷役/ピッキング	140	88.6	7.1	0.7	0.0	3.6
在庫管理・受発注業務/その他	48	81.3	12.5	2.1	2.1	2.1

【設問文】 Q8 あなたの 1 週間の所定労働時間を教えてください。当てはまるものを 1 つ選んでください。

- 1 週間の所定労働時間では、「40 時間以上」の割合が最も高く、40.7%。「35 時間～40 時間」34.1%、「20 時間未満」「30 時間～35 時間未満」7.5%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「40 時間以上」が特に多く、『在庫管理・受発注業務/その他』『荷役/ピッキング』『梱包・包装/流通加工』の順に 1 週間の所定労働時間が短くなる。

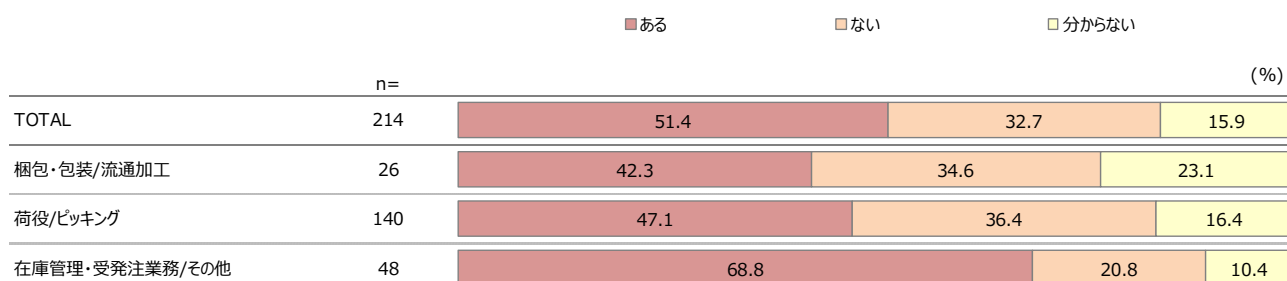
図表 III-1-1⑧. 1 週間の所定労働時間（Q8）【従事業務区分別】



【設問文】 Q9 あなたが勤めている会社に、昇給の仕組み（勤続や人事評価などにより賃金が上がる仕組み）はありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 昇給の仕組みの有無では、「ある」の割合が最も高く、51.4%。「ない」32.7%、「分からない」15.9%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「ある」との回答が特に多い。

図表 III-1-1⑨. 昇給の仕組みの有無（Q9）【従事業務区分別】



		n=			(%)
		ある	ない	分からない	
TOTAL	214	51.4	32.7	15.9	
梱包・包装/流通加工	26	42.3	34.6	23.1	
荷役/ピッキング	140	47.1	36.4	16.4	
在庫管理・受発注業務/その他	48	68.8	20.8	10.4	

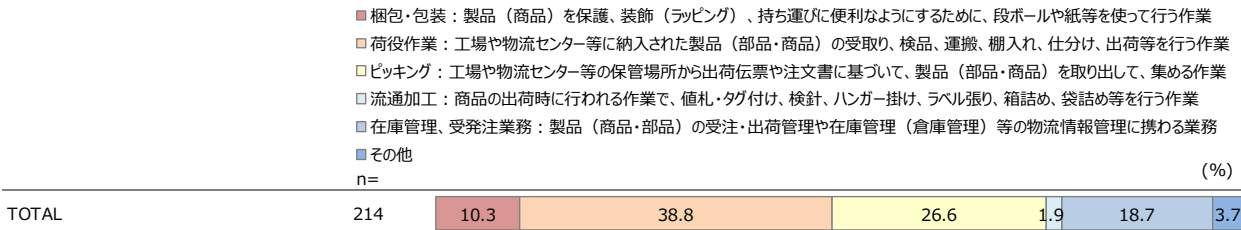
2. 業務の実態

(1) 従事している業務

【設問文】 Q10 現在、あなたが主に従事している業務を 1 つ選んでください。

- 回答者の主に従事している業務は次のとおり。

図表 III-2-1. 主に従事している業務

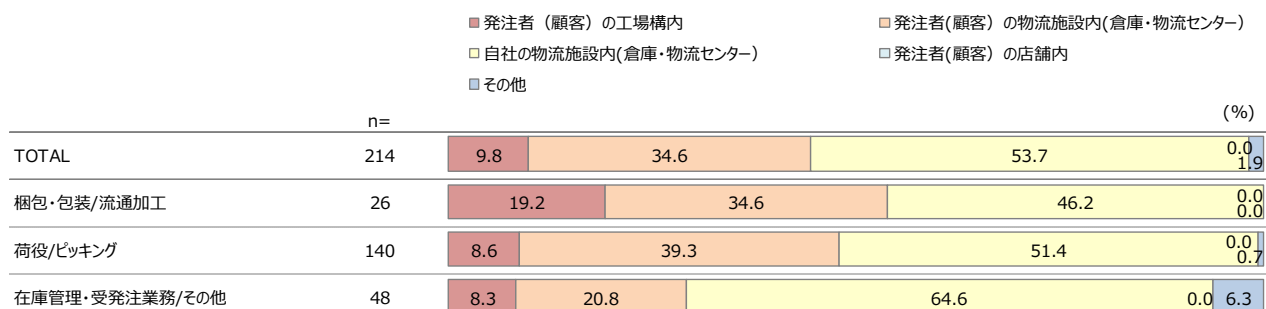


(2) 業務の場所

【設問文】 Q11 あなたが主に従事している業務は、どこで行われていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 業務の場所では、「自社の物流施設内（倉庫・物流センター）」の割合が最も高く、53.7%。「発注者（顧客）の物流施設内（倉庫・物流センター）」34.6%、「発注者（顧客）の工場構内」9.8%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「自社の物流施設内（倉庫・物流センター）」との回答が特に多い一方で、『荷役/ピッキング』では「発注者（顧客）の物流施設内（倉庫・物流センター）」との回答が多い。

図表 III-2-2. 業務の場所【従事業務区分別】



(%)

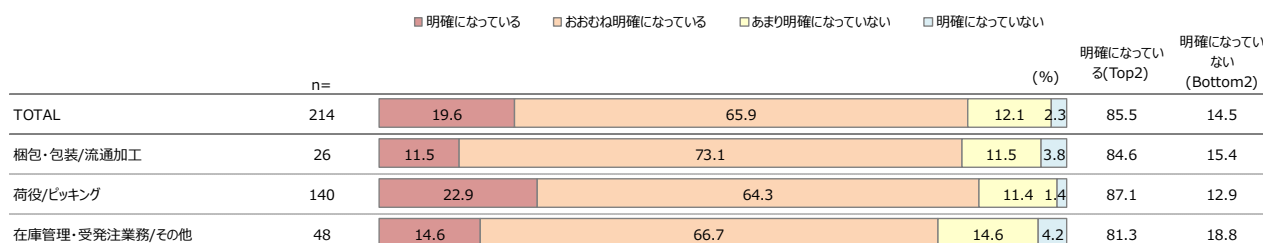
	n=	発注者（顧客）の工場構内	発注者（顧客）の物流施設内(倉庫・物流センター)	自社の物流施設内(倉庫・物流センター)	発注者（顧客）の店舗内	その他
TOTAL	214	9.8	34.6	53.7	0.0	1.9
梱包・包装/流通加工	26	19.2	34.6	46.2	0.0	0.0
荷役/ピッキング	140	8.6	39.3	51.4	0.0	0.7
在庫管理・受発注業務/その他	48	8.3	20.8	64.6	0.0	6.3

(3) 業務の内容・範囲の明確化

【設問文】 Q12 あなたが主に従事している業務の内容、範囲は、明確になっていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 業務の内容・範囲の明確化では、「おおむね明確になっている」の割合が最も高く、65.9%。「明確になっている」（19.6%）と合わせた「明確になっている（Top2）」割合は、85.5%。「明確になっていない」と「あまり明確になっていない」を合わせた「明確になっていない（Bottom2）」割合は、14.5%。
- 従事業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』では「明確になっている」との回答が多い。

図表 III-2-3. 業務の内容・範囲の明確化 【従事業務区分別】



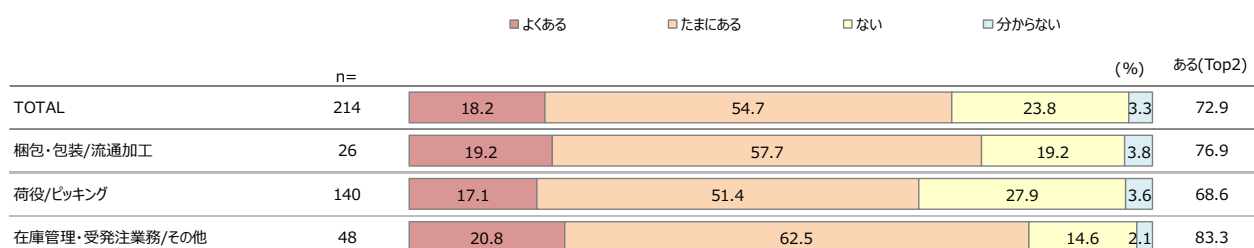
		（％）					
	n=	明確になっ ている	おおむね明 確になっ ている	あまり明 確になっ ていない	明確になっ ていない	明確になっ ている (Top2)	明確になっ ていない (Bottom2)
TOTAL	214	19.6	65.9	12.1	2.3	85.5	14.5
梱包・包装/流通加工	26	11.5	73.1	11.5	3.8	84.6	15.4
荷役/ピッキング	140	22.9	64.3	11.4	1.4	87.1	12.9
在庫管理・受発注業務/その他	48	14.6	66.7	14.6	4.2	81.3	18.8

(4) 業務の内容・範囲外の実施状況

【設問文】 Q13 決められた業務の内容・範囲を越えて業務を行うことはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 業務の内容・範囲外の実施状況では、「たまにある」の割合が最も高く、54.7%。「よくある」と合わせた「ある（Top2）」割合は、72.9%。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』では、「ある（Top2）」との回答が多い一方、『荷役/ピッキング』では「ない」との回答が多い。

図表 III-2-4. 業務の内容・範囲外の実施状況 【従事業務区分別】



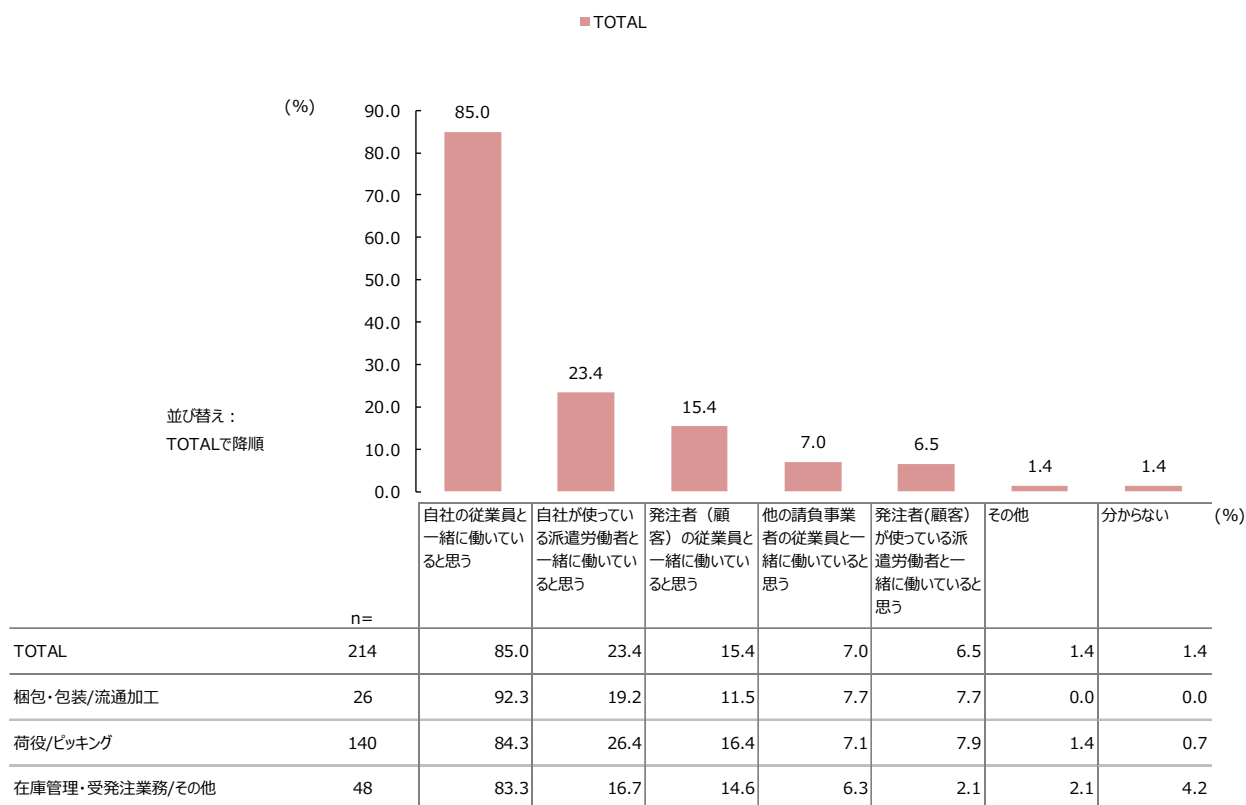
		(%)				
	n=	よくある	たまにある	ない	分からない	ある(Top2)
TOTAL	214	18.2	54.7	23.8	3.3	72.9
梱包・包装/流通加工	26	19.2	57.7	19.2	3.8	76.9
荷役/ピッキング	140	17.1	51.4	27.9	3.6	68.6
在庫管理・受発注業務/その他	48	20.8	62.5	14.6	2.1	83.3

(5) 業務の現場の状況

【設問文】 Q14 あなたが主に従事している業務の現場では、誰と一緒に働いていると思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 業務の現場の状況では、「自社の従業員と一緒に働いていると思う」の割合が最も高く、85.0%。「自社が使っている派遣労働者と一緒に働いていると思う」23.4%、「発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う」15.4%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』で「自社の従業員と一緒に働いていると思う」との回答が多い。

図表 III-2-5. 業務の現場の状況【従事業務区分別】

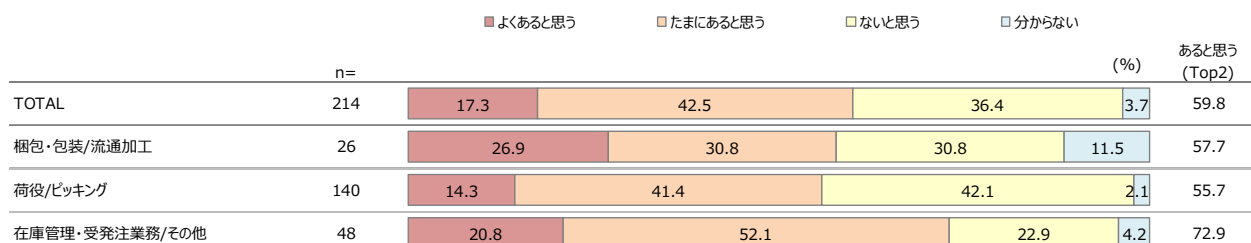


(6) 発注者からの業務についての指示

【設問文】 Q15 あなたが主に従事している業務に関し、発注者（顧客）の従業員の方から直接指示を受けることがあると思いますか。当てはまるものを 1 つ選んでください。

- 発注者からの業務についての指示では、「たまにあると思う」の割合が最も高く、42.5%。「よくあると思う」と合わせた「あると思う（Top2）」割合は、59.8%と 6 割近くに及ぶ。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「あると思う（Top2）」との回答が特に多い。一方、『荷役/ピッキング』では「ないと思う」との回答が多い。

図表 III-2-6. 発注者からの業務についての指示 【従事業務区分別】



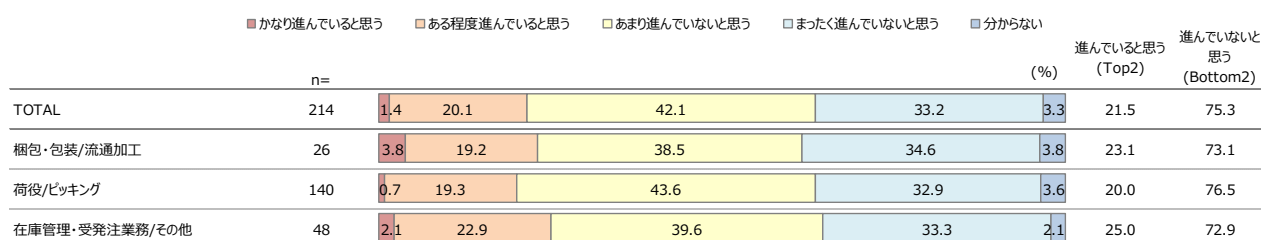
		(%)				
	n=	よくあると思う	たまにあると思う	ないと思う	分からない	あると思う (Top2)
TOTAL	214	17.3	42.5	36.4	3.7	59.8
梱包・包装/流通加工	26	26.9	30.8	30.8	11.5	57.7
荷役/ピッキング	140	14.3	41.4	42.1	2.1	55.7
在庫管理・受発注業務/その他	48	20.8	52.1	22.9	4.2	72.9

(7) IT化、自動化、デジタル化の状況

【設問文】 Q16 あなたが主に従事している業務の工程や現場において、IT化や自動化、デジタル化が進んでいますか。最も近いと思われるものを1つ選んでください。

- IT化、自動化、デジタル化の状況では、「あまり進んでいないと思う」の割合が最も高く、42.1%。「まったく進んでいないと思う」（33.2%）と合わせた「進んでいないと思う（Bottom2）」割合は、75.3%と7割を超える。一方、「かなり進んでいると思う」と「ある程度進んでいると思う」を合わせた「進んでいると思う（Top2）」の割合は21.5%。
- 従事業務区分別には特徴は見られなかった。

図表 III-2-7. IT化、自動化、デジタル化の状況【従事業務区分別】



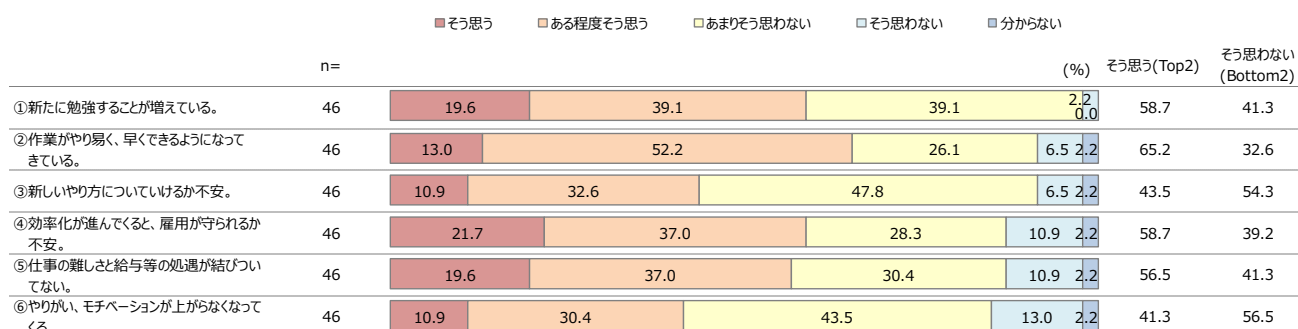
		(%)						
	n=	かなり進んでいる と思う	ある程度進んで いると思う	あまり進んでい ないと思う	まったく進んで いないと思う	分からない	進んでいると思う (Top2)	進んでいないと 思う (Bottom2)
TOTAL	214	1.4	20.1	42.1	33.2	3.3	21.5	75.3
梱包・包装/流通加工	26	3.8	19.2	38.5	34.6	3.8	23.1	73.1
荷役/ピッキング	140	0.7	19.3	43.6	32.9	3.6	20.0	76.5
在庫管理・受発注業務/その他	48	2.1	22.9	39.6	33.3	2.1	25.0	72.9

(8) IT化、自動化、デジタル化の影響

【設問文】 Q17 IT化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響がありますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

- IT化、自動化、デジタル化の影響について、「そう思う」および「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う（Top2）」割合が高いのは『②作業がやり易く、早くできるようになってきている。』（65.2%）や『①新たに勉強することが増えている。』（58.7%）、『④効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安。』（58.7%）となっている。「あまりそう思わない」および「そう思わない」を合わせた「そう思わない（Bottom2）」割合が高いのは、『⑥やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる。』（56.5%）、『③新しいやり方についていけないか不安。』（54.3%）。

図表 III-2-8. IT化、自動化、デジタル化の影響



		(%)						
	n	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う(Top2)	そう思わない(Bottom2)
新たに勉強することが増えている。	46	19.6	39.1	39.1	2.2	0.0	58.7	41.3
作業がやり易く、早くできるようになってきている。	46	13.0	52.2	26.1	6.5	2.2	65.2	32.6
新しいやり方についていけないか不安。	46	10.9	32.6	47.8	6.5	2.2	43.5	54.3
効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安。	46	21.7	37.0	28.3	10.9	2.2	58.7	39.2
仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてない。	46	19.6	37.0	30.4	10.9	2.2	56.5	41.3
やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる。	46	10.9	30.4	43.5	13.0	2.2	41.3	56.5

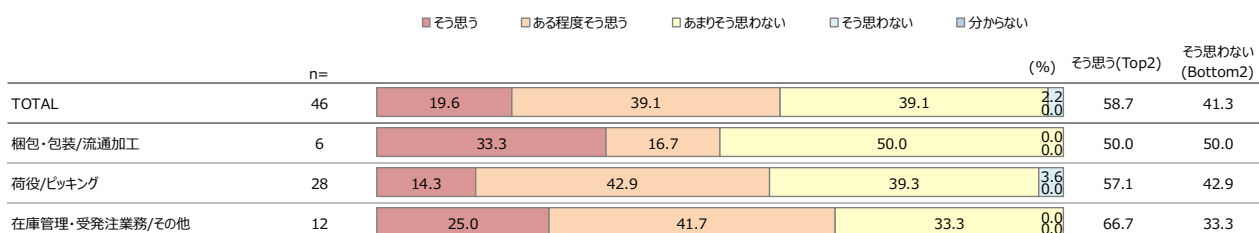
【設問文】 Q17 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響がありますか。それぞれの項目について、当てはまるものを 1 つ選んでください。

①新たに勉強することが増えている。

- IT 化、自動化、デジタル化の影響:新たに勉強することが増えているでは、「ある程度そう思う」「あまりそう思わない」の割合が最も高く、39.1%。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う（Top2）」の割合は 58.7%と 6 割弱を占める。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない（Bottom2）」の割合は 41.3%と 4 割を超える。

図表 III-2-8. IT 化、自動化、デジタル化の影響

①新たに勉強することが増えている。【従事業務区分別】



							(%)	
	n=	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う(Top2)	そう思わない(Bottom2)
TOTAL	46	19.6	39.1	39.1	2.2	0.0	58.7	41.3
梱包・包装/流通加工	6	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
荷役/ピッキング	28	14.3	42.9	39.3	3.6	0.0	57.1	42.9
在庫管理・受発注業務/その他	12	25.0	41.7	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3

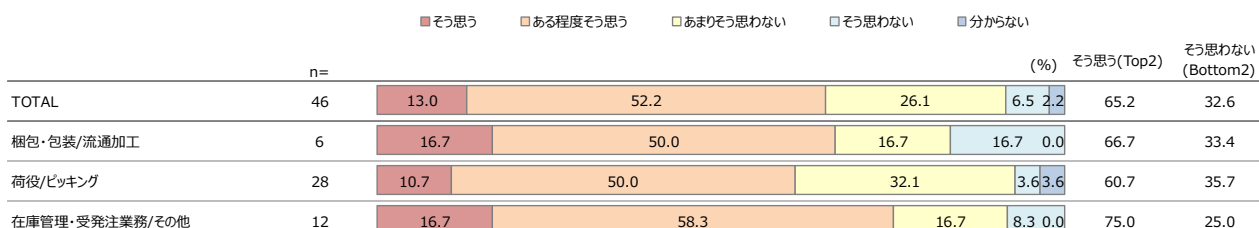
【設問文】 Q17 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響がありますか。それぞれの項目について、当てはまるものを 1 つ選んでください。

②作業がやり易く、早くできるようになってきている。

- IT 化、自動化、デジタル化の影響:作業がやり易く、早くできるようになってきているでは、「ある程度そう思う」の割合が最も高く、52.2%。「あまりそう思わない」26.1%、「そう思う」13.0%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う（Top2）」の割合は 65.2%と 6 割を超える。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない（Bottom2）」の割合は 32.6%となっている。

図表 III-2-8. IT 化、自動化、デジタル化の影響

②作業がやり易く、早くできるようになってきている。【従事業務区分別】



		(%)						
	n=	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う(Top2)	そう思わない(Bottom2)
TOTAL	46	13.0	52.2	26.1	6.5	2.2	65.2	32.6
梱包・包装/流通加工	6	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	66.7	33.4
荷役/ピッキング	28	10.7	50.0	32.1	3.6	3.6	60.7	35.7
在庫管理・受発注業務/その他	12	16.7	58.3	16.7	8.3	0.0	75.0	25.0

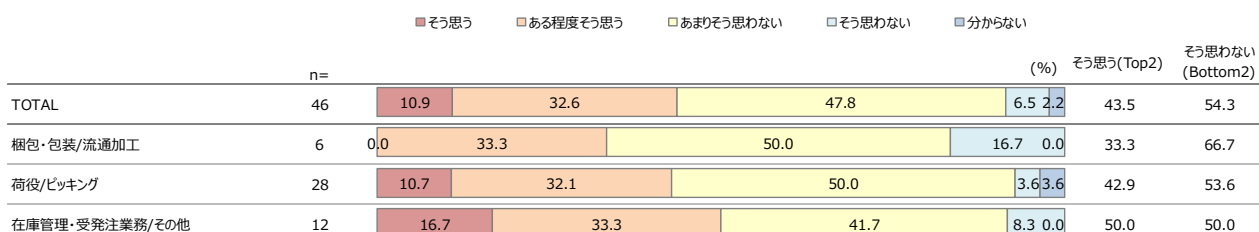
【設問文】 Q17 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響がありますか。それぞれの項目について、当てはまるものを 1 つ選んでください。

③新しいやり方についていけるか不安。

- IT 化、自動化、デジタル化の影響:新しいやり方についていけるか不安では、「あまりそう思わない」の割合が最も高く、47.8%。「ある程度そう思う」32.6%、「そう思う」10.9%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う（Top2）」の割合は 43.5%となっている。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない（Bottom2）」の割合は 54.3%と 5 割を超える。

図表 III-2-8. IT 化、自動化、デジタル化の影響

③新しいやり方についていけるか不安。【従事業務区分別】



		(%)						
	n=	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う(Top2)	そう思わない (Bottom2)
TOTAL	46	10.9	32.6	47.8	6.5	2.2	43.5	54.3
梱包・包装/流通加工	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0	33.3	66.7
荷役/ピッキング	28	10.7	32.1	50.0	3.6	3.6	42.9	53.6
在庫管理・受発注業務/その他	12	16.7	33.3	41.7	8.3	0.0	50.0	50.0

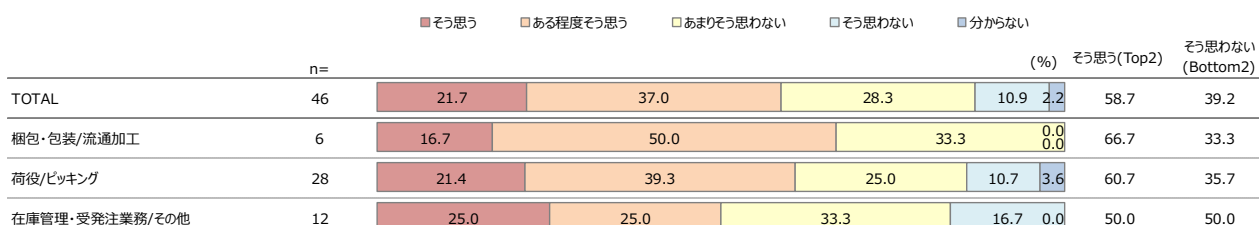
【設問文】 Q17 IT化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響がありますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

④効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安。

- IT化、自動化、デジタル化の影響:効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安では、「ある程度そう思う」の割合が最も高く、37.0%。「あまりそう思わない」28.3%、「そう思う」21.7%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う（Top2）」の割合は58.7%と6割に迫る。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない（Bottom2）」の割合は39.2%となっている。

図表 III-2-8. IT化、自動化、デジタル化の影響

④効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安。【従事業務区分別】



		n=							(%)
		そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う(Top2)	そう思わない(Bottom2)	
TOTAL	46	21.7	37.0	28.3	10.9	2.2	58.7	39.2	
梱包・包装/流通加工	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	
荷役/ピッキング	28	21.4	39.3	25.0	10.7	3.6	60.7	35.7	
在庫管理・受発注業務/その他	12	25.0	25.0	33.3	16.7	0.0	50.0	50.0	

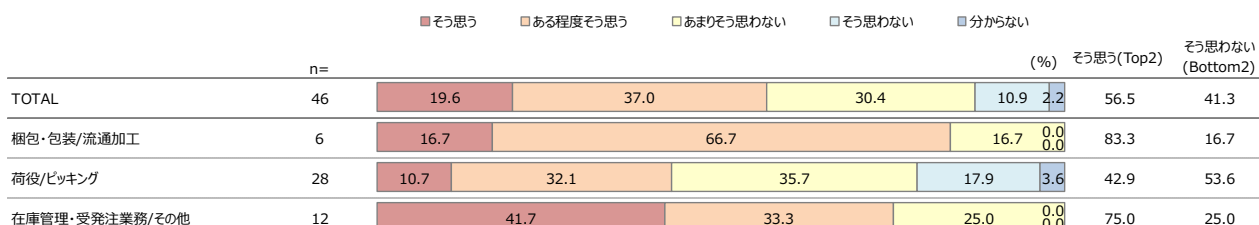
【設問文】 Q17 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響がありますか。それぞれの項目について、当てはまるものを 1 つ選んでください。

⑤仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてない。

- IT 化、自動化、デジタル化の影響:仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてないでは、「ある程度そう思う」の割合が最も高く、37.0%。「あまりそう思わない」30.4%、「そう思う」19.6%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う（Top2）」の割合は 56.5%となっている。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない（Bottom2）」の割合は 41.3%と 4 割を超える。

図表 III-2-8. IT 化、自動化、デジタル化の影響

⑤仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてない。【従事業務区分別】



		(%)						
	n=	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う(Top2)	そう思わない(Bottom2)
TOTAL	46	19.6	37.0	30.4	10.9	2.2	56.5	41.3
梱包・包装/流通加工	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	83.3	16.7
荷役/ピッキング	28	10.7	32.1	35.7	17.9	3.6	42.9	53.6
在庫管理・受発注業務/その他	12	41.7	33.3	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0

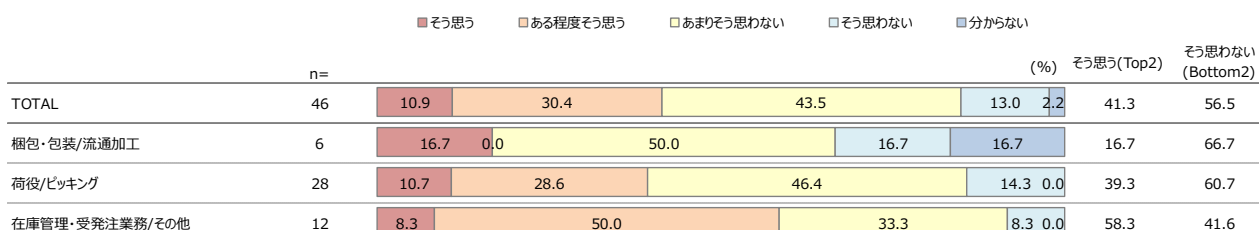
【設問文】 Q17 IT 化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響がありますか。それぞれの項目について、当てはまるものを 1 つ選んでください。

⑥やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる。

- IT 化、自動化、デジタル化の影響:やりがい、モチベーションが上がらなくなってくるでは、「あまりそう思わない」の割合が最も高く、43.5%。「ある程度そう思う」30.4%、「そう思わない」13.0%が続く。
- 「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う（Top2）」の割合は 41.3%となっている。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない（Bottom2）」の割合は 56.5%と 5 割を超える。

図表 III-2-8. IT 化、自動化、デジタル化の影響

⑥やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる。【従事業務区分別】



	n=	そう思う					そう思わない	
		そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	そう思う(Top2)	そう思わない(Bottom2)
TOTAL	46	10.9	30.4	43.5	13.0	2.2	41.3	56.5
梱包・包装/流通加工	6	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7	16.7	66.7
荷役/ピッキング	28	10.7	28.6	46.4	14.3	0.0	39.3	60.7
在庫管理・受発注業務/その他	12	8.3	50.0	33.3	8.3	0.0	58.3	41.6

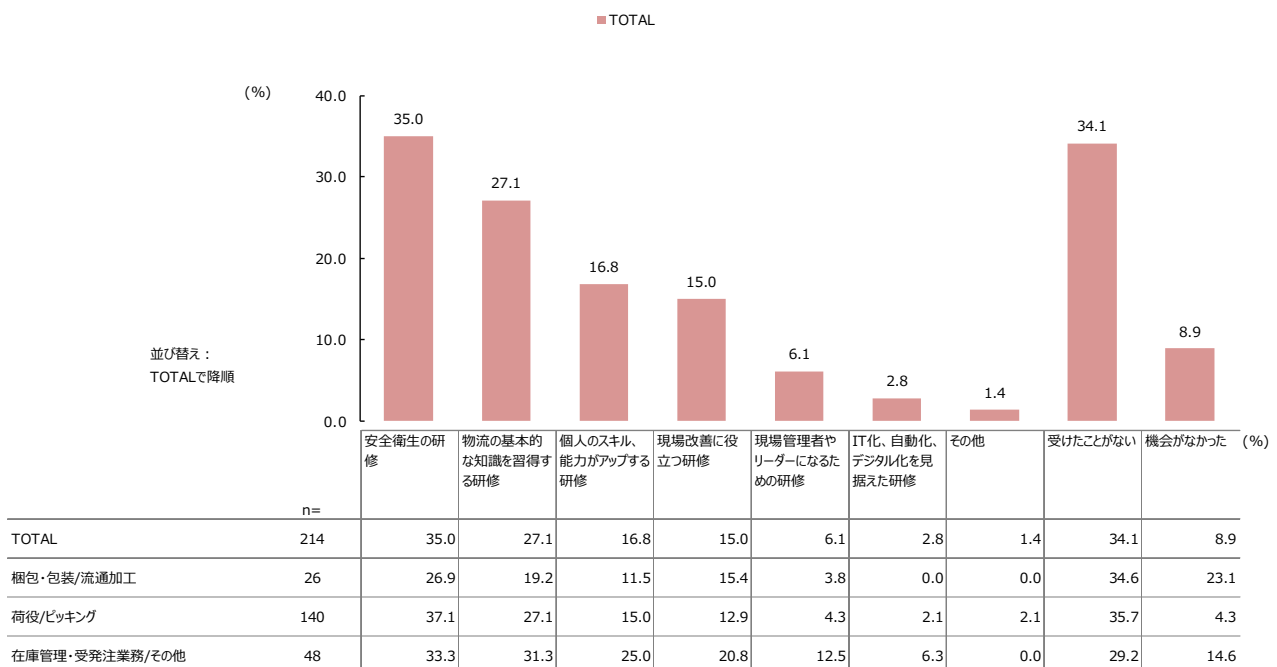
3. 教育・研修

(1) 教育・研修を受けた経験

【設問文】 Q18 現在あなたが在籍している会社で、これまでにどのような教育・研修を受けましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 教育・研修を受けた経験では、「安全衛生の研修」の割合が最も高く、35.0%。「物流の基本的な知識を習得する研修」27.1%、「個人のスキル、能力がアップする研修」16.8%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』で「安全衛生の研修」との回答が多い一方、「受けたことがない」との回答も多い。また、『梱包・包装/流通加工』では「機会がなかった」との回答も多い。

図表 III-3-1. 教育・研修を受けた経験 【従事業務区分別】



(2) 今後受けた教育・研修

【設問文】 Q19 あなたが今後受けた教育・研修はどれですか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 今後受けた教育・研修では、「スキル、能力が高まる研修」の割合が最も高く、26.6%。「現場改善に役立つ研修」25.7%、「IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修」24.8%が続く。
- 従事業務区別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「現場改善に役立つ研修」「スキル、能力が高まる研修」「IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修」との回答が多い。一方、『梱包・包装/流通加工』では「特になし」との回答が特に多い。

図表 III-3-2. 今後受けた教育・研修【従事業務区分別】



4. 能力評価、キャリア形成支援

(1) キャリア面談を受けた経験

【設問文】 Q20 あなたは、現在あなたが在籍している会社から、これまでにキャリア面談を受けたことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- キャリア面談を受けた経験では、「受けたことがない」の割合が最も高く、74.8%。「定期的に受けている」（5.6%）と「たまに受けている」（13.1%）を合わせた「受けている（Top2）」の割合は18.7%。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「受けている（Top2）」との回答が多い。一方、『梱包・包装/流通加工』では「受けたことがない」との回答が多い。

図表 III-4-1. キャリア面談を受けた経験 【従事業務区分別】

	n=	定期的に受けている	たまに受けている	受けたことがない	分からない	(%)	受けている (Top2)
TOTAL	214	5.6	13.1	74.8	6.5	18.7	
梱包・包装/流通加工	26	0.0	7.7	88.5	3.8	7.7	
荷役/ピッキング	140	5.0	12.9	75.0	7.1	17.9	
在庫管理・受発注業務/その他	48	10.4	16.7	66.7	6.3	27.1	

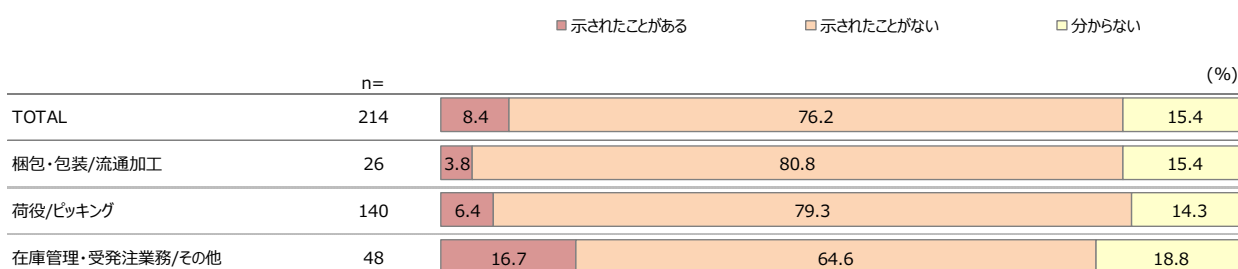
	n=	定期的に受けている	たまに受けている	受けたことがない	分からない	受けている (Top2)
TOTAL	214	5.6	13.1	74.8	6.5	18.7
梱包・包装/流通加工	26	0.0	7.7	88.5	3.8	7.7
荷役/ピッキング	140	5.0	12.9	75.0	7.1	17.9
在庫管理・受発注業務/その他	48	10.4	16.7	66.7	6.3	27.1

(2) キャリアパスの提示

【設問文】 Q21 あなたは、現在あなたが在籍している会社から、キャリアパスを示されたことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- キャリアパスの提示では、「示されたことがない」の割合が最も高く、76.2%。「分からない」15.4%、「示されたことがある」8.4%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「示されたことがある」との回答が多い。

図表 III-4-2. キャリアパスの提示 【従事業務区分別】



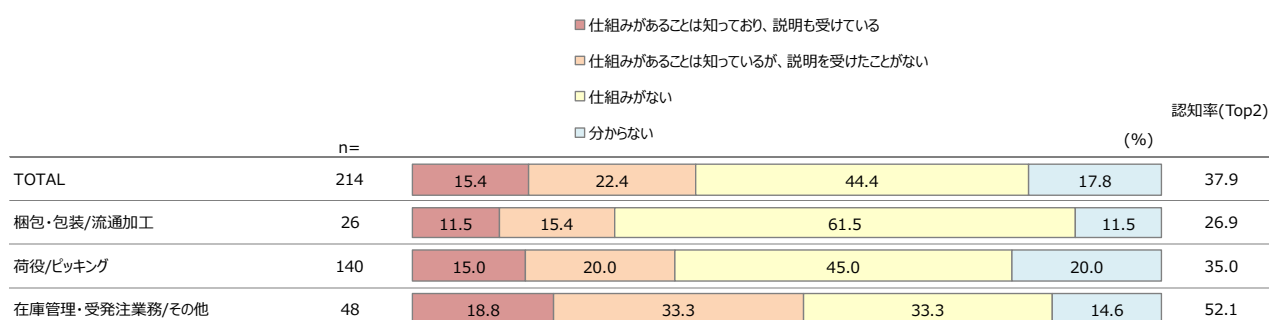
	n=	(%)		
		示されたことがある	示されたことがない	分からない
TOTAL	214	8.4	76.2	15.4
梱包・包装/流通加工	26	3.8	80.8	15.4
荷役/ピッキング	140	6.4	79.3	14.3
在庫管理・受発注業務/その他	48	16.7	64.6	18.8

(3) 評価の仕組みの整備・説明状況

【設問文】 Q22 あなたの能力や仕事ぶりなど、仕事上の貢献を評価する仕組みについて教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

- 評価の仕組みの整備・説明状況では、「仕組みがない」の割合が最も高く、44.4%。「仕組みがあることは知っており、説明も受けている」（15.4%）と「仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない」（22.4%）を合わせた「認知率（Top2）」は37.9%となっている。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「認知率（Top2）」との回答が多く、『在庫管理・受発注業務/その他』『荷役/ピッキング』『梱包・包装/流通加工』の順に「認知率（Top2）」との回答が少なくなる。

図表 III-4-3. 評価の仕組みの整備・説明状況 【従事業務区分別】



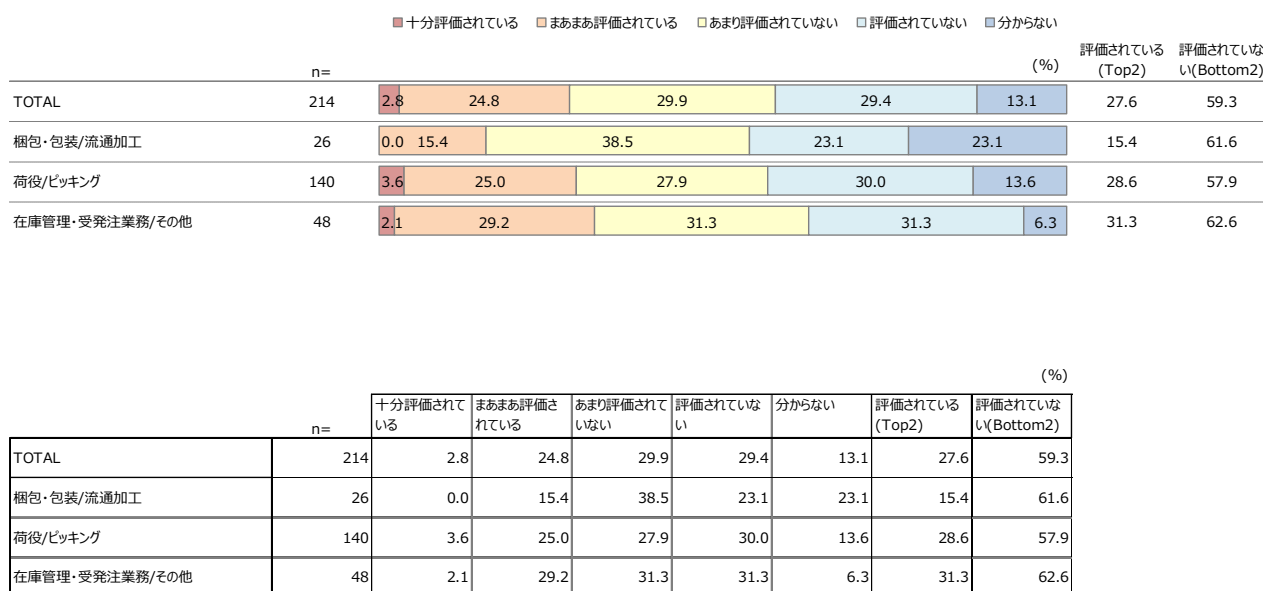
	n=	仕組みがあることは知っており、説明も受けている (%)	仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない (%)	仕組みがない (%)	分からない (%)	認知率(Top2) (%)
TOTAL	214	15.4	22.4	44.4	17.8	37.9
梱包・包装/流通加工	26	11.5	15.4	61.5	11.5	26.9
荷役/ピッキング	140	15.0	20.0	45.0	20.0	35.0
在庫管理・受発注業務/その他	48	18.8	33.3	33.3	14.6	52.1

(4) 評価の処遇への反映

【設問文】 Q23 あなたの給与などの処遇は、能力や仕事ぶりなど、仕事上の貢献が評価されていると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 評価の処遇への反映では、「あまり評価されていない」の割合が最も高く、29.9%。「評価されていない」（29.4%）と合わせた「評価されていない（Bottom2）」割合は、59.3%と6割近くに及ぶ。「十分評価されている」と「まあまあ評価されている」を合わせた「評価されている（Top2）」の割合は27.6%と3割に満たない。
- 従事業務区分別にみると、『在庫管理・受発注業務/その他』で「評価されていない（Bottom2）」との回答が多い。

図表 III-4-4. 評価の処遇への反映 【従事業務区分別】

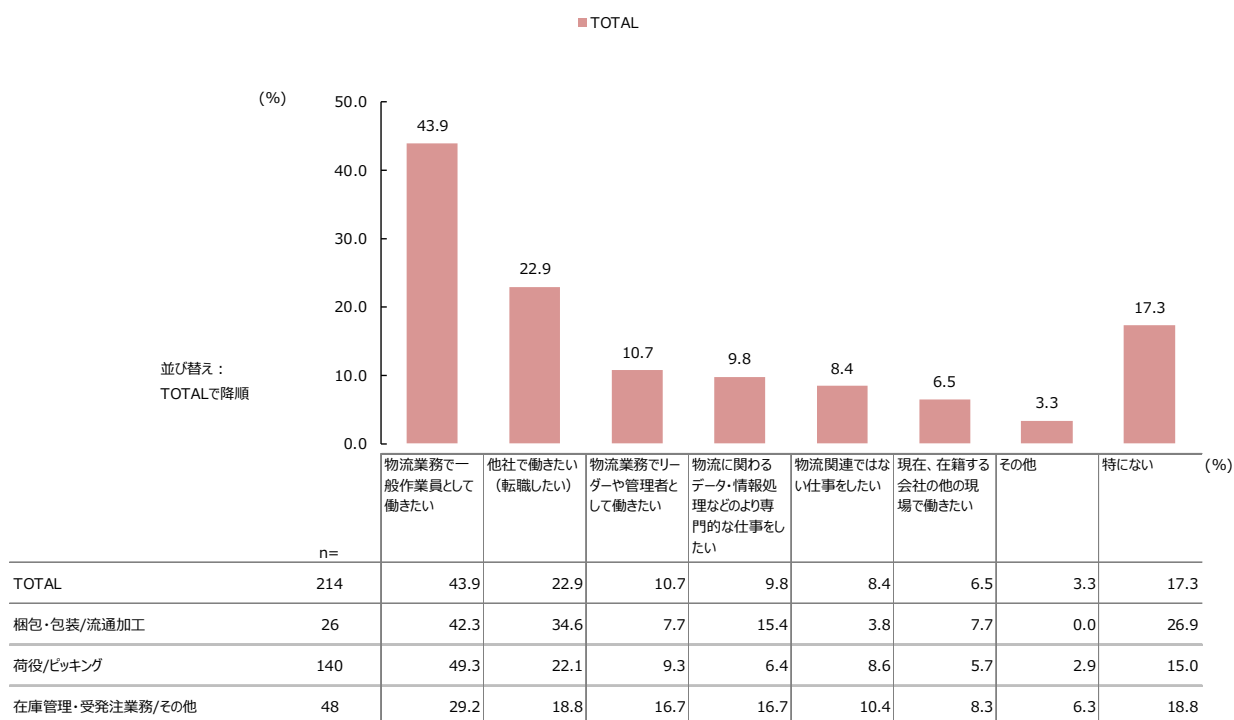


(5) 今後(1～2年)の仕事や働き方に関する希望

【設問文】 Q24 今後 1～2 年についてのあなたの仕事や働き方に関する希望はどのようなものですか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 今後（1～2 年）の仕事や働き方に関する希望では、「物流業務で一般作業員として働きたい」の割合が最も高く、43.9%。「他社で働きたい（転職したい）」22.9%、「物流業務でリーダーや管理者として働きたい」10.7%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『荷役/ピッキング』で「物流業務で一般作業員として働きたい」との回答が多く、『在庫管理・受発注業務/その他』では「物流業務でリーダーや管理者として働きたい」「物流に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい」との回答が多い。一方、『梱包・包装/流通加工』では「他社で働きたい（転職したい）」との回答が多い。

図表 III-4-5. 今後（1～2 年）の仕事や働き方に関する希望 【従事業務区分別】



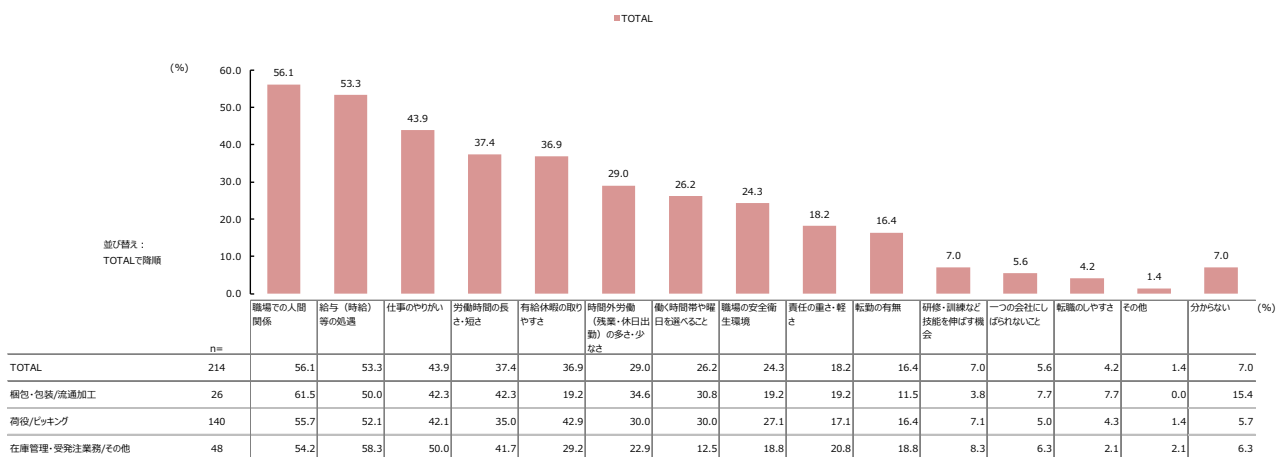
5. 働き方について

(1) 仕事や働き方に関して重視していること

【設問文】 Q25 あなたはご自身の仕事や働き方に関して、特に何を重視していますか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 仕事や働き方に関して重視していることでは、「職場での人間関係」の割合が最も高く、56.1%。「給与（時給）等の処遇」53.3%、「仕事のやりがい」43.9%が続く。
- 従事業務区分別にみると、『梱包・包装/流通加工』で「職場での人間関係」「労働時間の長さ・短さ」との回答が多い。『在庫管理・受発注業務/その他』では「給与（時給）等の処遇」「仕事のやりがい」、『荷役/ピッキング』では「有給休暇の取りやすさ」との回答が多い。

図表 III-5-1. 仕事や働き方に関して重視していること 【従事業務区分別】

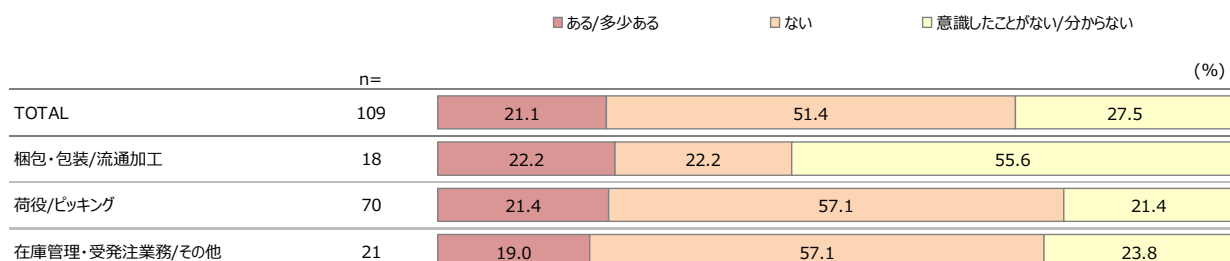


IV. テーマ別集計結果

1. コンプライアンス

(1) 発注者

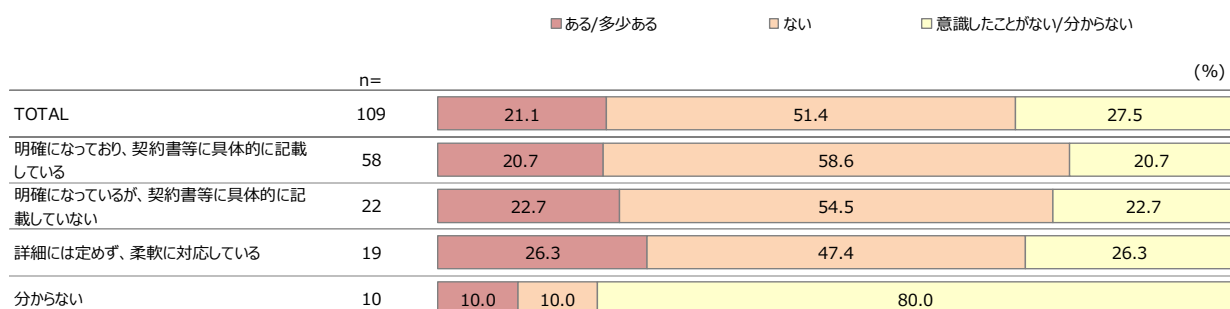
図表 IV-1-1①. 偽装請負への不安【委託業務区分別】



(%)

	n=	ある/多少ある	ない	意識したことがない/分からない
TOTAL	109	21.1	51.4	27.5
梱包・包装/流通加工	18	22.2	22.2	55.6
荷役/ピッキング	70	21.4	57.1	21.4
在庫管理・受発注業務/その他	21	19.0	57.1	23.8

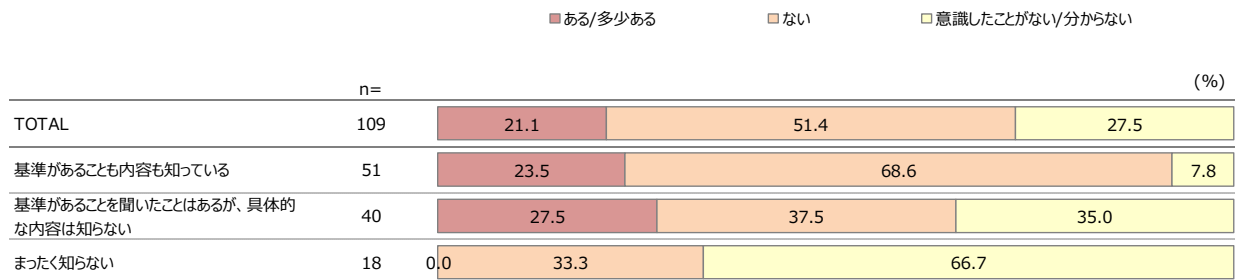
図表 IV-1-1②. 偽装請負への不安【委託業務の内容・範囲の明確化別】



(%)

	n=	ある/多少ある	ない	意識したことがない/分からない
TOTAL	109	21.1	51.4	27.5
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	58	20.7	58.6	20.7
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	22	22.7	54.5	22.7
詳細には定めず、柔軟に対応している	19	26.3	47.4	26.3
分からない	10	10.0	10.0	80.0

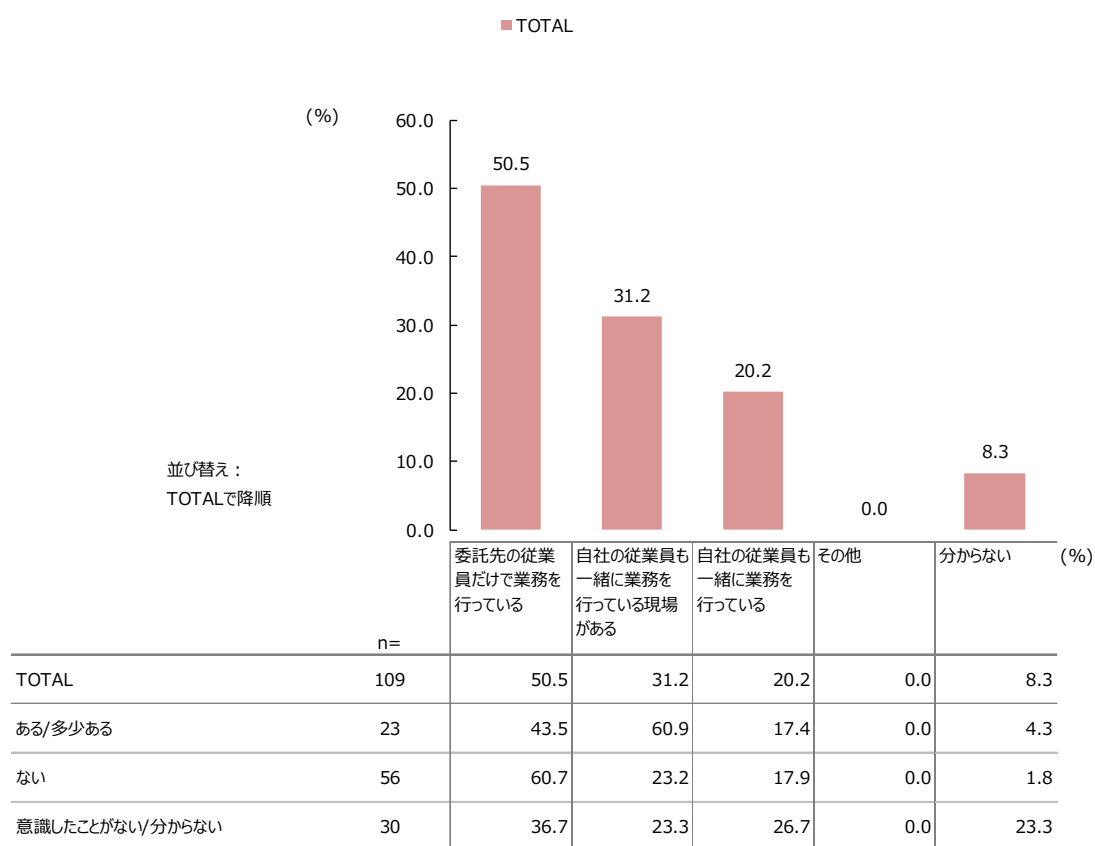
図表 IV-1-1③. 偽装請負への不安【国が定めた基準の認識別】



(%)

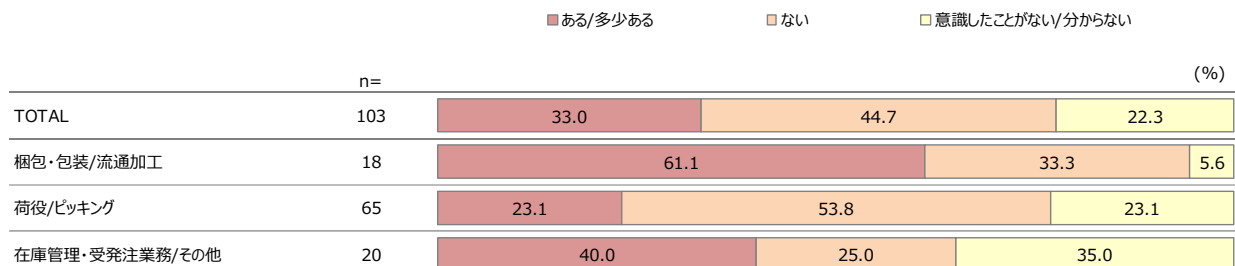
	n=	ある/多少ある	ない	意識したことがない/分からない
TOTAL	109	21.1	51.4	27.5
基準があることも内容も知っている	51	23.5	68.6	7.8
基準があることを聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない	40	27.5	37.5	35.0
まったく知らない	18	0.0	33.3	66.7

図表 IV-1-1④. 委託業務を行っている現場の状況 【偽装請負への不安別】



(2) 受託者

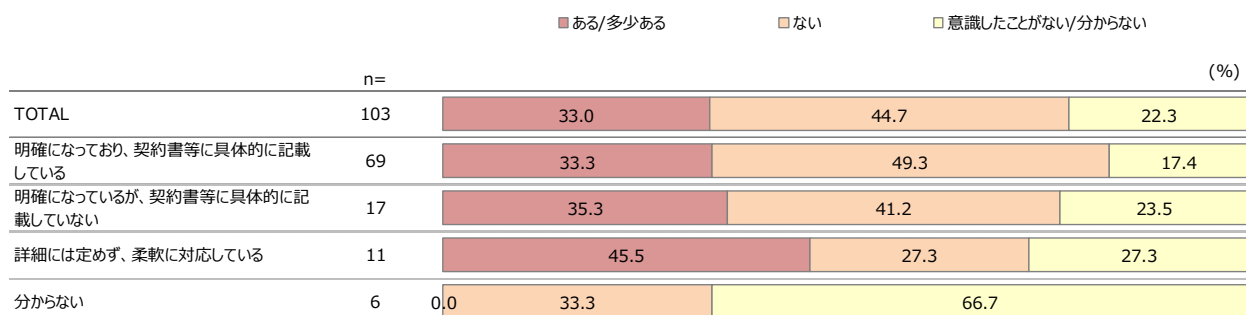
図表 IV-1-2①. 偽装請負への不安【受託（請負）業務区分別】



(%)

	n=	ある/多少ある	ない	意識したことがない/分からない
TOTAL	103	33.0	44.7	22.3
梱包・包装/流通加工	18	61.1	33.3	5.6
荷役/ピッキング	65	23.1	53.8	23.1
在庫管理・受発注業務/その他	20	40.0	25.0	35.0

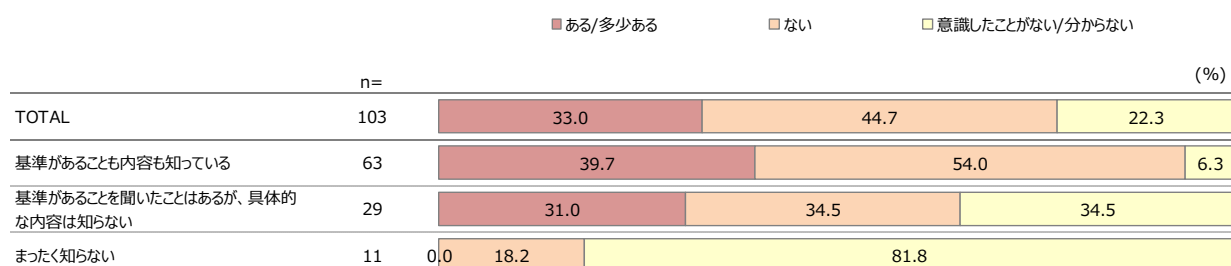
図表 IV-1-2②. 偽装請負への不安【受託（請負）業務の内容・範囲の明確化別】



(%)

	n=	ある/多少ある	ない	意識したことがない/分からない
TOTAL	103	33.0	44.7	22.3
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	69	33.3	49.3	17.4
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	17	35.3	41.2	23.5
詳細には定めず、柔軟に対応している	11	45.5	27.3	27.3
分からない	6	0.0	33.3	66.7

図表 IV-1-2③. 偽装請負への不安【国が定めた基準の認識別】



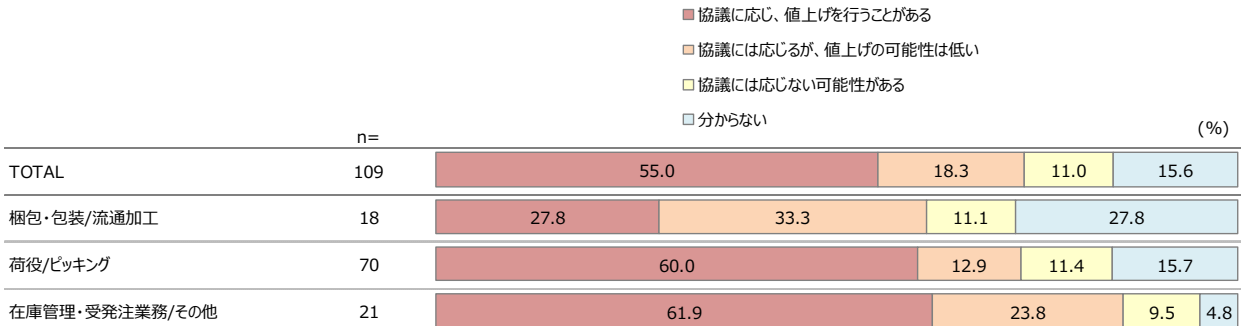
(%)

	n=	ある/多少ある	ない	意識したことがない/分からない
TOTAL	103	33.0	44.7	22.3
基準があることも内容も知っている	63	39.7	54.0	6.3
基準があることを聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない	29	31.0	34.5	34.5
まったく知らない	11	0.0	18.2	81.8

2. 価格交渉の成否

(1) 発注者

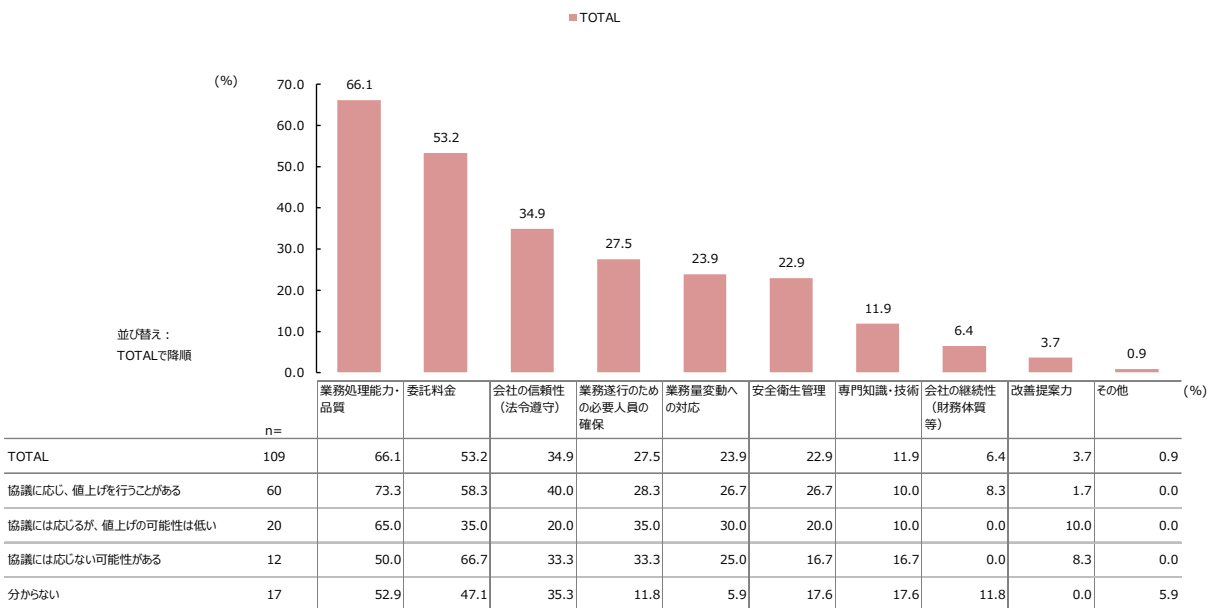
図表 IV-2-1①. 委託料金値上げ申入れへの対応【委託業務区分別】



(%)

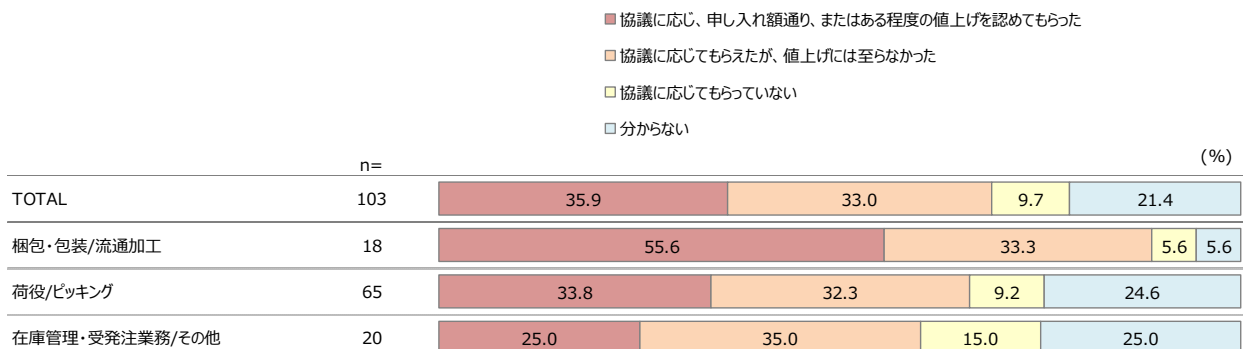
	n=	協議に応じ、値上げを行うことがある	協議には応じるが、値上げの可能性は低い	協議には応じない可能性がある	分からない
TOTAL	109	55.0	18.3	11.0	15.6
梱包・包装/流通加工	18	27.8	33.3	11.1	27.8
荷役/ピッキング	70	60.0	12.9	11.4	15.7
在庫管理・受発注業務/その他	21	61.9	23.8	9.5	4.8

図表 IV-2-1②. 委託先選定の重視ポイント（複数回答）【委託料金値上げ申入れへの対応別】



(2) 受託者

図表 IV-2-2①. 受託（請負）料金値上げ申し入れに対する発注者の対応【受託（請負）業務区分別】

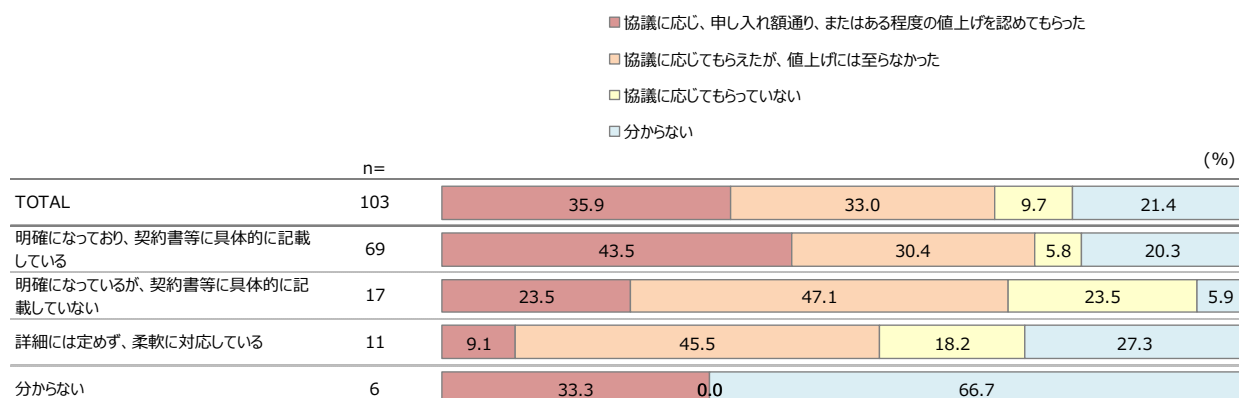


(%)

	n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらっていない	分からない
TOTAL	103	35.9	33.0	9.7	21.4
梱包・包装/流通加工	18	55.6	33.3	5.6	5.6
荷役/ピッキング	65	33.8	32.3	9.2	24.6
在庫管理・受発注業務/その他	20	25.0	35.0	15.0	25.0

図表 IV-2-2②. 受託（請負）料金値上げ申し入れに対する発注者の対応

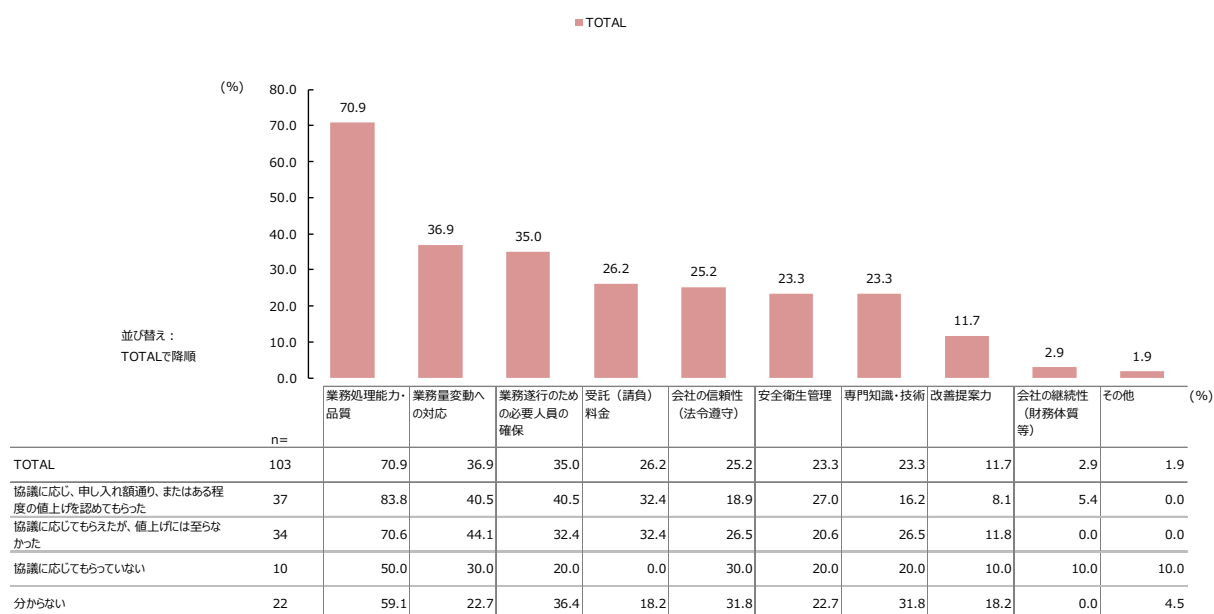
【受託（請負）業務の内容・範囲の明確化別】



(%)

	n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらっていない	分からない
TOTAL	103	35.9	33.0	9.7	21.4
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	69	43.5	30.4	5.8	20.3
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	17	23.5	47.1	23.5	5.9
詳細には定めず、柔軟に対応している	11	9.1	45.5	18.2	27.3
分からない	6	33.3	0.0	0.0	66.7

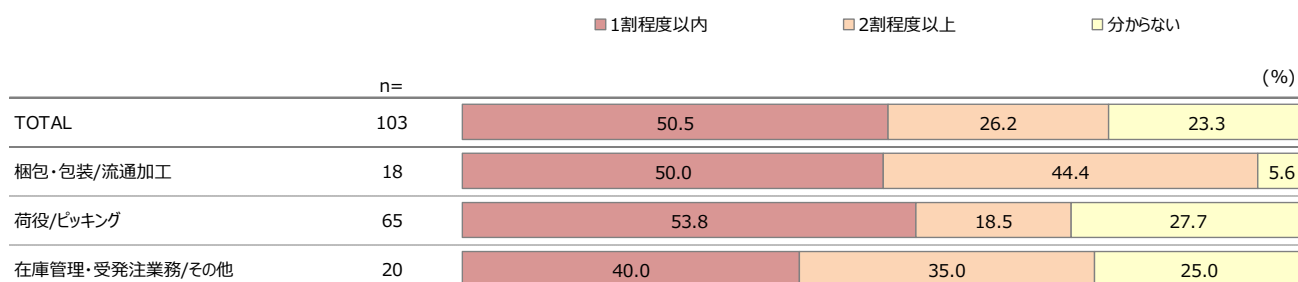
図表 IV-2-2③. 受注のためのアピールポイント【受託（請負）料金値上げ申し入れに対する発注者の対応別】



3. 労働者の定着

(1) 受託者

図表 IV-3-1①. 受託（請負）業務の従業員の採用後 1 年以内の離職状況【受託（請負）業務区分別】

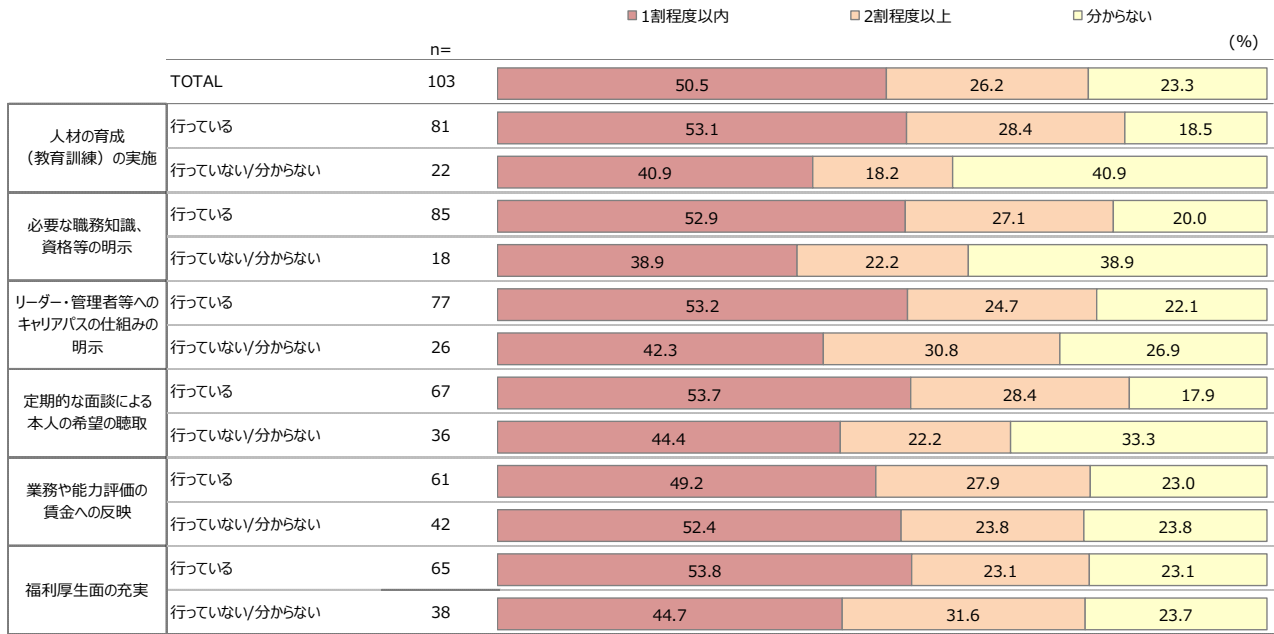


(%)

	n=	1割程度以内	2割程度以上	分からない
TOTAL	103	50.5	26.2	23.3
梱包・包装/流通加工	18	50.0	44.4	5.6
荷役/ピッキング	65	53.8	18.5	27.7
在庫管理・受発注業務/その他	20	40.0	35.0	25.0

図表 IV-3-1②. 受託（請負）業務の従業員の採用後 1 年以内の離職状況

【受託（請負）業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組み別】

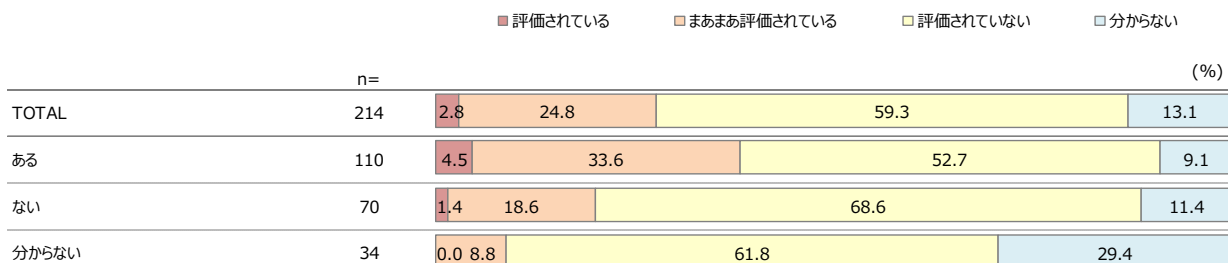


(%)

		n=	1割程度以内	2割程度以上	分からない
TOTAL		103	50.5	26.2	23.3
人材の育成 （教育訓練） の実施	行っている	81	53.1	28.4	18.5
	行っていない/分からない	22	40.9	18.2	40.9
必要な職務知識、 資格等の明 示	行っている	85	52.9	27.1	20.0
	行っていない/分からない	18	38.9	22.2	38.9
リーダー・管理者 等へのキャリアパ スの仕組みの明 示	行っている	77	53.2	24.7	22.1
	行っていない/分からない	26	42.3	30.8	26.9
定期的な面談 による本人の希 望の聴取	行っている	67	53.7	28.4	17.9
	行っていない/分からない	36	44.4	22.2	33.3
業務や能力評価 の賃金への反 映	行っている	61	49.2	27.9	23.0
	行っていない/分からない	42	52.4	23.8	23.8
福利厚生面の 充実	行っている	65	53.8	23.1	23.1
	行っていない/分からない	38	44.7	31.6	23.7

(2) 労働者

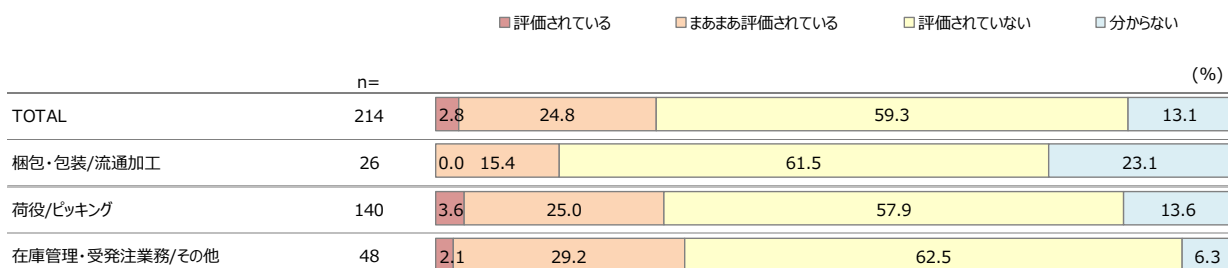
図表 IV-3-2①. 評価の処遇への反映 【昇給の仕組みの有無別】



(%)

	n=	評価されている	まあまあ評価されている	評価されていない	分からない
TOTAL	214	2.8	24.8	59.3	13.1
ある	110	4.5	33.6	52.7	9.1
ない	70	1.4	18.6	68.6	11.4
分からない	34	0.0	8.8	61.8	29.4

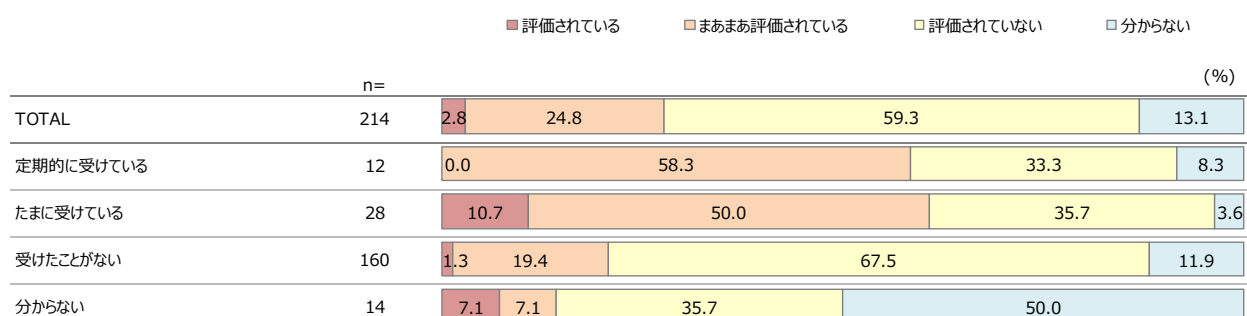
図表 IV-3-2②. 評価の処遇への反映 【従事業務区分別】



(%)

	n=	評価されている	まあまあ評価されている	評価されていない	分からない
TOTAL	214	2.8	24.8	59.3	13.1
梱包・包装/流通加工	26	0.0	15.4	61.5	23.1
荷役/ピッキング	140	3.6	25.0	57.9	13.6
在庫管理・受発注業務/その他	48	2.1	29.2	62.5	6.3

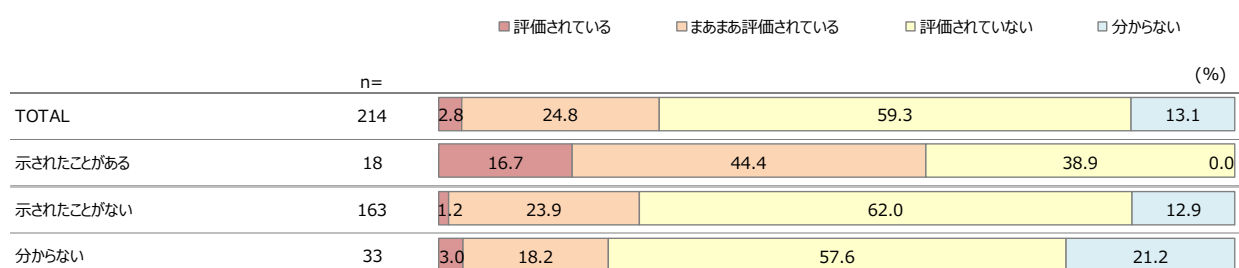
図表 IV-3-2③. 評価の処遇への反映【キャリア面談を受けた経験別】



(%)

	n=	評価されている	まあまあ評価されている	評価されていない	分からない
TOTAL	214	2.8	24.8	59.3	13.1
定期的に受けている	12	0.0	58.3	33.3	8.3
たまに受けている	28	10.7	50.0	35.7	3.6
受けたことがない	160	1.3	19.4	67.5	11.9
分からない	14	7.1	7.1	35.7	50.0

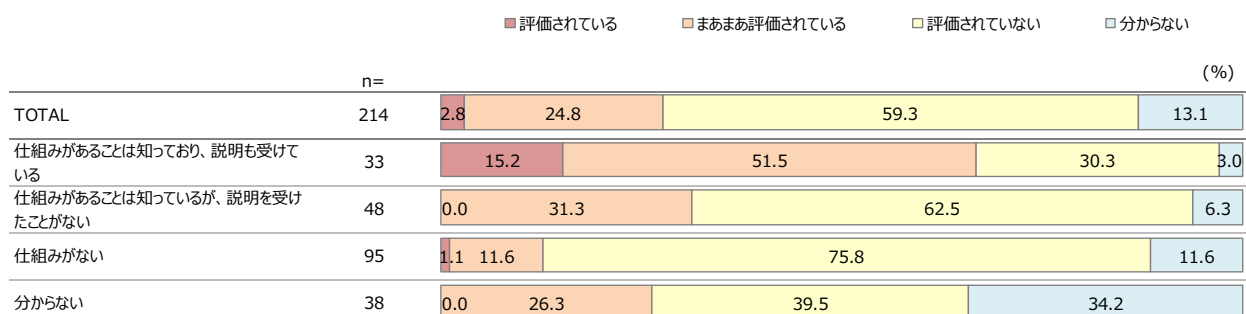
図表 IV-3-2④. 評価の処遇への反映【キャリアパスの提示別】



(%)

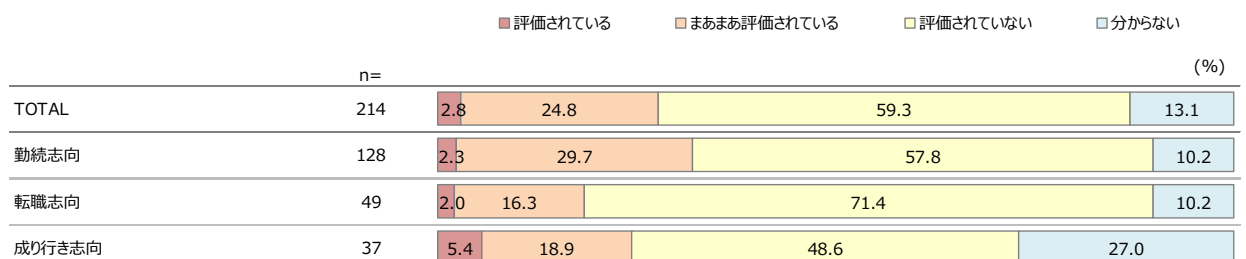
	n=	評価されている	まあまあ評価されている	評価されていない	分からない
TOTAL	214	2.8	24.8	59.3	13.1
示されたことがある	18	16.7	44.4	38.9	0.0
示されたことがない	163	1.2	23.9	62.0	12.9
分からない	33	3.0	18.2	57.6	21.2

図表 IV-3-2⑤. 評価の処遇への反映【評価の仕組みの整備・説明状況別】



	n=	(%)			
		評価されている	まあまあ評価されている	評価されていない	分からない
TOTAL	214	2.8	24.8	59.3	13.1
仕組みがあることは知っており、説明も受けている	33	15.2	51.5	30.3	3.0
仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない	48	0.0	31.3	62.5	6.3
仕組みがない	95	1.1	11.6	75.8	11.6
分からない	38	0.0	26.3	39.5	34.2

図表 IV-3-2⑥. 評価の処遇への反映【今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望別】



	n=	(%)			
		評価されている	まあまあ評価されている	評価されていない	分からない
TOTAL	214	2.8	24.8	59.3	13.1
勤続志向	128	2.3	29.7	57.8	10.2
転職志向	49	2.0	16.3	71.4	10.2
成り行き志向	37	5.4	18.9	48.6	27.0

(注)上記の各志向と回答選択肢の関係は次のとおり。

設問 24 の回答選択肢のうち、「6.他社で働きたい」と回答した者を「転職志向」とし、「8.特にない」と回答した者を「成り行き志向」として、残り回答選択肢の「1.物流現場で一般作業員として働きたい」～「5.現在、在籍する会社の他の現場で働きたい」、「7.その他」と回答した者を「勤続志向」とした。

(参考) 調査票

1. スクリーニング票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。 1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。 1. 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたのお仕事についてお伺いします。 あなたの職業をお答えください。 ※複数の職業にあてはまる方は、主に業務を行っている職業を1つお選びください。 1. 会社員・公務員等（正社員・正職員） 2. 会社員・公務員等（契約・嘱託） 3. 会社員・公務員等（派遣） 4. 会社員・公務員等（臨時・その他） 5. 経営者・会社役員 6. 医師・弁護士・公認会計士 7. 農林漁業 8. 自営業（SOHOを含む） 9. 学生（高校、高専、専門学校、短期大学、大学、大学院） 10. 受験浪人（予備校生、自宅浪人等） 11. 専業主婦／主夫 12. パート・アルバイト 13. 無職 14. その他
回答者条件 : Q3の選択肢『1.会社員・公務員等...』～『5.経営者・会社役員』、『12.パート・アルバイト』の中でいずれかを選択した 表示形式 : ラジオボタン Q4 SA 必	あなたのお仕事についてお伺いします。 あなたの役職をお答えください。 ※複数の役職にあてはまる方は、主に業務を行っている役職を1つお選びください。 1. 一般クラス（正社員） 2. 一般クラス（契約社員、派遣、パート・アルバイト、臨時等） 3. 主任クラス（リーダー等） 4. 係長クラス 5. 課長クラス 6. 部長クラス 7. 経営・役員クラス

回答者条件 : Q4の選択肢『1.一般クラス（正社員）』～『7.経営・役員クラス』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA

必

あなたのお仕事についてお伺いします。

あなたが勤務している事業所のおよその従業員数をお答えください。

※本社も事業所の一つとみなしてお答えください。

1. 3人未満
2. 3～10人未満
3. 10～30人未満
4. 30～50人未満
5. 50～100人未満
6. 100～300人未満
7. 300～500人未満
8. 500～1,000人未満
9. 1,000人以上
10. わからない

回答者条件 : Q5の選択肢『1.3人未満』～『9.1,000人以上』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA

必

あなたのお仕事についてお伺いします。

あなたの会社の業種をお答えください。

※複数の業種にあてはまる方は、主に業務を行っている業種を1つお選びください。

1. 農業、林業、漁業
2. 鉱業、採石業、砂利採取業
3. 建設業
4. 製造業
5. 電気・ガス・熱供給・水道業
6. 情報通信業
7. 運輸業（鉄道・道路・水運・航空）、郵便業 ※「物流業」は除く
8. 物流業（梱包・倉庫・荷役）
9. 卸売業、小売業
10. 金融業、保険業
11. 不動産業、物品賃貸業
12. 学術研究、専門・技術サービス業
13. 宿泊業、飲食サービス業
14. 生活関連サービス業、娯楽業
15. 教育、学習支援業
16. 医療、福祉
17. 複合サービス事業（郵便局、協同組合）
18. サービス業（他に分類されないもの）
19. 公務
20. 分類不能の産業

回答者条件 : Q5の選択肢『1.3人未満』～『9.1,000人以上』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q7

SA

必

あなたのお仕事についてお伺いします。

現在、あなたは物流業務（輸送、梱包、荷役、ピッキング、在庫管理、受発注業務等）に関与していますか。

1. いる
2. いない

回答者条件 : Q7の選択肢『1.いる』を選択した

Q8

MA

必

あなたが関与している物流業務についてお伺いします。

現在、あなたが関与している具体的な物流業務はどちらですか。あてはまるもの、すべてお答えください。

1. 輸送・配送
2. 梱包・包装
3. 荷役（入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等）
4. ピッキング
5. 流通加工（値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等）
6. 在庫管理、受発注業務
7. その他（上記にあてはまるものがない）

回答者条件 : Q8の選択肢『2.梱包・包装』～『7.その他（上記にあ...』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q9

SA

必

あなたが関与している物流業務についてお伺いします。

あなたが関与している物流業務の運営についてお聞きします。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

※発注（委託）には人材派遣を含む

1. 物流業務の全部または一部を他社への発注（委託）と他社からの請負（受託）の両方を行っている
2. 物流業務の全部または一部を他社に発注（委託）のみしている
3. 物流業務の全部または一部を他社から請負って（受託して）いるのみ
4. あてはまるものはない・分からない

回答者条件 : Q9の選択肢『1.物流業務の全部ま...』、『2.物流業務の全部ま...』の中でいずれかを選択した

Q10

MA

必

物流業務の全部または一部を、「他社への発注（委託）と他社からの請負（受託）の両方を行っている」または「他社に発注（委託）」と答えた方にお伺いします。

あなたの会社が他社に発注(委託)している物流業務はどちらですか。あてはまるもの、すべてお答えください。

1. 輸送・配送
2. 梱包・包装
3. 荷役（入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等）
4. ピッキング
5. 流通加工（値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等）
6. 在庫管理、受発注業務
7. その他（上記にあてはまるものがない）

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q11

MTM

必

前問でお答えになった「あなたの会社が他社に発注(委託)している物流業務」について伺います。

発注(委託)しているそれぞれの業務は、どちらで常駐して行われていますか。

===== 項目 =====

1. 梱包・包装
2. 荷役(入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等)
3. ピッキング
4. 流通加工(値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等)
5. 在庫管理、受発注業務
6. その他

===== 選択肢 =====

1. 自社の倉庫・物流センター等
2. 自社の工場
3. 自社の店舗
4. 発注(委託)先の倉庫・物流センター等
5. その他

矛盾 6. わからない

回答者条件 : Q9の選択肢『1.物流業務の全部ま...』、『3.物流業務の全部ま...』の中でいずれかを選択した

Q13

MA

必

物流業務の全部または一部を、「他社から請負(受託)」または「他社への発注(委託)と他社からの請負(受託)の両方を行っている」と答えた方にお伺いします。

あなたの会社が他社(発注者)から請負っている物流業務はどちらですか。あてはまるもの、すべてお答えください。

1. 輸送・配送
2. 梱包・包装
3. 荷役(入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等)
4. ピッキング
5. 流通加工(値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等)
6. 在庫管理、受発注業務
7. その他(上記にあてはまらないもの)

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q14

MTM

必

前問でお答えになった「あなたの会社が他社(発注者)から請負っている物流業務」について伺います。

請負っているそれぞれの業務は、どちらで常駐して行われていますか。

===== 項目 =====

1. 梱包・包装
2. 荷役(入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等)
3. ピッキング
4. 流通加工(値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等)
5. 在庫管理、受発注業務
6. その他

===== 選択肢 =====

1. 自社の倉庫・物流センター等
2. 発注(委託)元の倉庫・物流センター等
3. 発注(委託)元の工場
4. 発注(委託)元の店舗
5. その他

矛盾 6. わからない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

MTS



前問でお答えになった「あなたの会社が他社（発注者）から請負っている物流業務」について何
います。

その業務を請け負っているのは、どのくらいの期間続いていますか。

※（ ）内の業務を複数実施している場合には、最長のものをお答えください。

===== 項目 =====

1. 梱包・包装
2. 荷役（入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等）
3. ピッキング
4. 流通加工（値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等）
5. 在庫管理、受発注業務
6. その他

===== 選択肢 =====

1. 3カ月未満
2. 3カ月～6カ月未満
3. 6カ月～1年未満
4. 1年～3年未満
5. 3年以上

2. 本調査_発注者票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 QX1 THR 非	あなたは、事前のアンケートで、 「物流業務の全部または一部を他社に委託（発注）している」 とお答えになりました。本アンケートでは、その「委託（発注）業務」についてうかがいます。 合紙 【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。 1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。 1. 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたの会社の年間のおよその売上高について、該当するものを1つ選んでください。 1. 10億円未満 2. 10～50億円未満 3. 50～100億円未満 4. 100～500億円未満 5. 500～1,000億円未満 6. 1,000億円以上
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q4 SA 必	あなたの会社の正社員（契約社員・パート社員等有期契約者を除く）のおよその人数について、該当するものを1つ選んでください。 1. 10人未満 2. 10～50人未満 3. 50～100人未満 4. 100～300人未満 5. 300～500人未満 6. 500～1,000人未満 7. 1,000～3,000人未満 8. 3,000人以上 9. 分からない

回答者条件 : HQ5の選択肢全ての中でいずれかを選択した

Q5

MTX

必

あなたは事前のアンケートで、物流業務の全部または一部を他社に委託（発注）している業務として、次をお答えになりました。

%%#HQ5D
%%

（あなたの事業所内・構内・店舗/発注（委託）先の構内で、常駐して行われている業務）

これらの委託（発注）業務についてうかがいます。

あなたが関わっている委託業務についてうかがいます。

※選択肢が1つしか表示されない場合は、その選択肢を選んでお進みください。

===== 項目 =====

1. あなたが関わっている委託業務（いくつでも）

MA

2. あなたが関わっている委託業務の中で、人数が最も多い業務（1つだけ）

SA

===== 選択肢 =====

1. 梱包・包装

2. 荷役（入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等）

3. ピッキング

4. 流通加工（値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等）

5. 在庫管理、受発注業務

6. その他物流に関する業務

回答者条件 : Q5の項目『1.あなたが関わって...』の選択肢全ての中でいずれかを選択した

Q6

NF

前問で回答いただいた、あなたが関わっている委託業務全体で、自社の直接雇用の社員（パート・アルバイト等含む）の人数、自社で受け入れている派遣労働者の人数、他社に委託している業務の人数について、それぞれの割合を教えてください。

合計が100%になるように、それぞれの項目におよその割合の数字を整数で入力してください。

合計は自動で計算されます。

自社の直接雇用の社員の人数の割合：

1. %

自社で受け入れている派遣労働者の人数の割合：

2. %

他社に委託している業務の人数の割合：

3. %

回答者条件 : Q5の項目『1.あなたが関わって...』の選択肢全ての中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q7

SA

必

◆Q5で回答いただいた、あなたが関わっている他社に委託している業務全体（以下では「委託業務」と表記します）について、以下の質問にお答えください。

委託業務には、委託先の従業員がおよそ何人くらい従事していますか。該当するものを1つ選んでください。

※委託先が複数ある場合も、すべて合計したおよその人数をお答えください。

1. 3人未満

2. 3～10人未満

3. 10～30人未満

4. 30～50人未満

5. 50～100人未満

6. 100～300人未満

7. 300～500人未満

8. 500～1,000人未満

9. 1,000人以上

10. 分からない

回答者条件 : 全員

Q8

MA

必

委託業務の委託先のタイプを教えてください。該当するものを選んでください。(複数回答可)

(※) 3PL(third party logistics)事業者とは、保管や輸配送、荷役、輸出入、物流コンサルといった個別の物流サービスだけではなく 物流全体を一括して請負うことで、調達から生産、販売といった物流全体の最適化・効率化の実現サービスを提供する事業者。

1. グループ内の物流子会社
2. 3PL事業者 (※)
3. 物流事業者 (運輸、保管、荷役、流通加工、包装等の請負事業者)
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q9

SA

必

委託業務は、主にどこで行われていますか。該当するものを1つを選んでください。

1. 自社の工場構内
2. 自社の物流施設内(倉庫・物流センター)
3. 委託先の物流施設内(倉庫・物流センター)
4. 自社の店舗内
5. その他

回答者条件 : 全員

選択回数制限 : 3個 以下

Q10

MA

必

業務を他社に委託する目的として、特に重要視しているものを次の中から、最大3つまで選んでください。

1. 人件費・管理コストの軽減
2. 固定費の変動費化
3. 業務量変動への対応
4. 人材不足への対応
5. 雇用リスクの回避
6. 品質・作業効率の向上
7. 経営資源・人材の有効活用
8. グループ経営への貢献
9. IT化、自動化等、技術革新の進展への対応
10. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q11

SA

必

前問で選んだ目的 「%%#Q10%%」 は、達成されていると感じていますか。複数の目的を重要視している場合は総合的な評価をお答えください。

1. 大いに感じている
2. 感じている
3. あまり感じていない
4. 感じていない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q12

MA

必

委託先を選定する際に、重視するポイントを次の中から、最大3つまで選んでください。

1. 業務処理能力・品質
2. 委託料金
3. 業務遂行のための必要人員の確保
4. 業務量変動への対応
5. 安全衛生管理
6. 専門知識・技術
7. 改善提案力
8. 会社の信頼性（法令遵守）
9. 会社の継続性（財務体質等）
10. その他

回答者条件 : 全員

Q13

MA

必

委託業務に関し、自社の従業員は、委託先にどのように指示を行っていると思いますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 委託先の責任者に指示を行っていると思う
2. 委託先の従業員に、委託先の責任者立会いの下で指示を行うことがあると思う
3. 委託先の従業員に、直接指示を行うことがあると思う
4. 指示は行わず、委託先に任せていると思う
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q14

SA

必

委託業務の内容、範囲は明確になっていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 明確になっており、契約書等に具体的に記載している
2. 明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない
3. 詳細には定めず、柔軟に対応している
4. 分からない

回答者条件 : Q14の選択肢『1.明確になっており...』を選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q15

SA

必

委託業務の内容・範囲が変わったとき、契約書等の見直し、変更を行っていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

1. その都度行っていると思う
2. 委託先から申し出があれば行っていると思う
3. 契約の更新時に行っていると思う
4. 契約を見直したり変更することはないと思う
5. そもそも業務内容が変わることがないと思う
6. 分からない

回答者条件 : 全員

Q16

MA

必

委託業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. 委託先の従業員だけで業務を行っている
2. 自社の従業員も一緒に業務を行っている現場がある
3. 自社の従業員も一緒に業務を行っている
4. その他

☒ 5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q17

SA

必

業務の委託に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならぬ』※ とあります。

あなたの関わる委託業務では、この通りに行われていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

※「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準を定める告示」(労働省告示第37号)

1. すべて基準通りに行っていると思う
2. 一部を除き、基準通りに行っていると思う
3. 基準があることは知っているが、行っていないと思う
4. 基準があることも知らないで、行っていないと思う
5. 分からない

回答者条件 : 全員

Q18

MA

必

委託業務の料金設定、支払い方法はどのようになっていますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. 事前に取り決めた委託(請負)単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている(個建て制度)
2. 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数(人数×時間)を乗じて委託料金を支払っている(人工制度)
3. 商品の金額や在庫・入出荷金額をベースに、事前に取り決めた料率を乗じて支払っている(通過額フィー率制度)
4. 料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている
5. その他

☒ 6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q19

SA

必

委託業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、委託料金(単価)はどうしていますか。その対応について、該当するものを1つ選んでください。

1. 変えない
2. 変えないことが多い
3. 減らすことが多い
4. 減らす
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q20

SA

必

委託先から委託料金の値上げの申し入れがあった場合、どのように対応しますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 協議に応じ、値上げを行うことがある
2. 協議には応じるが、値上げの可能性は低い
3. 協議には応じるかどうか分からない
4. 協議には応じない可能性が高い
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q21

MTS

必

安全衛生管理に関し、委託先との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 安全衛生委員会等への委託先の参加（合同開催を含む）
2. 職場巡視、安全パトロールへの委託先の参加（合同実施を含む）
3. 委託先への情報（事故、注意喚起等）の提供

===== 選択肢 =====

1. 行っている
2. 行っていない
3. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q22

SA

必

委託している業務が、偽装請負にならないための基準があることを知っていますか。該当するものを1つ選んでください。

※ 偽装請負とは、請負事業と称しながらも、実態として、労働者派遣事業や労働者供給事業に該当する場合をいいます。（告示第37号）

1. 基準があることも内容も知っている
2. 基準があることを聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない
3. まったく知らない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q23

SA

必

あなたの関わる委託業務に関し、偽装請負への不安はありますか。該当するものを1つ選んでください。

1. ある
2. 多少ある
3. ない
4. 意識したことがない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q24

SA

必

◆以降は、貴事業所の物流業務全般についてお答えください。

貴事業所の物流業務全般に関し、他社への委託が今後どのようになるとお考えですか。該当するものを1つ選んでください。

1. 他社への委託が増える
2. 他社への委託が減る
3. 現状と変わらない
4. 分からない

回答者条件 : Q24の選択肢『1.他社への委託が増える』を選択した

選択個数制限 : 3個 以下

Q25

MA

必

前問で、「他社への委託が増える」と答えた方にお聞きします。その理由として考えられるものを最大3つまでお答えください。

1. 取扱量（物量）の増加
2. 人件費・管理コストの軽減
3. 固定費の変動費化
4. 業務量変動への対応
5. 人材不足への対応
6. 雇用リスクの回避
7. 品質・生産性の向上
8. 経営資源・人材の有効活用
9. グループ経営への貢献
10. 事業（物流）戦略の転換（外注化、物流業務の移管など）
11. IT化、自動化、デジタル化等、技術革新への対応
12. 派遣から業務委託への転換
13. その他

回答者条件 : Q24の選択肢『2.他社への委託が減る』を選択した

選択個数制限 : 3個 以下

Q26

MA

必

前問で、「他社への委託が減る」と答えた方にお聞きします。その理由として考えられるものを最大3つまでお答えください。

1. 取扱量（物量）の減少
2. 委託（外注）費の削減
3. 業務量平準化による内製化
4. 自社社員の余剰人員の活用
5. コンプライアンスの徹底
6. 品質・生産性の向上
7. 知識・技能・ノウハウの蓄積
8. 経営資源・人材の有効活用
9. グループ経営からの脱却
10. 事業（物流）戦略の転換（内製化、物流業務の事業化など）
11. IT化、自動化、デジタル化等、技術革新への対応
12. 業務委託から派遣への転換
13. その他

回答者条件： 全員

Q27

MA

必

貴事業所の物流業務全般に関し、今後、IT化、自動化、デジタル化の導入を進めて行きたいと考えている業務を教えてください。（複数回答可）

※《IT化、自動化、デジタル化の例》

自動倉庫、自動包装機、無人搬送機、デジタルピッキング、倉庫・在庫管理システム（WMS）、自動仕分けシステム、ピッキングロボット、RFID（電子タグ）等

1. 梱包・包装
2. 荷役（入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等）
3. ピッキング
4. 流通加工（値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等）
5. 在庫管理、受発注業務
6. その他

☒ 7. 特にない

3. 本調査_受託者票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 QX1 THR 非	あなたは、事前のアンケートで、 「物流業務の全部または一部を他社から受託（請負）している」 とお答えになりました。本アンケートでは、その「受託（請負）業務」についてうかがいます。 合紙 【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。 1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。 1. 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたの会社の年間のおよその売上高について、該当するものを1つ選んでください。 ※複数のお勤め先がある方は、主に業務を行っているお勤め先について該当するものを1つ選んでください。（以降の設問も主な業務についてお答えください。） 1. 1億円未満 2. 1～5億円未満 3. 5～10億円未満 4. 10～50億円未満 5. 50～100億円未満 6. 100億円以上 7. 分からない
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q4 SA 必	あなたの会社の従業員（契約社員・パート社員等定期契約者を除く）のおよその人数について、該当するものを1つ選んでください。 1. 10人未満 2. 10～50人未満 3. 50～100人未満 4. 100～300人未満 5. 300～500人未満 6. 500～1,000人未満 7. 1,000～3,000人未満 8. 3,000人以上 9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA

必

あなたが所属している会社は、どこに該当するか教えてください。該当するものを1つ選んでください。

(※) 3PL(third party logistics)事業者とは、保管や輸配送、荷役、輸出入、物流コンサルといった個別の物流サービスだけではなく 物流全体を一括して請負うことで、調達から生産、販売といった物流全体の最適化・効率化の実現サービスを提供する事業者。

1. 発注者のグループ内の物流子会社
2. 3PL事業者(※)
3. 物流事業者(運輸、保管、荷役、流通加工、包装等の請負事業者)
4. その他

回答者条件 : HQ6の選択肢全ての中でいずれかを選択した

Q6

MTX

必

あなたは事前のアンケートで、物流業務の全部または一部を他社から受託(請負)している業務として、次をお答えになりました。

%%#HQ6D
%%

(発注者の事業所内・構内で、常駐して行われている業務)

これらの受託(請負)業務についてうかがいます。

あなたが関わっている他社から請負っている業務についてうかがいます。

※選択肢が1つしか表示されない場合は、その選択肢を選んでお進みください。

===== 項目 =====

1. あなたが関わっている他社から請負っている業務(いくつでも) MA
2. あなたが関わっている他社から請負っている業務の中で、人数が最も多い業務(1つだけ) SA

===== 選択肢 =====

1. 梱包・包装
2. 荷役(入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等)
3. ピッキング
4. 流通加工(値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等)
5. 在庫管理、受発注業務
6. その他物流に関する業務

回答者条件 : Q6の項目『1.あなたが関わって...』の選択肢全ての中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q7

SA

必

前問で回答いただいた、あなたが関わっている他社から請負っている業務全体(以下では「請負業務」と表記します)について、以下の質問にお答えください。

請負業務は、全体で何人くらいで行っていますか(自社で使用している派遣労働者を含む)。およその人数について、該当するものを1つ選んでください。

1. 3人未満
2. 3~10人未満
3. 10~30人未満
4. 30~50人未満
5. 50~100人未満
6. 100~300人未満
7. 300~500人未満
8. 500~1,000人未満
9. 1,000人以上
10. 分からない

回答者条件 : Q6の項目『1.あなたが関わって...』の選択肢全ての中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q8

SA

必

Q7で回答いただいた人数の中で、有期雇用者（派遣労働者を除く）の占める割合は、およそどれくらいですか。該当するものを1つ選んでください。

※有期雇用者とは、パート、アルバイト、嘱託などの呼称にかかわらず、期間の定めのある労働者。

1. 有期雇用者はいない
2. 1割未満
3. 1～3割未満
4. 3～5割未満
5. 5～7割未満
6. 7～9割未満
7. 9割以上
8. すべて有期雇用者
9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q9

SA

必

請負業務は主にどこで行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 発注者の工場構内
2. 発注者の物流施設内(倉庫・物流センター)
3. 自社の物流施設内(倉庫・物流センター)
4. 発注者の店舗内
5. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q10

SA

必

請負業務をどのように処理しているのか、該当するものを1つ選んでください。

1. すべて自社で処理している
2. 一部を外部に委託している
3. すべて外部に委託している
4. 分からない

回答者条件 : 全員

Q11

MA

必

現在、請負っている業務に関し、発注者(荷主)は自社の従業員に対してどのように指示を行っていると思いますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. 発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う
2. 発注者が自社の従業員に、自社の責任者立会いの下で、指示を行うことがあると思う
3. 発注者が自社の従業員に直接指示を行うことがあると思う
4. 発注者は指示は行わず、自社に任せていると思う
5. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q12

SA

必

請負業務の内容、範囲は、明確になっていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 明確になっており、契約書等に具体的に記載している
2. 明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない
3. 詳細には定めず、柔軟に対応している
4. 分からない

回答者条件 : Q12の選択肢『1.明確になっており...』を選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q13

SA

必

請負業務の内容・範囲が変わったとき、契約書等の見直し、変更が行われていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

1. その都度行われていると思う
2. 委託先から申し出があれば行われていると思う
3. 契約の更新時に行われていると思う
4. 契約を見直したり変更することはないと思う
5. そもそも業務内容が変わることがないと思う
6. 分からない

回答者条件 : 全員

Q14

MA

必

請負業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. 自社の従業員だけで業務を行っていると思う
2. 発注者の従業員も一緒に業務を行っている職場があると思う
3. 発注者の従業員も一緒に業務を行っていると思う
4. 他の請負事業者の従業員と一緒に業務を行っていると思う
5. その他
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

SA

必

業務の委託（請負）に関しては、国が定める基準に

『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならない』

とあります。あなたの関わる請負業務では、その通りに行われていると思いますか。該当するものを1つ選んでください。

※「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準を定める告示」（労働省告示第37号）

1. すべて基準通りに行っていると思う
2. 一部を除き、基準通りに行っていると思う
3. 基準があることは知っているが、行っていないと思う
4. 基準があることも知らないの、行っていないと思う
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q16

MTS

必

安全衛生管理に関し、発注者（委託元）との情報共有、連携をどのように行っているか、それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 発注者(委託元) の安全衛生委員会等への参加（合同開催を含む）
2. 発注者(委託元) の職場巡視、安全パトロールへの参加（合同実施を含む）
3. 発注者(委託元) への情報（事故、注意喚起等）の提供

===== 選択肢 =====

1. 行っている
2. 行っていない
3. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q17

SA

必

偽装請負とならないために、国が定めた基準があることを知っていますか。該当するものを1つ選んでください。

※ 偽装請負とは、請負事業と称しながらも、実態として、労働者派遣事業や労働者供給事業に該当する場合をいいます。（労働省告示第37号）

1. 基準があることも内容も知っている
2. 基準があることを聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない
3. まったく知らない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q18

SA

必

あなたの関わる請負業務に関し、偽装請負への不安はありますか。該当するものを1つ選んでください。

1. ある
2. 多少ある
3. ない
4. 意識したことがない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

Q19

MA

必

請負業務の急激な発注量の変動に対応するための仕組みの内容について、該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 発注量の正確な情報を事前に入手できる関係性を発注者と築けている
2. 事業所間（本社含む）の応援体制等、柔軟に人のやりくりができる体制を整えている
3. 急激な物量増に対応できる協力会社（委託、派遣）を複数持っている
4. 変形労働時間制、短時間勤務、シフト勤務等、労働時間を柔軟にコントロールできる制度を設けている
5. 急激な減少の場合、一定の条件の下で、営業補償をもらえる仕組みがある
6. その他
7. 特になし

回答者条件 : 全員

Q20

MA

必

請負業務の料金設定、請求方法がどのようになっていますか。該当するものを選んでください。
(複数回答可)

1. 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している (個建て制度)
2. 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛った工数 (人数×時間) を乗じて請負料金を請求している (人工制度)
3. 商品の金額や在庫・入出荷金額をベースに、事前に取り決めされた料率を乗じて請求している (通過額フィー率制度)
4. 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
5. その他
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q21

SA

必

請負業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、請負料金 (単価) はどのようになることが多いですか。主に該当するものを1つ選んでください。

1. 変わらない
2. 変わらないことが多い
3. 減ることが多い
4. 減る
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q22

SA

必

発注者に請負料金値上げの申し入れを行ったとき、発注者はどのような対応でしたか。直近の場合で教えてください。該当するものを1つ選んでください。

1. 協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった
2. 協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった
3. 協議に応じてもらえなかった
4. 値上げを申し入れたことはない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q23

MA

必

請負業務を受注するために、発注者へアピールできるポイントを次の中から、最大3つまで選んでください。

1. 業務処理能力・品質
2. 受託 (請負) 料金
3. 業務遂行のための必要人員の確保
4. 業務量変動への対応
5. 安全衛生管理
6. 専門知識・技術
7. 改善提案力
8. 会社の信頼性 (法令遵守)
9. 会社の継続性 (財務体質等)
10. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q24

SA

必

請負業務の従業員が採用後1年以内に離職するおおよその割合（有期の雇用契約の満了によるものも含む）を教えてください。該当するものを1つ選んでください。

1. 1割未満
2. 1割程度
3. 2割程度
4. 3割程度
5. 4割程度
6. 5割以上
7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q25

MTS

必

請負業務の従業員の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 人材の育成（教育訓練）の実施
2. 必要な職務知識、資格等の明示
3. リーダー・管理者等へのキャリアパスの仕組みの明示
4. 定期的な面談による本人の希望の聴取
5. 業務や能力評価の賃金への反映
6. 福利厚生面の充実
7. その他

===== 選択肢 =====

1. 行っている
2. 概ね行っている
3. あまり行っていない
4. 行っていない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

Q26

MA

必

請負業務の従業員に今後、実施したい研修はどのようなものですか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 現場改善に役立つ研修
2. スキル、能力が高まる研修
3. IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修
4. 現場管理者やリーダーを育てる研修
5. 物流の基本的な知識を習得させる研修
6. 安全衛生の研修
7. その他

☒ 8. 分からない

回答者条件 : 全員

Q27

MA

必

請負の職場において、人事、労務管理で、特に困っていることがありますか。該当するものを選んでください。（複数回答可）

1. 労働時間の管理（長時間労働等）
2. 社会保険、労働保険の加入
3. 労働災害の発生
4. 発注者（委託元）からのパワハラ、セクハラ
5. その他
6. 特にない

矛

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q28

MA

必

受託（請負）業務を進めていく上で、
「取引、料金、受託（請負）契約」
「業務運営、職場」
「人事、労務、組織」

これら3つの視点ごとに、問題、課題と思われるものを、それぞれ最大3つまで選んでください。

取引、料金、受託（請負）契約について（最大3つまで）

1. 契約の期間が短い
2. 直前の中途解約が多い
3. 損害賠償等不利な条件で契約を締結している
4. 定期的にコストダウンを要請される
5. 受託（請負）料金の見直し交渉に応じてもらえない
6. 料金の請求から支払いまでの期間（支払サイト）が長い
7. 同業者間の値下げ競争（ダンピング）が激しい
8. 多重下請契約になっている
9. その他
10. 特にない

矛

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q29

MA

必

受託（請負）業務を進めていく上で、
「取引、料金、受託（請負）契約」
「業務運営、職場」
「人事、労務、組織」

これら3つの視点ごとに、問題、課題と思われるものを、それぞれ最大3つまで選んでください。

業務運営、職場について（最大3つまで）

1. 作業環境（福利厚生施設含む）が良くない・改善しにくい
2. 生産性向上が思うように進まない
3. 業務量の極端な変動、頻繁な計画変更等に苦慮している
4. 発注者とのコミュニケーションがとりづらい・取れていない
5. 従業員のコンプライアンス徹底（守秘義務等）に苦慮している
6. その他
7. 特にない

矛

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q30

MA

必

受託（請負）業務を進めていく上で、
「取引き、料金、受託（請負）契約」
「業務運営、職場」
「人事、労務、組織」

これら3つの視点ごとに、問題、課題と思われるものを、それぞれ最大3つまで選んでください。

人事、労務、組織について（最大3つまで）

1. 働き方改革関連法への対応によるコストが増えている
2. 人材の確保が難しい
3. 受託（請負）職場の従業員の定着率が低い
4. 教育研修、訓練が行える環境が整わず、長期的な人材の育成ができない
5. 自社の人事、配置換え等に発注者が関与してくる
6. 発注者からの人材の斡旋が来る（転籍・出向）
7. 安全衛生管理体制の組織化、強化が思うように進まない
8. 外国人労働者の活用が難しい
9. その他
10. 特にない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q31

SA

必

今後、貴事業所が請負う物流関連業務の受注量は、どのようになるとお考えですか。該当するものを1つ選んでください。

1. 増える
2. 多少増える
3. 変わらない
4. 多少減る
5. 減る
6. 分からない

回答者条件 : 全員

Q32

MA

必

今後、IT化、自動化、デジタル化の導入を進めて行きたいと考えている物流関連の業務を教えてください。該当するものを選んでください。（複数回答可）

※《IT化、自動化、デジタル化の例》

自動倉庫、自動包装機、無人搬送機、デジタルピッキング、倉庫・在庫管理システム（WMS）、自動仕分けシステム、ピッキングロボット、RFID（電子タグ）等

1. 梱包・包装
2. 荷役（入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等）
3. ピッキング
4. 流通加工（値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等）
5. 在庫管理、受発注業務
6. その他
7. 特にない

4. 本調査_労働者票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 QX1 THR 非	あなたは、事前のアンケートで、 「物流業務の全部または一部を他社から受託（請負）している」 とお答えになりました。本アンケートでは、その「受託（請負）業務」について伺います。 合紙 【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別を教えてください。 1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。 1. 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたの現在の雇用形態について、当てはまるものを1つ選んでください。 ※複数の雇用形態にあてはまる方は、主に業務を行っている雇用形態を1つお選びください。 （以降の設問も主な業務についてお答えください。） 1. 正社員 2. 契約社員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. 嘱託員 6. その他
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q4 SA 必	あなたは、近い将来（2～5年後）に、どのような働き方（雇用契約）をしたいですか。当てはまるものを1つ選んでください。 1. 正社員 2. 契約社員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. 嘱託員 6. その他 7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA

必

あなたの現在の雇用契約の期間を教えてください。最も近いものを1つ選んでください。

1. 期間の定めなし（無期雇用）
2. 1日単位
3. 1週間単位
4. 1ヵ月単位
5. 3ヵ月単位
6. 6ヵ月単位
7. 1年単位
8. その他
9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA

必

現在の会社での勤続はおよそ何年になるか、教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 1年未満
2. 1年～3年未満
3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満
5. 10年以上

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q7

SA

必

あなたの役職を教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 一般クラス
2. リーダー、主任クラス
3. 監督者、現場責任者、係長クラス
4. 管理職
5. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q8

SA

必

あなたの1週間の所定労働時間を教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

※所定労働時間とは、就業規則や雇用契約書に記載されている始業時間から終業時間までの時間（休憩時間除く）のことです。

1. 20時間未満
2. 20時間～25時間未満
3. 25時間～30時間未満
4. 30時間～35時間未満
5. 35時間～40時間
6. 40時間以上
7. わからない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q9

SA

必

あなたが勤めている会社に、昇給の仕組み（勤続や人事評価などにより賃金上がる仕組み）はありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. ある
2. ない
3. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q10

SA

必

現在、あなたが主に従事している業務を1つ選んでください。

1. 梱包・包装：製品（商品）を保護、装飾（ラッピング）、持ち運びに便利にするために、段ボールや紙等を使って行う作業
2. 荷役作業：工場や物流センター等に納入された製品（部品・商品）の受取り、検品、運搬、棚入れ、仕分け、出荷等を行う作業
3. ピッキング：工場や物流センター等の保管場所から出荷伝票や注文書に基づいて、製品（部品・商品）を取り出して、集める作業
4. 流通加工：商品の出荷時に行われる作業で、値札・タグ付け、検針、ハンガー掛け、ラベル張り、箱詰め、袋詰め等を行う作業
5. 在庫管理、受発注業務：製品（商品・部品）の受注・出荷管理や在庫管理（倉庫管理）等の物流情報管理に携わる業務
6. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q11

SA

必

あなたが主に従事している業務は、どこで行われていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 発注者（顧客）の工場構内
2. 発注者（顧客）の物流施設内（倉庫・物流センター）
3. 自社の物流施設内（倉庫・物流センター）
4. 発注者（顧客）の店舗内
5. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q12

SA

必

あなたが主に従事している業務の内容、範囲は、明確になっていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 明確になっている
2. おおむね明確になっている
3. あまり明確になっていない
4. 明確になっていない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q13

SA

必

決められた業務の内容・範囲を越えて業務を行うことはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. 分からない

回答者条件 : 全員

Q14

MA

必

あなたが主に従事している業務の現場では、誰と一緒に働いていると思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 自社の従業員と一緒に働いていると思う
2. 自社が使っている派遣労働者と一緒に働いていると思う
3. 発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う
4. 発注者（顧客）が使っている派遣労働者と一緒に働いていると思う
5. 他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う
6. その他
7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

SA

必

あなたが主に従事している業務に関し、発注者（顧客）の従業員の方から直接指示を受けることがあると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. よくあると思う
2. たまにあると思う
3. ないと思う
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q16

SA

必

あなたが主に従事している業務の工程や現場において、IT化や自動化、デジタル化が進んでいますか。最も近いと思われるものを1つ選んでください。

※《IT化、自動化、デジタル化の例》

自動倉庫、自動包装機、無人搬送機、デジタルピッキング、倉庫・在庫管理システム（WMS）、自動仕分けシステム、ピッキングロボット、RFID（電子タグ）等

1. かなり進んでいると思う
2. ある程度進んでいると思う
3. あまり進んでいないと思う
4. まったく進んでいないと思う
5. 分からない

回答者条件 : Q16の選択肢『1.かなり進んでいる...』、『2.ある程度進んでい...』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q17

MTS

必

前問で、「かなり進んでいると思う」「ある程度進んでいると思う」と答えた方にお聞きします。

IT化や自動化、デジタル化により、あなたの仕事や働き方にはどのような影響がありますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 新たに勉強することが増えている。
2. 作業がやり易く、早くできるようになってきている。
3. 新しいやり方についていけるか不安。
4. 効率化が進んでくると、雇用が守られるか不安。
5. 仕事の難しさと給与等の処遇が結びついてない。
6. やりがい、モチベーションが上がらなくなってくる。

===== 選択肢 =====

1. そう思う
2. ある程度そう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

Q18

MA

必

現在あなたが在籍している会社で、これまでにどのような教育・研修を受けましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 現場改善に役立つ研修
2. 個人のスキル、能力がアップする研修
3. IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修
4. 現場管理者やリーダーになるための研修
5. 物流の基本的な知識を習得する研修
6. 安全衛生の研修
7. その他

☐ 8. 受けたことがない

☐ 9. 機会がなかった

回答者条件 : 全員

Q19

MA

必

あなたが今後受けた教育・研修はどれですか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 現場改善に役立つ研修
2. スキル、能力が高まる研修
3. IT化、自動化、デジタル化を見据えた研修
4. 現場管理者やリーダーになるための研修
5. 物流の基本的な知識が習得できる研修
6. 安全衛生の研修
7. その他

☐ 8. 特になし

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q20

SA

必

あなたは、現在あなたが在籍している会社から、これまでにキャリア面談を受けたことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

※キャリア面談とは、従業員の中長期的なキャリア形成とその実現に向けて話し合い、自律的な成長を促進する機会のことです。

1. 定期的に受けている
2. たまに受けている
3. 受けたことがない
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q21

SA

必

あなたは、現在あなたが在籍している会社から、キャリアパスを示されたことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

※キャリアパスとは、目標とする職務や職位に就くために必要なスキルや経験、そこに到達するまでの順序や道筋のことです。

1. 示されたことがある
2. 示されたことがない
3. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q22

SA

必

あなたの能力や仕事ぶりなど、仕事上の貢献を評価する仕組みについて教えてください。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 仕組みがあることは知っており、説明も受けている
2. 仕組みがあることは知っているが、説明を受けたことがない
3. 仕組みがない
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q23

SA

必

あなたの給与などの処遇は、能力や仕事ぶりなど、仕事上の貢献が評価されていると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 十分評価されている
2. まあまあ評価されている
3. あまり評価されていない
4. 評価されていない
5. 分からない

回答者条件： 全員

Q24

MA

必

今後1～2年についてのあなたの仕事や働き方に関する希望はどのようなものですか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 物流業務で一般作業員として働きたい
2. 物流業務でリーダーや管理者として働きたい
3. 物流に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい
4. 物流関連ではない仕事をしたい
5. 現在、在籍する会社の他の現場で働きたい
6. 他社で働きたい（転職したい）
7. その他

☐ 8. 特にない

回答者条件： 全員

Q25

MA

必

あなたはご自身の仕事や働き方に関して、特に何を重視していますか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 責任の重さ・軽さ
2. 仕事のやりがい
3. 転勤の有無
4. 給与（時給）等の処遇
5. 労働時間の長さ・短さ
6. 時間外労働（残業・休日出勤）の多さ・少なさ
7. 働く時間帯や曜日を選べること
8. 有給休暇の取りやすさ
9. 職場の安全衛生環境
10. 職場での人間関係
11. 研修・訓練など技能を伸ばす機会
12. 転職のしやすさ
13. 一つの会社にしばられないこと
14. その他

☐ 15. 分からない